

令和8年度

教育・研究 活動報告書

令和7年度 取組成果のご報告

福岡工業大学

福岡工業大学短期大学部

福岡工業大学附属城東高等学校



このレポートのデジタル版を
お使いのスマートフォンで
ご確認ください。

For all the students
～すべての学生生徒のために～

建学の綱領

- 一、学徒の品性を陶冶し真の国民としての教養を啓培する
- 一、宇宙の真理を探究しこれを実生活に応用して社会に貢献する
- 一、人類至高の精神、自由 平和 信愛を基調として世界に雄飛する人材を育成する

経営理念

For all the students ~すべての学生生徒のために~

行動規範

「即実行する(Just Do It!)」

経営目標

情報・環境・モノづくり領域で教育研究力を発揮し、広く社会に貢献する。

関係の皆様には、本学園の運営に格別のご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

標記のとおり、本学園は、建学の綱領に立脚し、経営理念と行動規範を指針として、経営目標とそのビジョンを掲げています。この目標達成と具現化に向けた、諸活動の重点方針は次の8項目です。

- I 福岡から世界へ羽ばたく実践型人材の育成
- II 九州をリードする研究成果の創出
- III 就職力日本一
- IV グローバル化・社会連携の推進
- V 広報および募集活動の戦略的展開
- VI 短大の新たなステージに向けた基盤強化
- VII 城東高校の特色ある教育の再構築と実施
- VIII 財政基盤の安定と組織ガバナンスの強化

これらの重点方針に沿って、福岡工業大学、同短期大学部、並びに附属城東高校の3設置校の教職員が諸活動を計画し実践しています。

この教育・研究活動報告書は、学生・生徒・保護者の皆様に、その教育・研究及び経営・財務の諸活動と成果について具体的に説明し、いっそう本学園をご活用いただくことを目的としています。報告書を通じた関係の皆様と本学園の双方向のやりとりは、私どもが諸活動を磨き高めるには欠くことのできない貴重な機会であります。これからも、いっそう諸活動を積極化し、全国有数の評価を得る教育・研究機関として、その使命を果たしたいと存じますので、忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

令和8年9月1日

福岡工業大学
福岡工業大学短期大学部

学長 村山 理一



INDEX

I.はじめに

- 1.ごあいさつ(学長メッセージ) 1
- 2.マスタープランの取組状況・成果の概要
 - (1)MP成果①
(研究、就職、グローバル化等) 5
 - (2)MP成果②(私立大学等改革
総合支援事業選定結果) 6

II.教育・研究・社会連携活動の成果

- 1.実践型人材の育成<重点方針I>
 - (1)教育改革・改善の取組 7
 - (2)大学院の取組 9
- 2.研究高度化<重点方針II> 11
- 3.就職力高度化<重点方針III> 13
- 4.グローバル化・社会連携の推進<重点方針IV>
 - (1)グローバル化の推進 15
 - (2)社会連携の推進 17
- 5.学生募集力強化<重点方針V> 19
- 6.短期大学部の取組<重点方針VI> 21
- 7.附属城東高校の取組<重点方針VII> 23

III.経営・財務の概要

- 8.財政基盤の安定と
組織ガバナンスの強化<戦略VIII>
 - (1)財政基盤の安定 25
 - (2)学校運営に対する外部評価 27
 - (3)諸活動の具体的な取組状況
〈報告書・広報誌〉 29

IV.ファシリティの概要

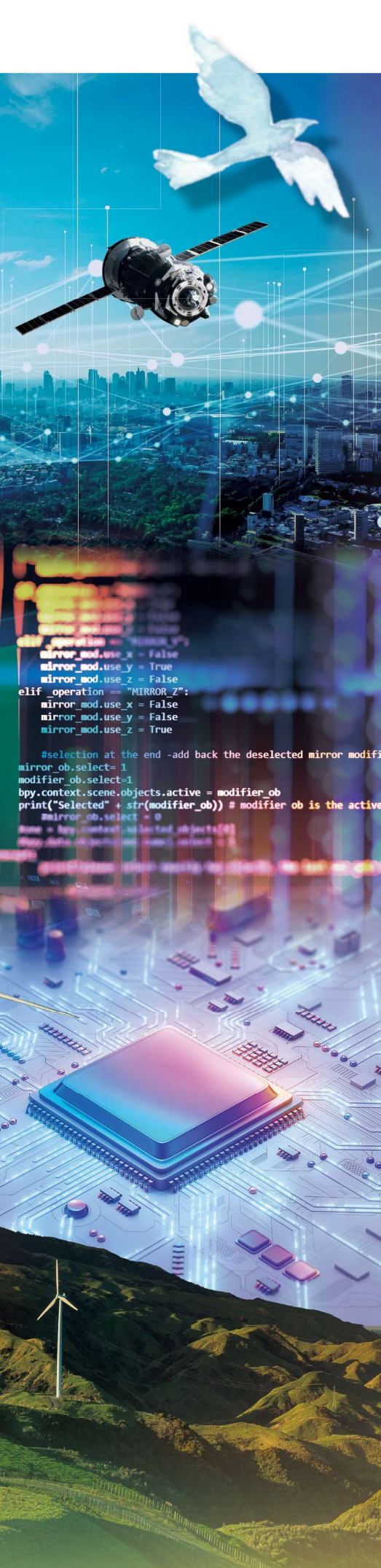
- 1.新たな教育展開に向けた
キャンパスリニューアル 31
- 2.キャンパスの概要 33
- 3.ラーニングサポート施設・設備 34
- 4.研究施設・設備 35
- 5.キャンパスライフサポート施設・設備 36

V.バックデータ集

- 1.学生表彰(学会表彰、卒業生表彰、
課外活動表彰等) 37
- 2.その他、経営・財務、
教育・研究等諸活動のデータ 39
- 3.FIT学生サポート寄付金寄付者一覧 69







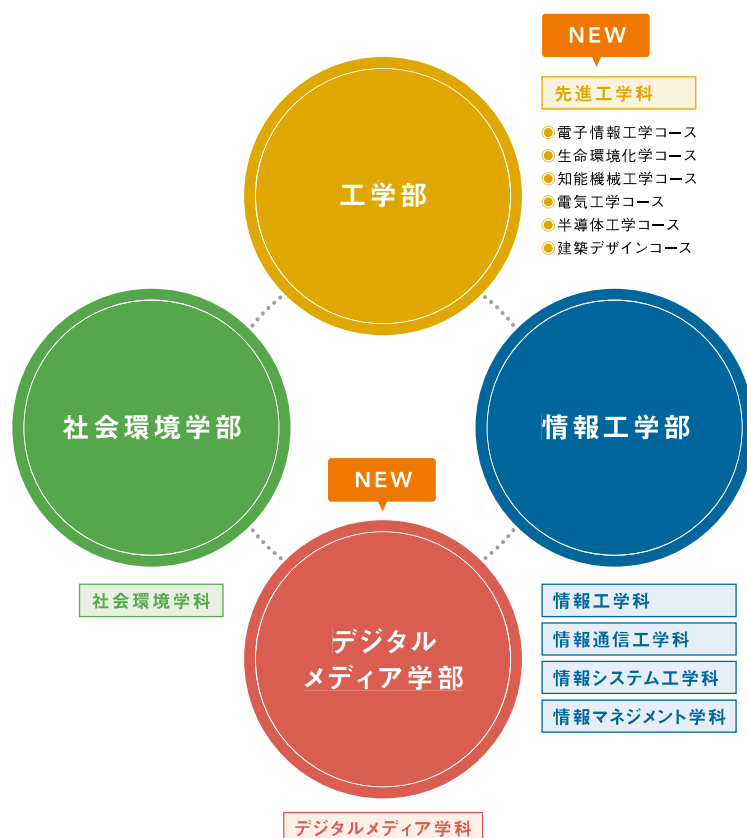
さあ、 未踏の知へ。

2027年4月、

福岡工業大学が踏み出す新たな一步。

工業大学という名称や文理の枠にとらわれない

4学部7学科6コース体制へ。



詳しくは
特設サイトを
ご覧ください。



マスタープランの取組状況・成果の概要(総合的成果)

(1)MP成果①(研究、就職、グローバル化等)

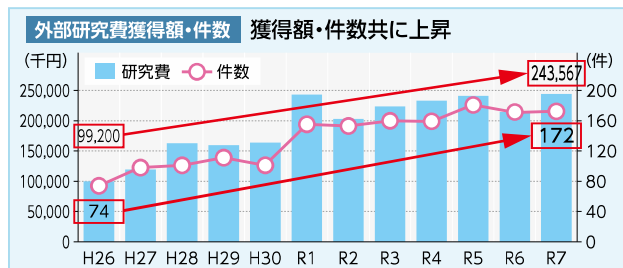
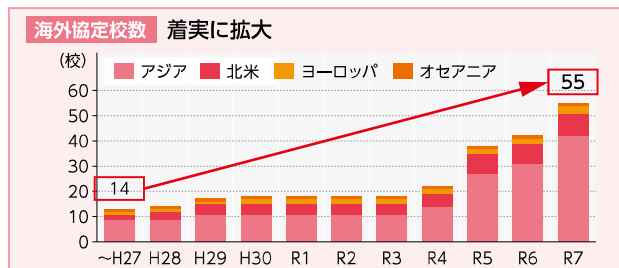
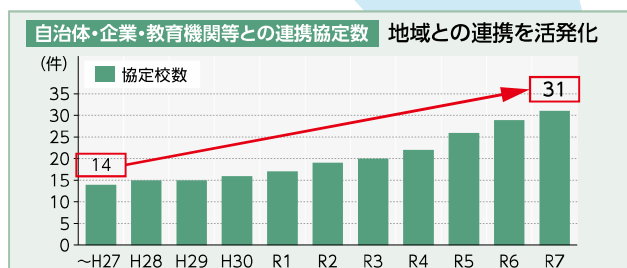
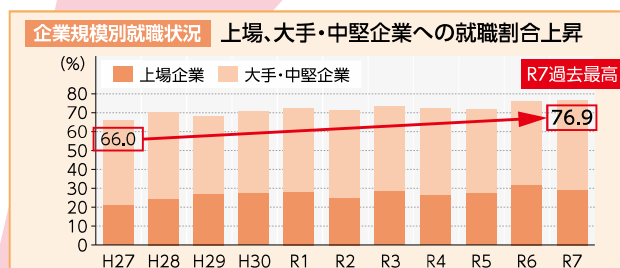
諸活動が活発化、主要指標は右肩上がり・高位安定

■マスタープランの概要

主な取組み	改革期			成長期			変革期			新改革期	
	第1次			第4次			第7次			第9次	
	H10	H11	H12	H19	H20	H21	H28	H29	H30	R4	R5
	学術支援機構設置(大学)	社会環境学部開設(大学)	大学院情報通信工学専攻開設(大学院)	大学院社会環境学専攻開設(大学院)	FD推進機構による教育改革の推進(大学)	「大学教育再生加速プログラムアクティブラーニング」選定(大学)	アセスメント・ポリシーの策定(大学)	AI型授業全学展開(トリプル80%) [文部科学省評価S評価]	教育開発推進機構、社会連携センター設置	工学部コース制、短大4年制化着手	
	大学院修士後期課程開設(大学院)	ISO14001認証取得 社会環境学部(大学)	生命環境科学科開設(大学)	フレッシュマンスクール設置(大学)	キャリア関連科目の必修化(大学)	グローバル人材育成プログラム開設(大学)	「情報システム工学専攻」 [システムマネジメント専攻]の2専攻設置(大学院)	生命環境化学科・同専攻に名称変更(大学・大学院)	情報マネジメント学科設置(大学)		
	就職ネットワークの構築(3校共通)	福岡工業大学短期大学部に校名変更(短大)	学科名変更、カリキュラム改訂(短大)	進路保証プログラムの設定(短大)	小型宇宙衛星開発「JAXA採択」(大学)	進路保証プログラムの成果向上(短大)	学科の改組計画の構想・推進(短大)	情報メディア学科1学科制に改組(短大)	6年一貫教育(FIT Techプログラム)実施		
	「変革宣言」に基づく教育改革スタート(高校)	福岡工業大学附属城東高校に校名変更(高校)	ISO14001認証取得(高校)	短大との単位互換制度導入(高校)	学校教育評議会による外部評価の充実(高校)	スペシャリストコース等の新コース開設(高校)	施設・設備整備計画の着手(高校)				

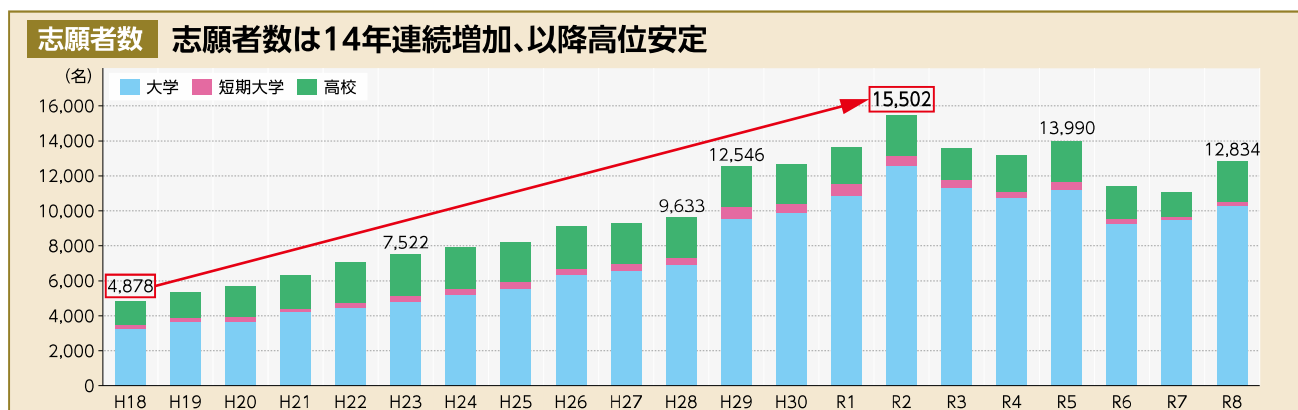
■諸活動の成果の推移

諸活動の成果の積み重ねが、志願者数増加を後押し



成果の積み重ね

志願者数増加へ



(2)MP成果②(私立大学等改革総合支援事業選定結果)

私立大学等改革総合支援事業選定結果は、「全国第3位」と全国トップクラス

■私立大学等改革総合支援事業の趣旨

文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が一体となって、学校改革に積極的に取り組み、相応の成果を創出している大学等を評価・選定・支援する、国の事業です。選定される学校数は、全国の大学等約910校のうち、タイプ1(教育の質向上等)で105校、タイプ2(研究の高度化等)で45校、タイプ3(地域社会貢献・連携)で20～40グループ、タイプ4(研究の実用化等)で40校のごく少数です。それぞれの領域において、活発な活動を行い、成果を創出している大学等が選定されます。

■福岡工業大学の取り組みの考え方

本学では、教育の質向上(タイプ1)を重点目標に掲げ、その達成の手立てとして、研究の高度化(タイプ2)、地域社会貢献・連携(タイプ3)、研究の実用化(タイプ4)を総合的・一体的に推進し、全てのタイプの選定を目指しています。

■全国私立大学等の選定状況

・13年間(H25年支援事業創設～R7年度)の選定状況(上位10校)

第3位／全国約910校中、「全国屈指の好成績」

順位	学校名	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	総計	年平均
1	芝浦工業大学		3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51	3.9
2	金沢工業大学		3	4	4	4	3	4	4	4	3	3	4	4	4	48	3.7
3	福岡工業大学		1	4	3	4	4	4	3	4	3	4	4	3	4	45	3.5
4	東京電機大学		3	2	1	3	2	3	4	4	4	4	4	4	3	41	3.2
5	国際医療福祉大学		3	4	4	4	4	3	2	3	3	2	3	3	2	40	3.1
5	東京都市大学		0	0	1	4	4	5	3	4	4	4	4	4	3	40	3.1
7	藤田医科大学		0	0	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	39	3.0
8	長崎国際大学		1	0	4	4	5	4	3	4	3	2	3	2	3	38	2.9
8	大阪医科薬科大学		2	1	1	2	3	3	4	2	3	4	5	4	4	38	2.9
10	東北公益文科大学		1	2	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	37	2.8
10	関西大学		2	3	2	3	2	4	4	3	3	3	3	2	3	37	2.8

■文部科学省等の認定教育プログラム、学校改革・教育改革関連補助金の採択状況(直近10年間)

	事業名称	期間
1	大学教育再生加速プログラム<アクティブラーニング型授業の推進プログラム>	H26～R1
2	大学・高専成長分野転換支援基金助成金<学部再編等による特定成長分野(デジタル・グリーン等)への転換等(支援1)>(情報工学部情報マネジメント学科)	R5～R9
3	数理・データサイエンス・AI教育プログラム<リテラシーレベル>(学部)	R5～R10
4	数理・データサイエンス・AI教育プログラム<応用基礎レベル>(学部)	R6～R11
5	数理・データサイエンス・AI教育プログラム<リテラシーレベル・応用基礎レベル>(短期大学部)	R5～R10
6	少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援<メニュー1:キラリと光る教育力>(短期大学部)	R6
7	高等学校DX加速化推進事業<DXハイスクール>(附属城東高校)	R6～R7
8	大学・高専成長分野転換支援基金助成金<学部再編等による特定成長分野(デジタル・グリーン等)への転換等(支援1)>(工学部先進工学科及び情報メディア学部情報メディア学科)	R7～R12

1-1. 教育改革・改善の取組〈重点方針I〉

教育改革が進展、企業・産業界等から高評価

多様な教育プログラムを通じて学生の主体的な学びと成長を支援しています。実践型人材の輩出が、企業・産業界や社会からの高い評価につながっています。

■実践型人材育成の体系

教育改革の結実：社会を切り拓く「実践型人材」の輩出成果

体系的教育システム「F-LighT」を通じて、学生一人ひとりの高い成長実感を約束

1 社会から高く評価される教育力

人材育成力総合ランキング
全国私大9位
(九州私大3位)

九州トップクラスの「実践型人材」育成力

私立大学等改革総合支援事業
全国私大3位

全国トップクラスの教育の質

国公立大学競争的補助選定結果
51億円
(H20年度～R8年度累計)

先進的な教育研究活動への国の高評価

2 学生の主体性と成長実感度

出典：IRコンソーシアムアンケート2024年度

92%

専門知識

77%

協働力

87%

分析・課題解決力

79%

数理的思考力

87%

情報処理力

70%

プレゼンテーション力

学生の主体性・自己成長を可視化

学習ポートフォリオ「FIT-AIM」

・自らの学びの軌跡を記録・蓄積し、メタ認知力を高める
主体的なPDCAサイクルの確立を支える自発的プラットフォーム

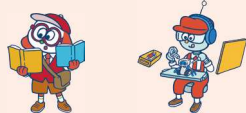
社会的汎用性テスト「PROG」

・シラバスと連動し、変化の激しい社会を生き抜くための
ジェネリックスキル（社会的汎用能力）を客観的に測定

3 学生を成長させる教育システム「F-LighT（フライト）」

DP1

専門力・教養力



幅広い教養 専門知識・技能

■アクティブラーニング

■教養力育成科目

■各学科の専門科目、
卒業研究、ゼミナールⅢ

など

DP2

自己成長力



ライフデザイン力 メタ認知・実現力

■キャリアデザインプログラム

●キャリアデザイン
●コミュニケーション・デザイン
●インターンシップ

■アドバンスキャリアプログラム

●半導体エキスパート
育成プログラム
●トップアップ講座
●モノづくりセンタープロジェクト

■キャリアサポートプログラム

●学内合同企業説明会
●業界研究フェア

■自己調整学習プログラム

●自己成長と学び
●FIT-AIM

DP3

課題解決力



グローバルマインド 未来構想力

■グローバルマインド
育成プログラム

●FIT-Global PBL
●海外インターンシップ
●各種海外派遣／留学プログラム
●English Café

■課題解決力育成プログラム

●Future Vision実践（SDGs探求）
●課題解決型地域創生プロジェクト
●課題解決型インターンシップ

■未来創造プログラム

●アントレプレナーシップ
育成プログラム
●Global Challenge Program
（GCP）

DP4

情報活用能力



デジタル力 発信力

■デジタル力育成プログラム

●数理・データサイエンス・AI
教育プログラム
●クラウドAIアプリ開発プロジェクト
●Future Vision講座
（Python基礎とデータ処理入門）

■情報発信力育成プログラム

●FIT Talks
●FIT Writes
●Let's Chat@GSL

■FIT-BYODシステム

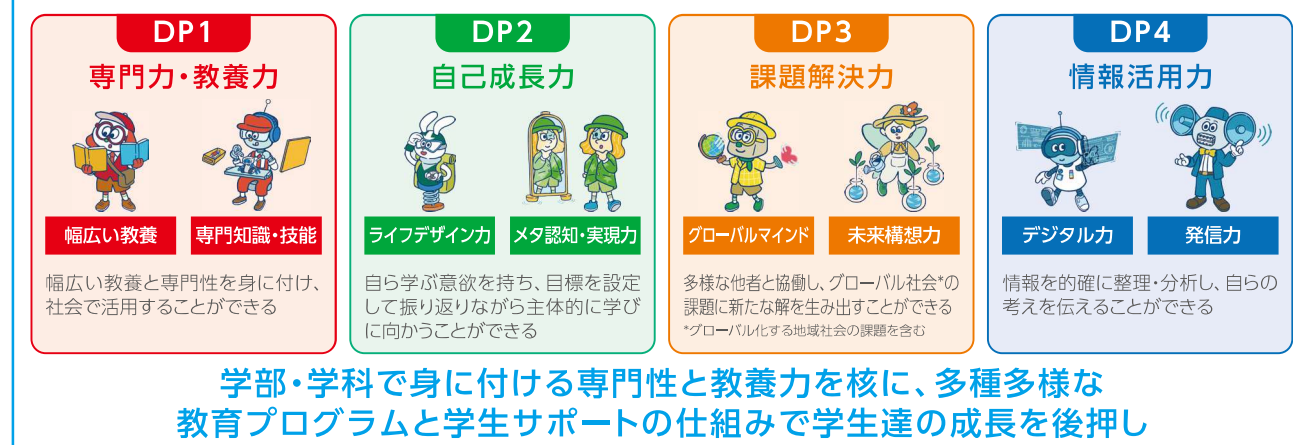
●myFIT
●ソフトウェアライセンス
for Students
●クラウド for Students

「実践型人材」育成の教育プログラムが高度化

実践型人材の育成を目標に、8つのFIT力を軸とした教育体系を整備しています。PBL教育やFuture Vision科目、数理・データサイエンス・AI教育などを通じて、多様な能力の育成を推進しています。

■ 本学が育成する学生像：4つのDPと8つの『FIT力』

VUCA時代(予測困難な時代)において、 未来を切り拓くスキルを持った「実践型人材」

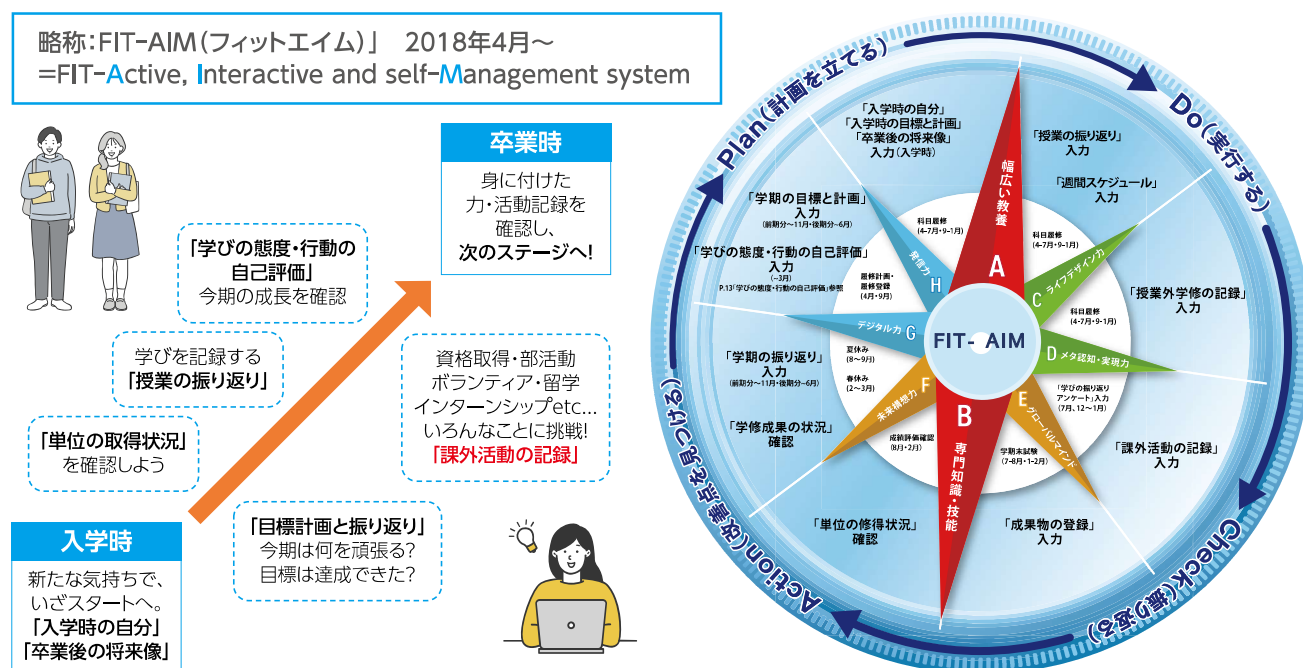


- ▶ VUCA: VUCAとは、Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)の頭文字をとった「予測困難な時代」を表します。
- ▶ DP (ディプロマポリシー): 卒業時まで身に付けるべき能力や知識を示す「卒業認定・学位授与の方針」のこと。

学生の主体的学びの促進と成長を可視化

学習ポートフォリオ「FIT-AIM」を活用し、学修成果や成長過程を可視化しています。目標設定・振り返り・改善を繰り返すことで、主体的な学びと成長を支援しています。

■ 学修ポートフォリオ (自らの学びの過程や成果、成長を可視化するツール) 『FIT-AIM』

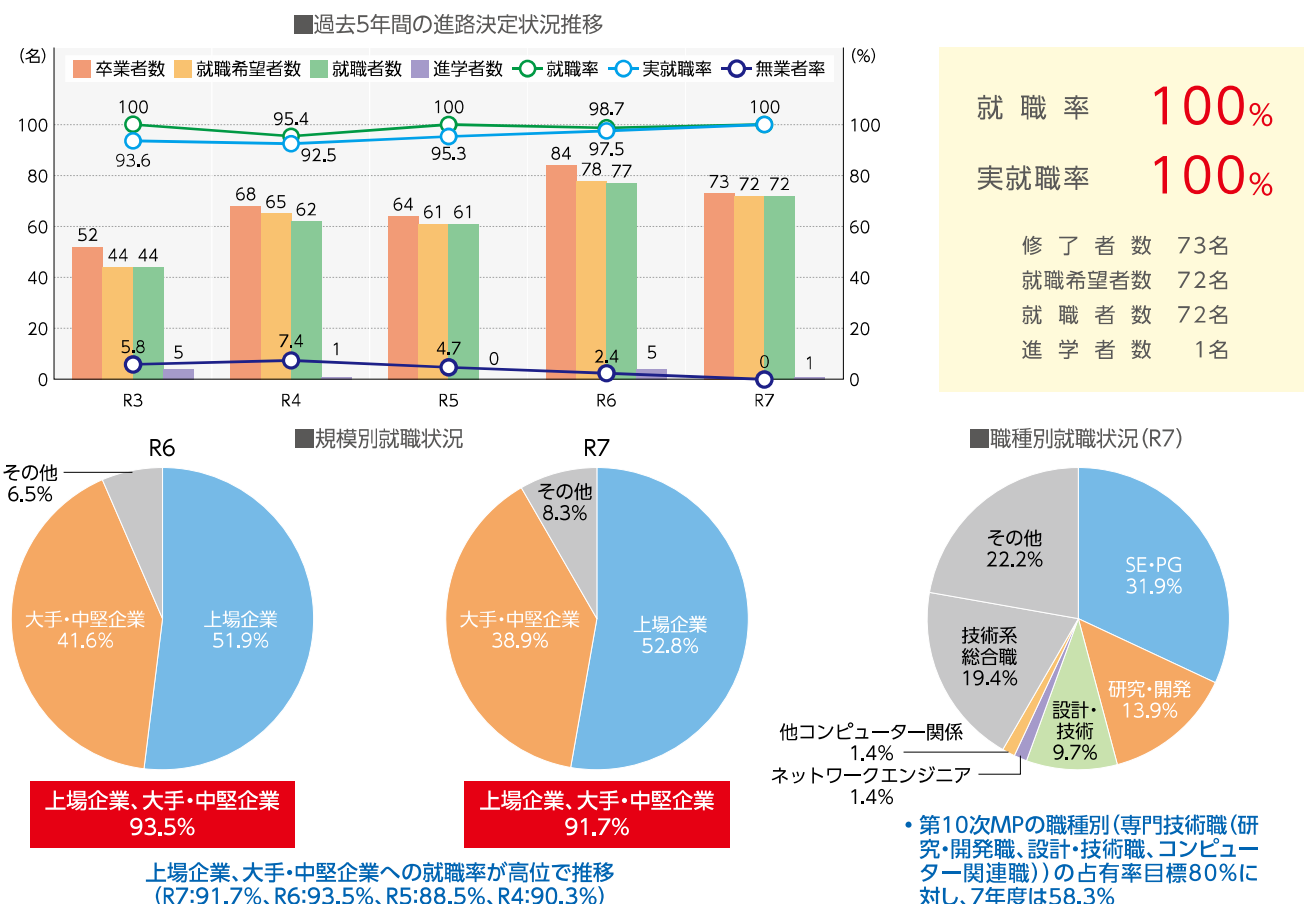


1-2. 大学院の取組〈重点方針I〉

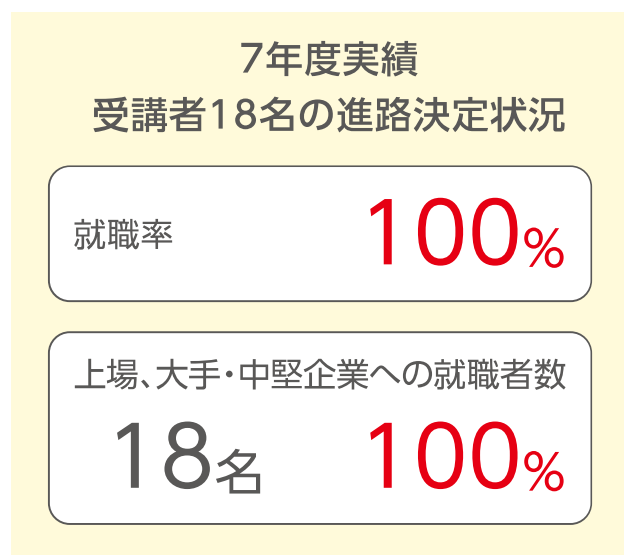
実就職率100%、「上場・大手・中堅企業」への就職率91.7%を達成

研究指導体制の充実に加え、国内外の企業・研究機関と連携した研究環境およびキャリア支援の推進により、高い進路決定率と学会表彰実績につながっています。

■大学院生の就職状況



■大学院トップアップ講座



■本学大学院修了生が権威ある学会賞を受賞



内視鏡外科分野で権威ある日本内視鏡外科学会の年間最優秀論文賞「出月賞」を受賞する快挙を達成しました。(詳細はQRコードでご確認ください)



「FIT-Techプログラム」への関心が着実に拡大

高度な技術者の育成を目指し、早期から研究活動に触れる「FIT-Techプログラム」に、第2期生として190名が参加し、学びへの関心の広がりが見られました。

■FIT-Techプログラムとは

FIT-Tech (Top Engineer Challenge) プログラム

目的：技術者として高度な専門的研究能力と同時に、分野横断・学際領域の推進を見据えることができる幅広い知識・俯瞰的視野を養う



- ①学科推奨科目の受講
- ②研究室調査
(教員・院生インタビュー、ゼミ聴講)
- ③修論・卒研発表会の聴講
- ④学会聴講参加、
各種プログラム参加など(推奨)

学部4年次 (M0) ~

- ・大学院科目の先行履修
- ・実践インターンシップ参加
- ・TOEIC受験・対策講座

修士1年次 (M1) ~

- ・「探求科目」コースワーク

専攻を超えた主・副担当の指導体制

■学会表彰された大学院生



情報工学専攻
戸田研究室 新 伊織さん
(福岡県立香住丘高校出身)

将来を期待される優秀な若手研究者に贈られる
「IEEE Computer Society Japan Chapter FOSE Young Researcher Award」受賞



▶ バックデータ集 (P37) に学会表彰された学生一覧を掲載しています。

大学院進学をサポートする経済的支援策を拡充

研究意欲旺盛な学生が、経済的な理由で大学院進学を断念することがないように、本学独自の様々な経済支援方策でサポートしています。

■独自修学支援制度 (8年度から「新・学業特待生制度」を開始)

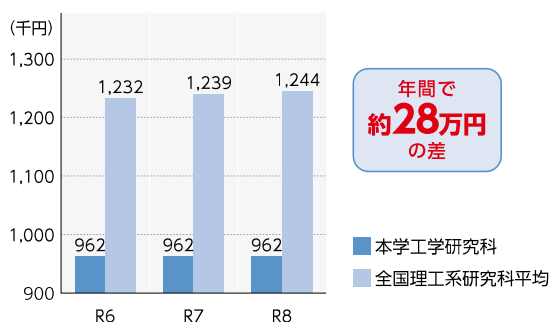
内容	採用人数	支援内容
A特待	学科1名(計9名)	50万円×2年間
B特待	20名以内	国立大学授業料標準額との差額×2年間
C特待	30名以内	国立大学授業料標準額との差額×1年間
学会出席旅費等補助制度	全員	学会参加に必要な費用のほぼ全額を補助

奨学金等の支援制度の詳細はこちらをご覧ください。

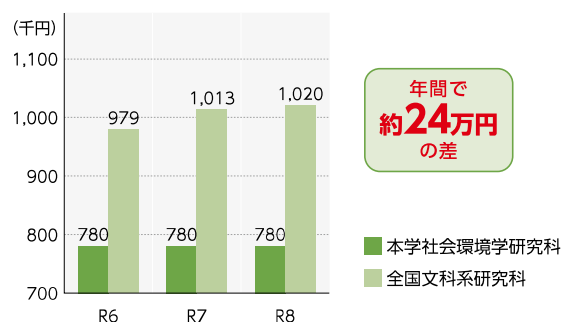


8年度入学生からスタートした新学業特待生制度は、従来の制度が統合され、採用人数も2.5倍と大幅に増えます。

■大学院(工学研究科)の学費の相对比较(入学金含む)



■大学院(社会環境学研究科)の学費の相对比较(入学金含む)



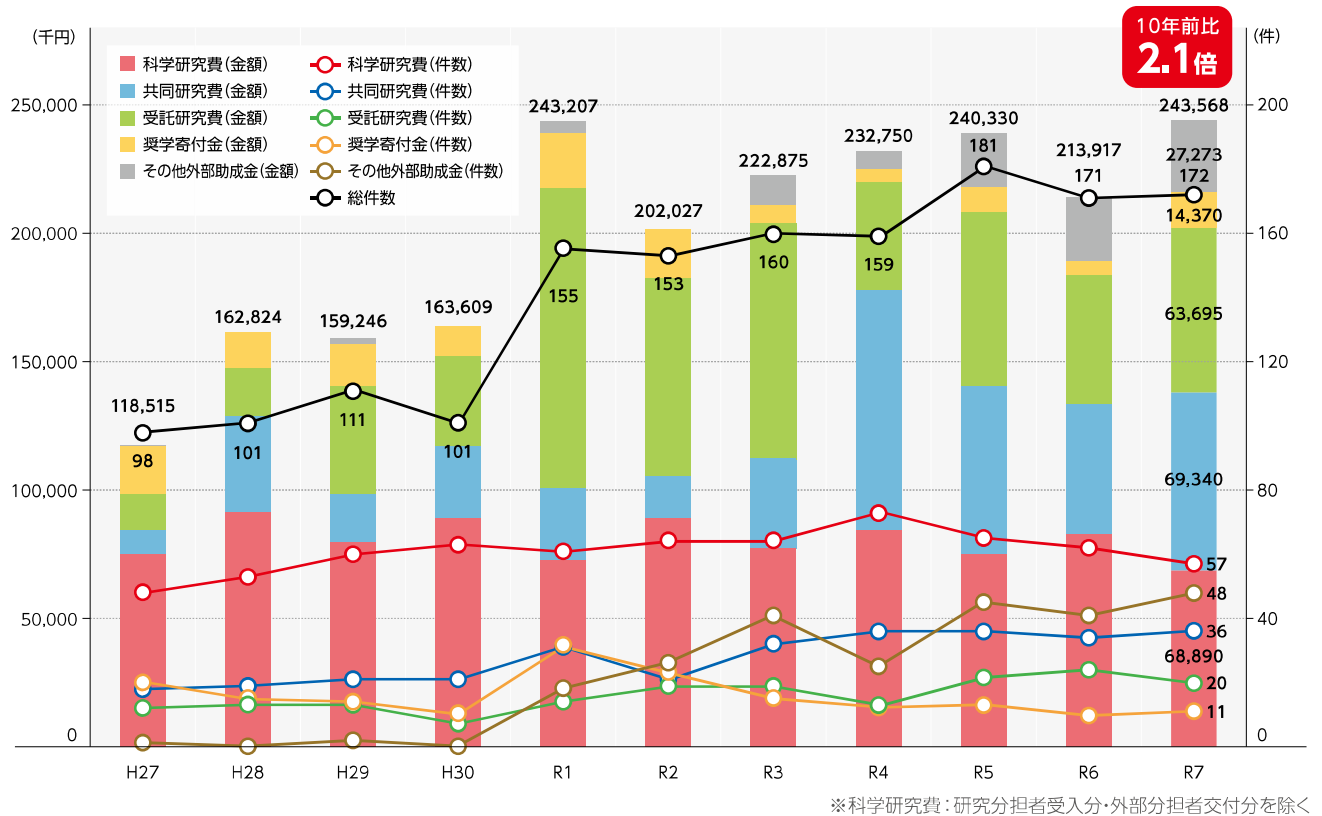
▶ 両研究科共に全国平均を大きく下回る低学費施策で修学を支援しています。

2. 研究高度化〈重点方針Ⅱ〉

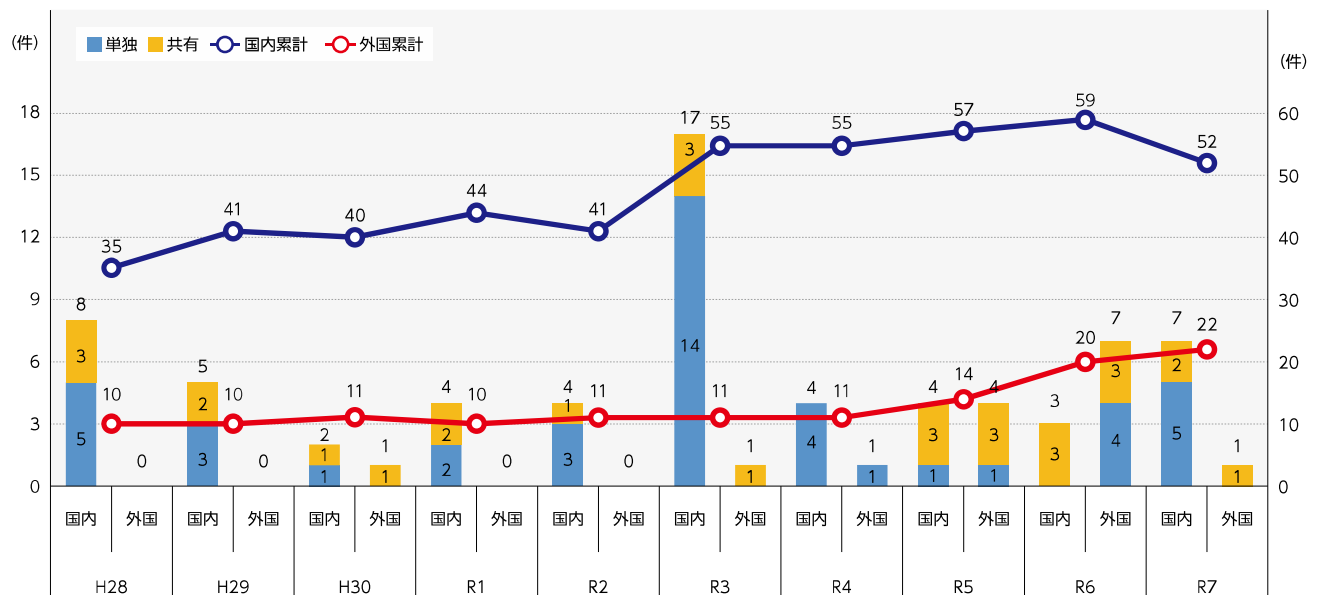
国・産業界からの研究資金交付額が過年度最高

共同・受託研究は大幅に伸長しており、難易度の高い技術課題に対応する本学の社会実装力が産業界等から高く評価されています。

■外部研究費の獲得実績推移



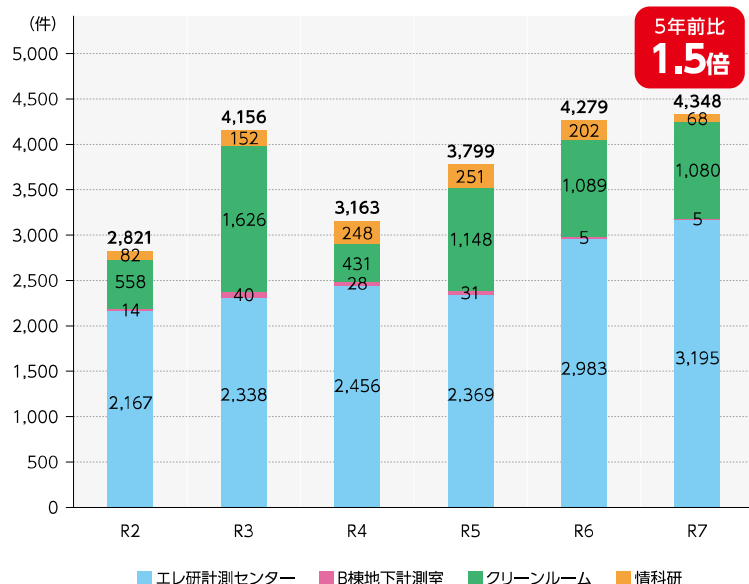
■特許登録件数推移(国内・国外)(企業との共有特許を含む)



先端測定・分析装置を相次ぎ導入。研究高度化をサポート

研究成果の創出や、外部研究資金拡大を支える基盤として、共同研究機器を積極的に整備しています。利用回数も着実に増加しています。

■共同研究機器過年度利用実績推移



■7年度に導入した研究機器

多機能型X線回折装置(XRD)



物質の結晶構造や組織の状態を非破壊で測定

高精度3Dプリンター



ミクロン単位の精度で多彩な製品の試作品を造形

▶ 多機能型X線回折装置(XRD)は、令和7年度文部科学省・私立学校施設整備費補助金に採択され導入しました。

組織的・広域連携ネットワークに強み。国・企業等から高評価を獲得

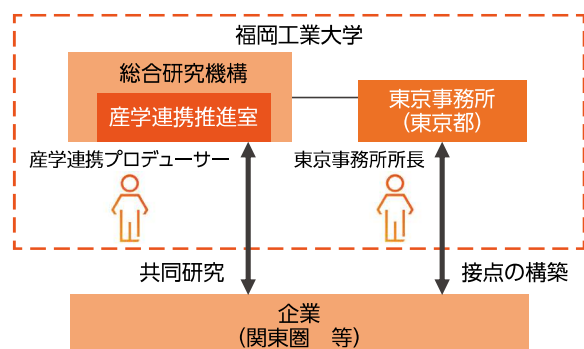
文部科学省から「組織的産学連携の先進事例」としてヒアリングを受けました。産学連携プロデューサーを中心に、全学横断で企業課題の解決を推進しています。

■文部科学省に高く評価された3つのポイント

- ①研究室依存ではなく、ニーズ主導型で専用チームを構築
- ②共同研究による他に類を見ないシステムの開発
- ③ニーズ主導型の専用チームによる企業課題解決に向けた取組

■センコーGHD(株)紹介事例

本学の研究者間で課題解決のプロジェクトチームを組成。倉庫内作業シフト表作成の自動化をチームで支援。



■共和電業(株)紹介事例

産学連携プロデューサーが企業ニーズと大学研究を橋渡しし、一貫して関与する仕組みを組成。



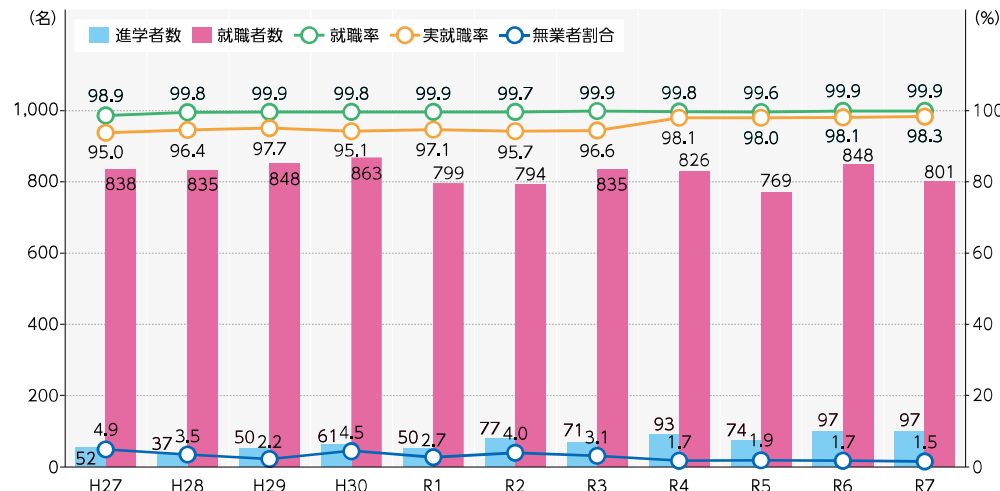
▶ 〈文部科学省コメント〉「地方の私立大学が在京企業との間で複数の研究テーマで社会実装を目指す稀有な先進事例である」と評価されました。

3. 就職力高度化〈重点方針Ⅲ〉

実就職率は過去最高(11年連続95%超を継続)、就職満足度は高水準

「就職は教育の一環である」との考えに基づき、教職員一体となって、就業力育成・就職支援プログラムを実施しています。9割以上の学生が就職活動の過程や結果に満足しています。

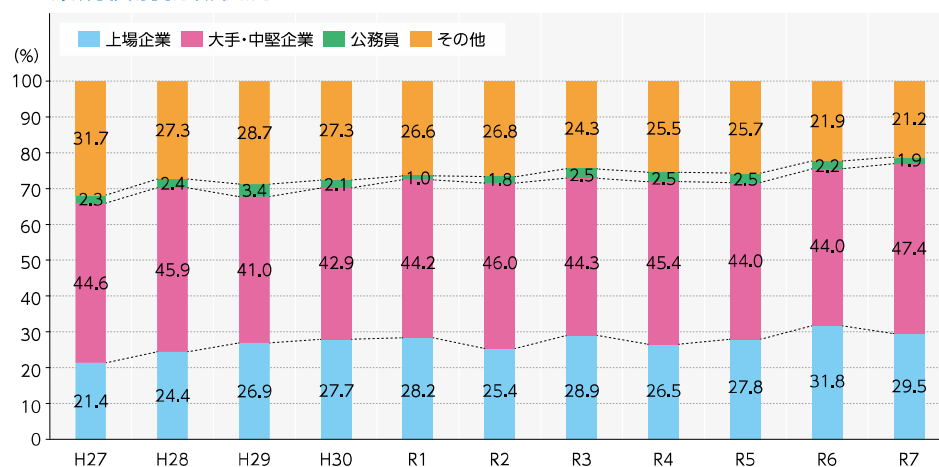
進路決定状況推移



学生満足度
99.2%

就職率*1
99.9%
実就職率*2
98.3%

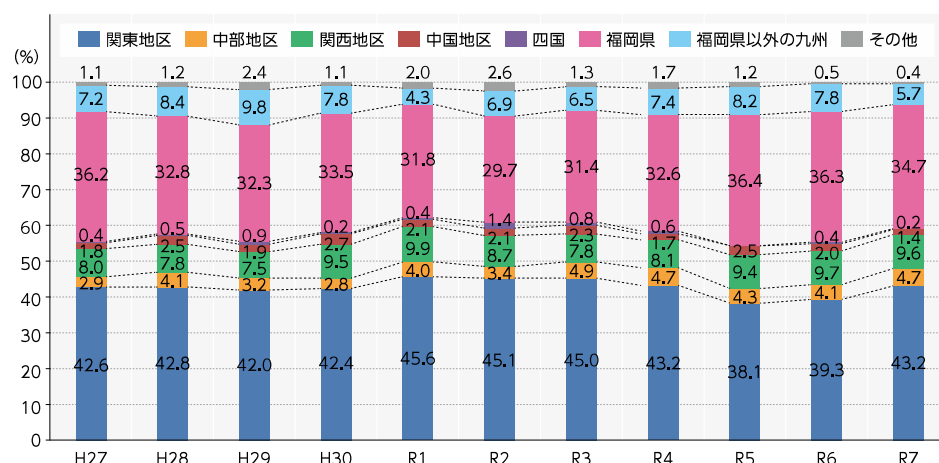
企業規模別就職状況



*1 就職率=内定者数÷就職希望者数×100
*2 実就職率=内定者数÷(卒業者-大学院進学者数)×100
※大学における進学者は大学院進学者に限る

上場企業・
大手・中堅企業
就職シェア率*3
76.9%
(大学院91.7%)

地区別就職状況



*3 大手・中堅企業は
資本金3億円以上もしくは
従業員数300名以上

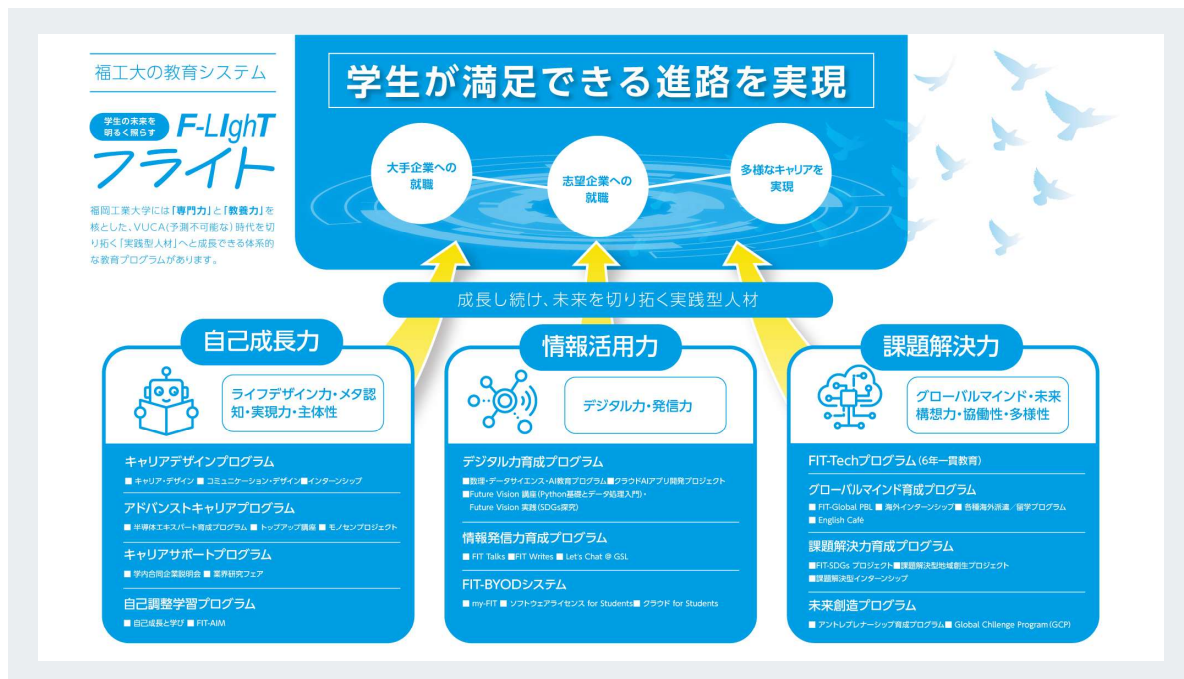
福岡県内に
本社を置く企業
への就職率
34.7%

▶ 実就職率は、大学が4年連続で全学科95.0%超、大学院は100%を達成しました。

キャリア教育・就活支援体制を拡充

1年次から体系的なキャリア教育・就職支援、学生一人ひとりへの手厚い支援を実施しています。全国トップクラスのサポート体制を実現し、外部評価も高水準を維持しています。

■学生が満足できる進路を実現 (キャリア教育システム「F-Light(フライト)」)



企業ネットワークを拡大し、就職関連イベントを積極化

採用活動の早期化・多様化に対応するため、多くの企業と連携、学内就職イベントを積極化しています。企業と学生のニーズ適合を図り、職業理解・就職意欲を高めることで、早期内定獲得につなげています。

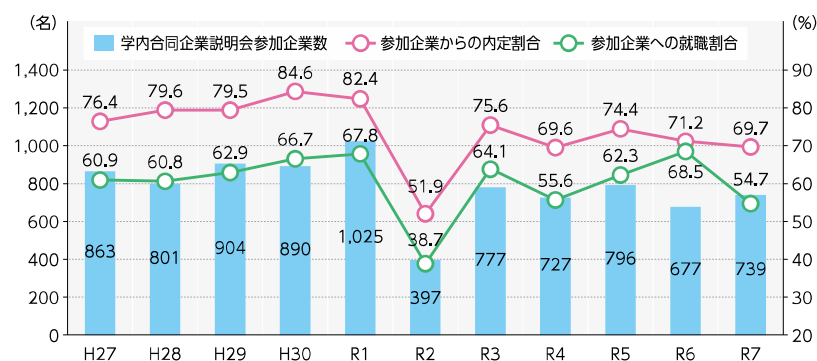
■学内就職イベント開催実績

イベント	開催日時・開催日数	参加企業数	延べ参加学生数
インターンシップフェア	R6/6/8～9 (計2日)	120社	1,324人
業界研究フェア	R6/12/7～8 (計2日)	118社	938人
学内合同企業セミナー(対面)	R7/2/10、12～14、17～21 (計9日)	538社	2,218人
4月学内合同企業説明会	R7/4/17～18、21～22 (計4日)	98社	230人
6月学内合同企業説明会	R7/6/10～13 (計4日)	64社	238人
9月学内合同企業説明会	R7/9/3～5 (計3日)	38社	73人
合 計	24日間	976社	5,021人

8年3月卒では、就職活動におけるインターンシップの重要性がますます高まり、インターンシップ等への参加率は過去最高

就職活動に悩んだり迷ったりしている学生を早期に把握し、支援

■学内合同企業説明会参加企業数、参加企業への内定・就職割合



■外部評価も高水準を維持

就職支援が充実している大学ランキング

全国 No.1

「就職支援体制が充実している大学ランキング」で
2年連続全国1位

日経キャリアマガジン特別編集
「価値ある大学就職力ランキング2026～2027」

4-1. グローバル化の推進〈重点方針Ⅳ〉

海外大学等との学術交流協定を飛躍的に展開。55機関まで拡大

国際的視野と実践力を兼ね備えた人材育成を目指し、海外協定校を拡大しています。実践型の国際教育プログラムをさらに充実させ、着実に成果を創出しています。

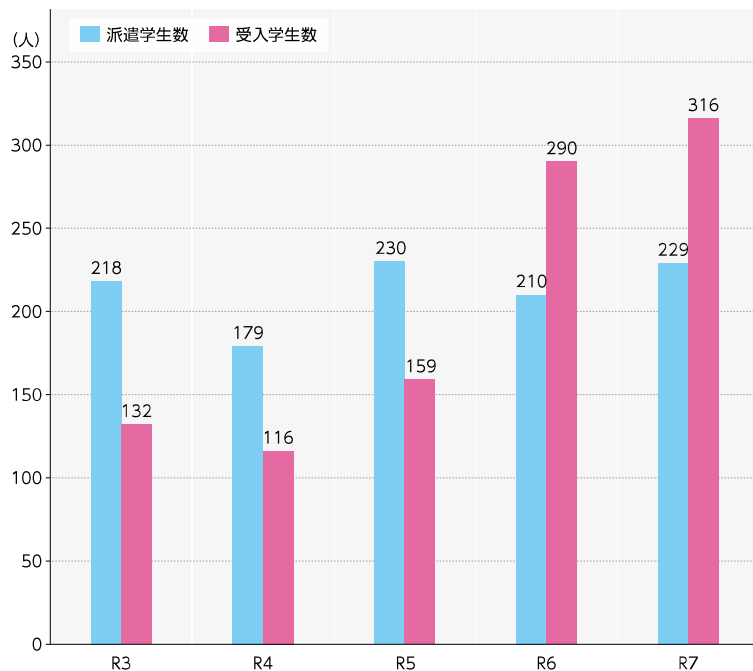
■ 国際交流ネットワーク（海外53大学・1教育委員会・1総合病院：2026年3月現在）
ヨーロッパ3、アジア・オセアニア43、アメリカ・カナダ9

1 〈イタリア〉 ナポリ・フェデリコ2世大学	2 〈アルバニア〉 ティラナ工科大学	3 〈中国〉 南京理工大学	4 〈中国〉 青島科技大学	5 〈中国〉 大連理工大学	6 〈中国〉 北華大学	7 〈中国〉 上海理工大学
8 〈中国〉 蘇州大学	9 〈中国〉 魯東大学	10 〈韓国〉 啓明大学校	11 〈韓国〉 亜細亞大学校	12 〈韓国〉 慶星大学校	13 〈韓国〉 東國大学校WISE	14 〈韓国〉 釜慶大学校
15 〈韓国〉 東亜大学校	16 〈韓国〉 昌原大学校	17 〈韓国〉 順天郷大学校	18 〈韓国〉 湖西大学校	19 〈カナダ〉 センチニアルカレッジ	20 〈カナダ〉 プリティッシュコロンビア大学	21 〈カナダ〉 ウォーターloo大学 レニソン・カレッジ
22 〈インド〉 デリー準州教育委員会	23 〈タイ〉 キングモンクット 工科大学ラバン校	24 〈タイ〉 キングモンクット 工科大学トンブリ校	25 〈タイ〉 泰日工業大学	26 〈タイ〉 チュラロンコン大学	27 〈タイ〉 CMKL大学	28 〈マレーシア〉 マラ工科大学
29 〈シンガポール〉 テマセク・ポリテクニク	30 〈台湾〉 高雄科技大学					
31 〈台湾〉 元智大学	32 〈台湾〉 国立東華大学					
33 〈台湾〉 国立宜蘭大学	34 〈台湾〉 明新科技大学					
35 〈台湾〉 雲林科技大学	36 〈台湾〉 明志科技大学					
37 〈台湾〉 亞洲大学	38 〈ベトナム〉 ダナン大学工科大学					
39 〈ベトナム〉 ハノイ工科大学	40 〈ベトナム〉 ホーチミン市工科大学	41 〈ベトナム〉 国立郵政通信技術学院	42 〈ベトナム〉 FPTポリテクニク	43 〈インドネシア〉 マラン大学	44 〈インドネシア〉 ポリテクニク	45 〈インドネシア〉 パジャジャラン大学
46 〈インドネシア〉 ハサンサディキン総合病院	47 〈インドネシア〉 ハサヌディン大学	48 〈オーストラリア〉 フェデレーション大学	49 〈アメリカ〉 セントメアリーズ カレッジカリフォルニア	50 〈アメリカ〉 カリフォルニア州立大学 イーストベイ校 (CSUEB)	51 〈アメリカ〉 フットヒルカレッジ	52 〈アメリカ〉 サンノゼ州立大学
53 〈アメリカ〉 ハワイ大学マノア校	54 〈アメリカ〉 サンフランシスコ州立大学	55 〈ルーマニア〉 クルジュ・ナボカ工科大学				

海外派遣・受入学生数が増加。グローバル教育プログラムがますます進展

学術交流協定の拡大を受け、派遣・受入学生数を拡大しています。国際交流体験にとどまらず、国際的な諸課題解決に向け、外国人学生との協働学修を加速しています。

国際交流の過年度実績推移



FIT-gPBLでの外国人学生との共同プログラム



タイの学生とのロボット作製の様子



3カ国4大学の学生による共同チーム作業の様子

3設置校一体でグローバル教育サポート体制を拡充

学園を横断するグローバル一貫教育支援体制のもとで、段階的かつ体系的に国際適応力を育成しています。

グローバル化教育の支援体制

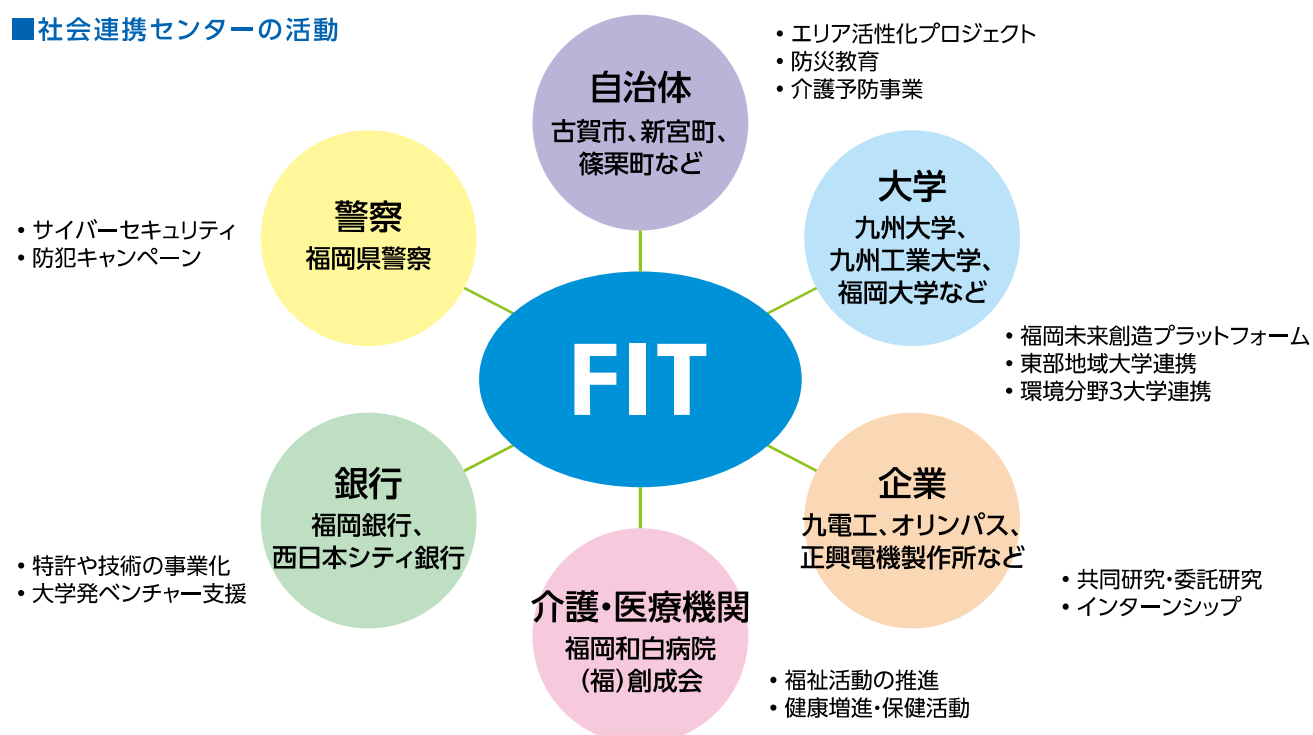


4-2. 社会連携の推進〈重点方針Ⅳ〉

地域社会と連携した理系人材育成がさらに充実

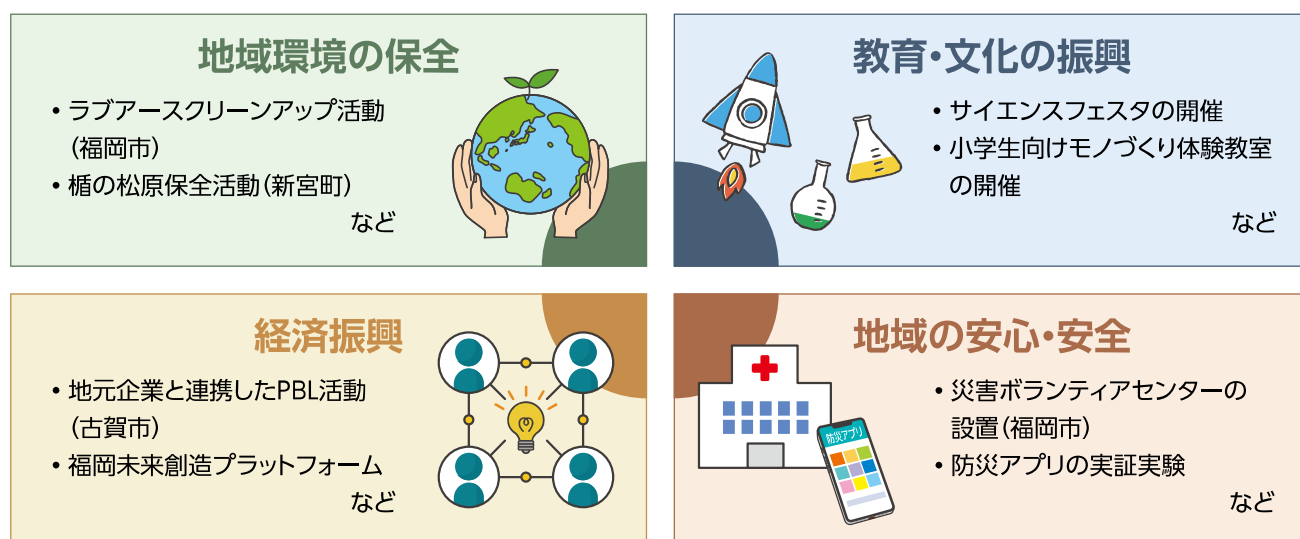
地域ネットワーク(31件)を活用し、自治体や企業等との連携のもと、地域課題を題材とした実践的な学びを展開しています。これらの取組を通じて、課題解決能力と創造力を備えた理系人材を育成しています。

■社会連携センターの活動



▶ 社会連携センターは、本学の特色を活かした「地域貢献と実社会をフィールドとする学びの機会」を創出することを目的としています。大学の窓口となって、各学部、各部署と協働し、多種多様な連携事業を展開しています。

■7年度の主な地域貢献活動(社会連携センター・モノづくりセンター)



▶ 7年度は社会連携センター・モノづくりセンターにて169件の地域貢献活動を実施し、2,182名の学生、4,107名の学外児童・生徒が参加しました(延べ数)。

実践体験を通じた次世代理系人材育成を推進

高校生模擬講義や小・中学生向けものづくり体験教室、科学実験イベントを通じて、地域の青少年の実践的スキルとものづくりへの関心・意欲の向上に取り組んでいます。

■サイエンスフェスタの開催

モノづくりセンターと連携し、先端科学技術学習の機会を提供



■i-STEAM教育教材開発プロジェクト

城東高校と連携した「KNO-LAB (sharing Lab)」を始動



■小学校ICT体験授業

新宮町の29名の児童がICTの重要性を学び、データ分析を体験



■電子顕微鏡実習

新宮高校理科科の生徒が走査電子顕微鏡を用いた観察を体験



▶ モノづくりセンター: 学生が実際にものづくりを体験し学習する施設。最新の製造技術や設備を利用し、プロジェクトや研究活動を行っています。

学生主体の地域課題解決活動(PBL)を推進

学生主体の地域課題解決活動を通じて、実践力や課題解決力を養い、地域社会の発展に貢献できる実践型人材の育成を推進しています。

■地域創生PBL(篠栗町)

フィールドワークや住民との対話を通じて調査を実施



■福岡未来創造プラットフォーム

デザイン思考ワークショップを実施



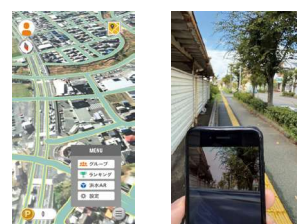
■水生生物PBL(新宮町)

新宮町の水生生物について調査・報告を実施



■防災アプリ「防災Go®」実証実験(古賀市)

防災イベントにてアプリを体験・効果検証を実施



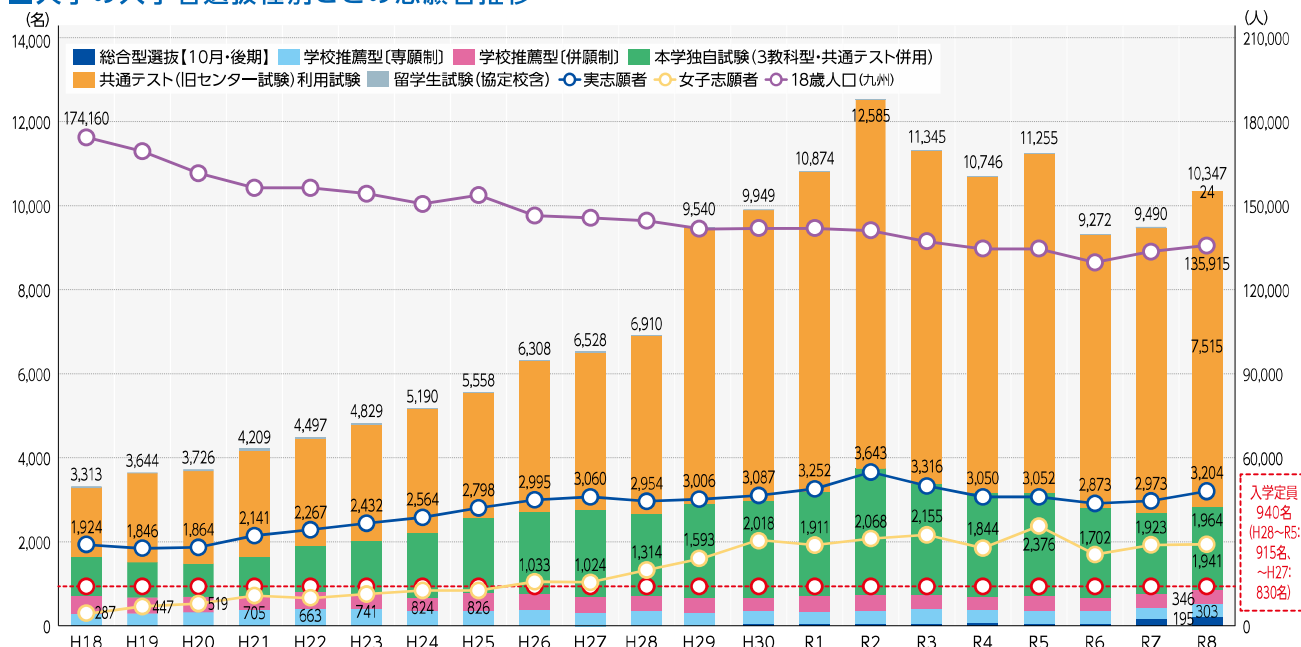
▶ 7年度は地域課題解決型学習(地域PBL)として、8件の取組を実施し、延べ390名の学生が参加しました。

5. 学生募集力強化〈重点方針V〉

入学志願倍率は11倍の高倍率・10年連続10倍超

8年度入試は、入学定員940名に対し、総志願者数10,347名・志願倍率11.0倍となり、10年連続で志願倍率10倍超を維持しています。

■大学の入学者選抜種別ごとの志願者推移

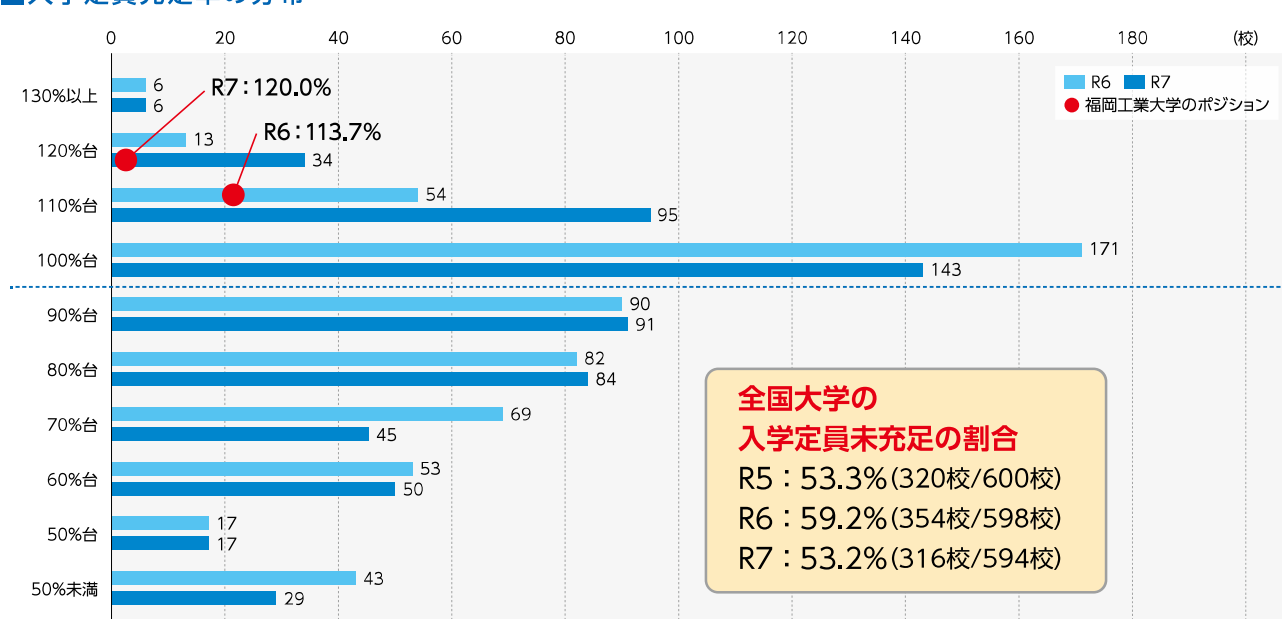


▶ 入学志願者は、学齢人口減少により全国の私立大学が減少させる中で、平成19年～令和2年の間、「全国唯一の14年連続増加」を達成しました。

入学定員充足率は全国トップクラス

全国の私立大学の約6割が入学定員を確保できない状況の中、3学部9学科全てが、所定の入学者を安定的に確保しています。

■入学定員充足率の分布

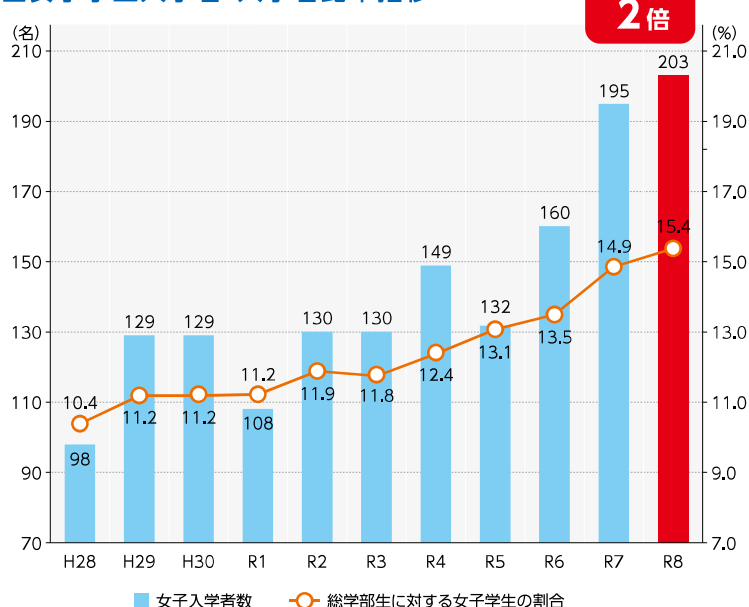


日本私立学校振興・共済事業団「令和7(2025)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」から抽出

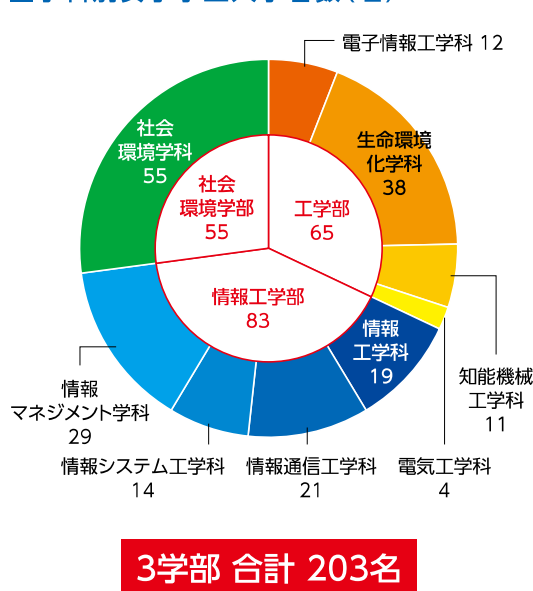
「理工系女子」の入学人数が10年前比で約2倍に増加

「理工系女子」の志願者数・入学人数がさらに増加しています。10年前は98名だった入学人数が203名と約2倍になりました。

■女子学生入学者・入学者比率推移



■学科別女子学生入学者数(名)



▶ 8年度に入学した女子学生数は、過去最高となりました。

志願者層との接点拡大、大学認知・評価の向上

対面型に加え、SNSやYouTube等のデジタル媒体を活用し、受験生との接点拡大を図りました。本学の教育・研究活動の魅力の効果的な発信が、大学認知度と評価の向上につながっています。

■ステークホルダーからの評価指標等

企業人事に聞いた
「卒業生が活躍している大学」調査

全国の高校進路指導教諭を
対象のアンケート調査

就職支援体制が充実している
大学ランキング

2年連続 全国1位

面倒見が良い
大学ランキング

九州1位
(全国5位)

就職に力を入れている
大学ランキング

九州私大1位
(全国5位)

産学連携に積極的な
大学ランキング

全国8位
(九州私大2位)

入学後、生徒を伸ばしてくる
大学ランキング

九州私大2位
(全国35位)

入学後、生徒の満足度が高い
大学ランキング

九州私大2位
(全国39位)

(日経キャリアマガジン特別編集
「価値ある大学 就職力ランキング 2026-2027」(日経HR))

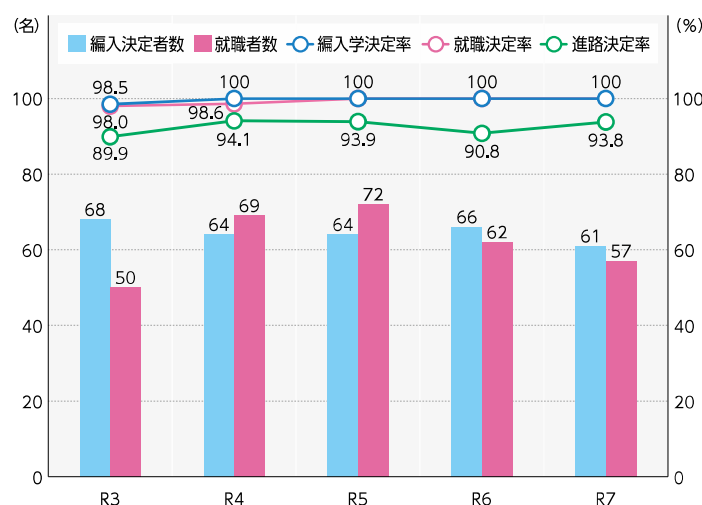
(大学通信「大学探しランキングブック2026」)

6. 短期大学部の取組〈重点方針Ⅵ〉

実践的教育と進路支援の充実で、高い進路決定率を安定的に維持

実践的な専門教育と進路支援の充実により、学生一人ひとりの個性と能力を最大限に引き出し、質の高いキャリア形成と高水準の進路決定につなげています。

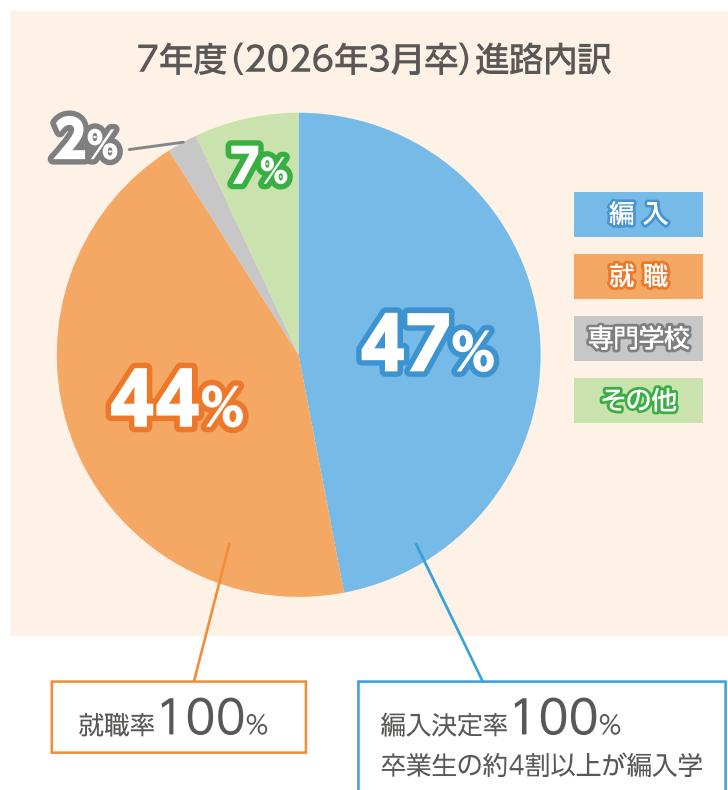
■進路決定状況推移



編入学決定率 **100%**
就職決定率 **100%**
進路決定率 **93.8%**

	R3	R4	R5	R6	R7
卒業者数	139	153	148	142	129
編入決定者数	68	64	64	66	61
就職者数	50	69	72	62	57
進路決定者数	125	144	139	129	121
編入学決定率	98.5%	100%	100%	100%	100%
就職決定率	98.0%	98.6%	100%	100%	100%
進路決定率	89.9%	94.1%	93.9%	90.8%	93.8%

■4年制大学への編入実績



【編入(合格)実績】7年度(2026年3月卒)

国公立大学 12名

宮崎大学 工学部 2名
鹿児島大学 工学部 1名
佐賀大学 地域デザイン学部 1名
山口大学 工学部 2名
高知大学 理工学部 1名
九州工業大学 情報工学部 2名
島根大学 総合理工学部 2名
北九州市立大学 国際環境工学部 1名

私立大学 55名

福岡工業大学 情報工学部 15名
福岡工業大学 社会環境学部 14名
大阪産業大学 デザイン工学部 1名
京都産業大学 情報理工学部 1名
近畿大学 産業理工学部 1名
九州産業大学 理工学部 11名
久留米工業大学 工学部 2名
九州情報大学 経営情報学部 3名
久留米大学 経済学部 1名
西日本工業大学 デザイン学部 2名
西日本工業大学 工学部 1名
九州共立大学 経済学部 1名
埼玉工業大学 工学部 1名
湘南工科大学 工学部 1名

教育DXと実践的PBLで「個別最適化教育」を体系的に展開

教育DXを積極的に導入し、学生の理解度や習熟度に応じた学修環境を提供しています。実践的PBLやデータ活用教育を通じて、基礎力の定着と主体的な学修能力の育成を図っています。

■文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム応用基礎レベル」



▶ 5年度に、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム応用基礎レベル」に全国の短大で唯一認定されました。

一人ひとりに寄り添って進路決定を強力に支援

個別面談や編入学指導、就職支援を通じて学生一人ひとりの進路実現を支援しています。きめ細かな支援体制により、高い進学・就職実績につながっています。

■デジタルメディア学部(9年4月開設)での4年間の学修体系

デジタルメディア学部:学びの体系 学部目的:幅広い領域に精通したクリエイティブ人材の育成				
	1年次	2年次	3年次	4年次
共通 「想像」を「創造」へ 変える実践的な学び	●専門ゼミナールⅠ ●デジタルクリエイションⅠ	●専門ゼミナールⅡ ●デジタルクリエイションⅡ	●専門ゼミナールⅢ ●デジタルクリエイションⅢ	→ 卒業研究・制作
メディア メディアに関する 幅広い知識を習得	[CG] ●コンピュータグラフィックス演習Ⅰ～Ⅱ [ファブリケーション] ●機能デザイン入門	●CGアニメーション ●デジタルモデリング 他	●デジタル映像制作 他	
デジタル技術 クリエイティブを支えるIT技術を習得	●プログラミング基礎 ●インターフェイスデザイン ●AI・データサイエンス基礎演習 他	[ゲーム] ●ゲーム制作基礎 [サウンド] ●デジタルサウンド入門 [メディア・コミュニケーション他] ●デジタルマーケティング論	●ゲームデザイン論 他 ●音楽入門 他	●広告クリエイティブデザイン 他
専門基礎 文理にとわらず学びやすい理論科目	●メディアのための数理 ●統計学 他			
〈学修・研究領域〉 <ul style="list-style-type: none"> ・[CG] 演習、アニメーション、映像制作 ・[ゲーム] 制作基礎、デザイン論 ・[サウンド] デジタルサウンド入門、音楽入門 ・[デザイン] インターフェース、ファブリケーション、機能デザイン入門、デジタルモデリング ・[技術] プログラミング基礎、AI・データサイエンス基礎、メディアのための数理統計学 				
〈取育を目指す資格〉 <ul style="list-style-type: none"> ・[教養] 心理学、知的財産、メディアコミュニケーション、デジタルマーケティング論、広告クリエイティブデザイン ・CGクリエイター検定 ・CGエンジニア検定 ・Webデザイナー検定 ・画像処理エンジニア検定 				
〈活躍が予想される職種・就職先〉 <ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア検定 ・基本情報技術者 ・CG、ゲーム、映像、WEB等のエンタテインメント業界のクリエイター ・広告業界で働くデザイナー ・一般企業における広報担当など 				

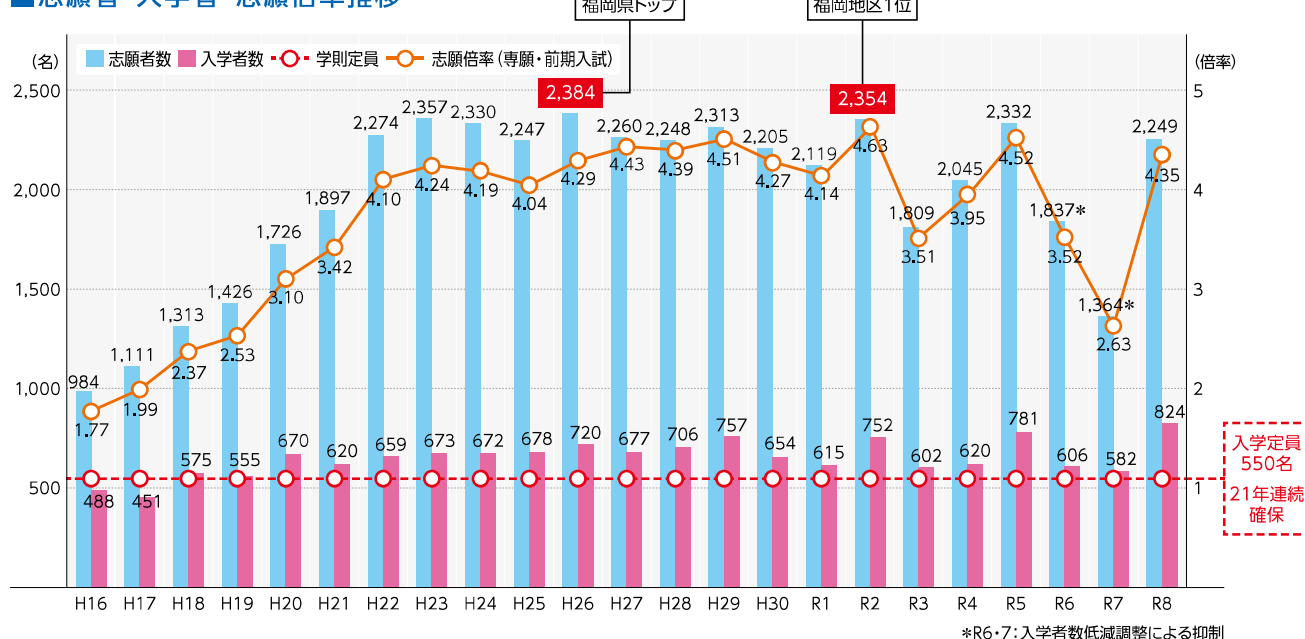
▶ 令和9年4月、短期大学部で培った情報メディア教育を基盤に、福岡工業大学デジタルメディア学部デジタルメディア学科(定員80名)として、4年制学部へ発展的に改組します。

7. 附属城東高校の取組〈重点方針Ⅶ〉

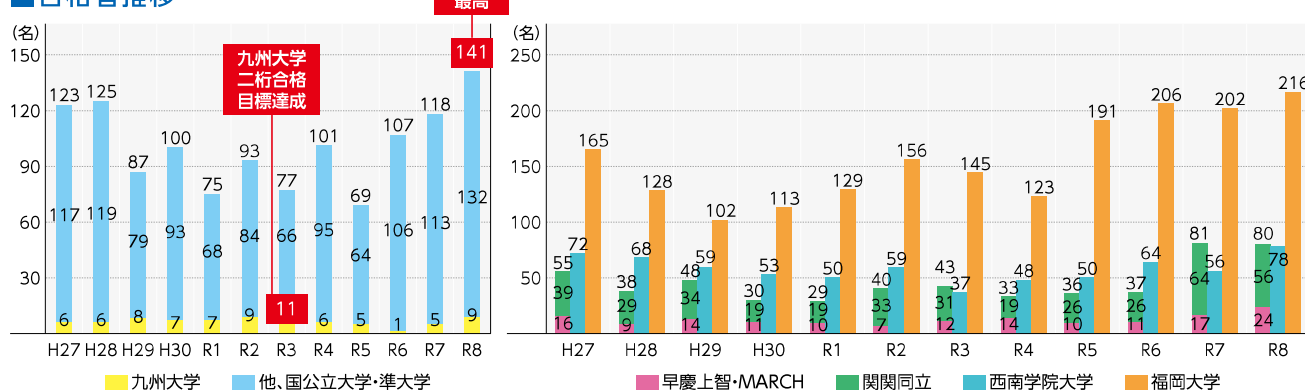
入学志願者、入学者、進学・就職状況は高位安定

入学志願者は平成12年(改革元年)以降増加、高水準を維持しています。国公立大・難関私大等の進学実績や就職実績も良好な水準を維持しています。

■ 志願者・入学者・志願倍率推移



■ 合格者推移



■ 就職状況推移

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
就職対象者	84	68	77	89	103	70	67	77	59	53	69
就職希望者	84	68	77	89	103	70	67	77	59	53	69
就職希望率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
就職者	84	68	77	89	103	70	67	77	59	53	69
就職率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

就職対象者: 卒業者数-進学者数

▶ 進路実績(進学先・就職先等)の実績は、P54「バックデータ集」を参照してください。

生徒の様々な進路に対応する特徴的教育を積極化

生徒一人ひとりの将来の夢を実現するため、進学支援(高大接続)、資格取得支援、キャリアサポート、ICT授業支援等を拡充しています。

■生徒の進路サポートの取組

進学支援	就職支援	キャリア支援	授業支援
<ul style="list-style-type: none"> 学習日誌「礎」による学習の習慣化 勉強合宿 有名国立・私立大学見学(東京・京都) 模擬講義 校内説明会 個別指導 など 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得支援 インターンシップ 企業見学 進路補習 模擬試験 など 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間 AP研究会 進路研究会 新規オリジナルイベント 大学入学共通テスト「情報」への対応 など 	<ul style="list-style-type: none"> スタディサプリ(デジタル教材)の活用 授業動画配信・オンライン添削などICTの活用 など

■高大連携「i-STEAM教育プログラム」



左) 法政大学理工学部機械工学科の加藤教授による特別講演
右) [東区こども青少年文化祭ユースフェスタ・ひがし2024]で地域の子供たちに体験してもらう様子

■海外研修(約20種類のプログラムを実施)



左) ニュージーランド短期留学時におりがみを紹介する様子
右) 韓国からの短期留学生に弓道を紹介する様子

▶ 6年度より、デジタル人材育成に取組む高校として、DX加速化推進事業(文部科学省補助事業)に採択され、ICT教育支援はさらに拡充しています。

生徒の主体性と実践力を育む活動が活性化

生徒が協働し、目標達成や課題解決に向けて主体的・実践的に取り組む、生徒会活動や地域貢献活動、部活動がいっそう活発化しています。

■活発な生徒会活動・部活動の様子



吹奏楽部 大学吹奏楽団とのクリスマスジョイントコンサート
ゲスト: 春日高等学校、九州産業大学附属九州高等学校、和白丘中学校、新宮中学校、新宮東中学校 吹奏楽部



女子バレーボール部
第70回全九州バレーボール総合選手権大会(熊本) 3位
第78回全九州高等学校バレーボール競技大会 準優勝



第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会北九州地区予選会 3000mSC優勝 第41回U20日本陸上競技選手権大会(静岡) 3000mSC準優勝
2年 竹信 祐太郎さん(河東中学校卒)

超速報 
令和8年度全国
高校総体陸上競
技男子3000m
障害において、
竹信祐太郎さん
が見事日本一に
輝きました。



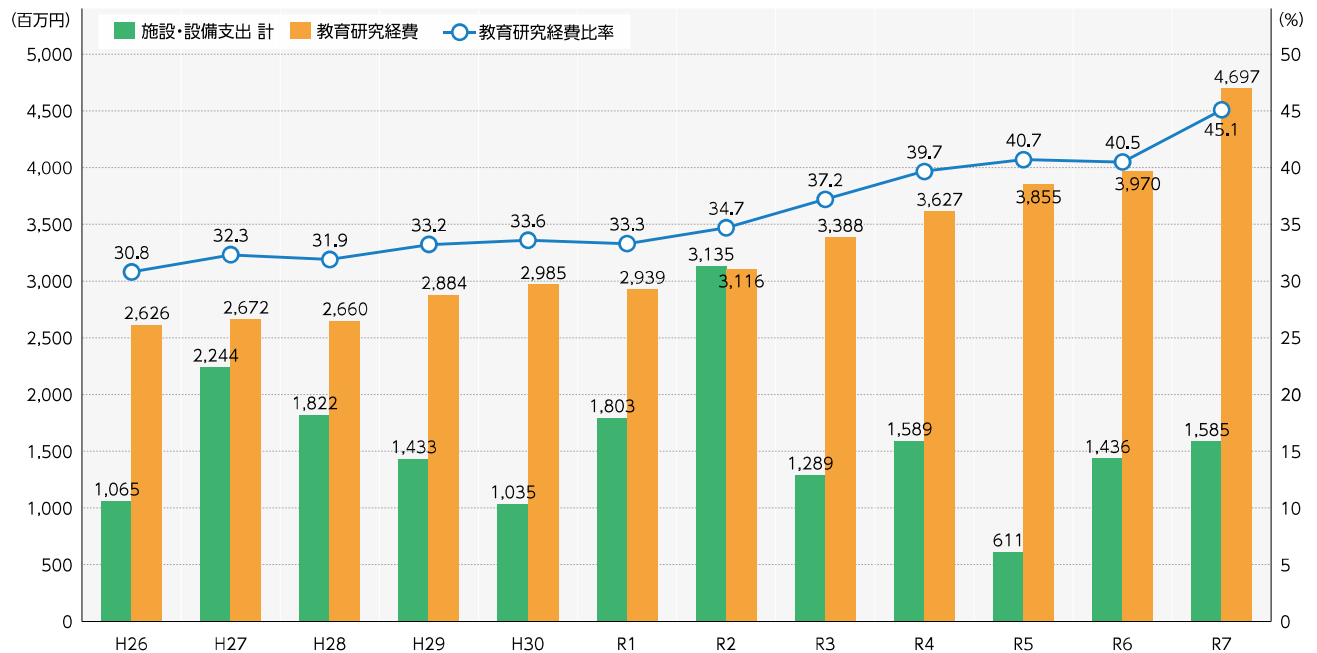
生徒会環境部 一人一花運動、スポCOMI甲子園2025福岡県大会、サイエンスフェスタ、ハロウィンクリーンアップ大作戦などの活動参加・実施 写真) ラブアースクリーンアップ2025

8-1. 財政基盤の安定〈戦略Ⅳ〉

教育・研究活動に積極的な資金投下を継続

基本方針「健全財政を堅持しつつ、教育・研究活動へ積極的に資金投下」に沿って、学費を教育・研究活動へ最大還元しています。

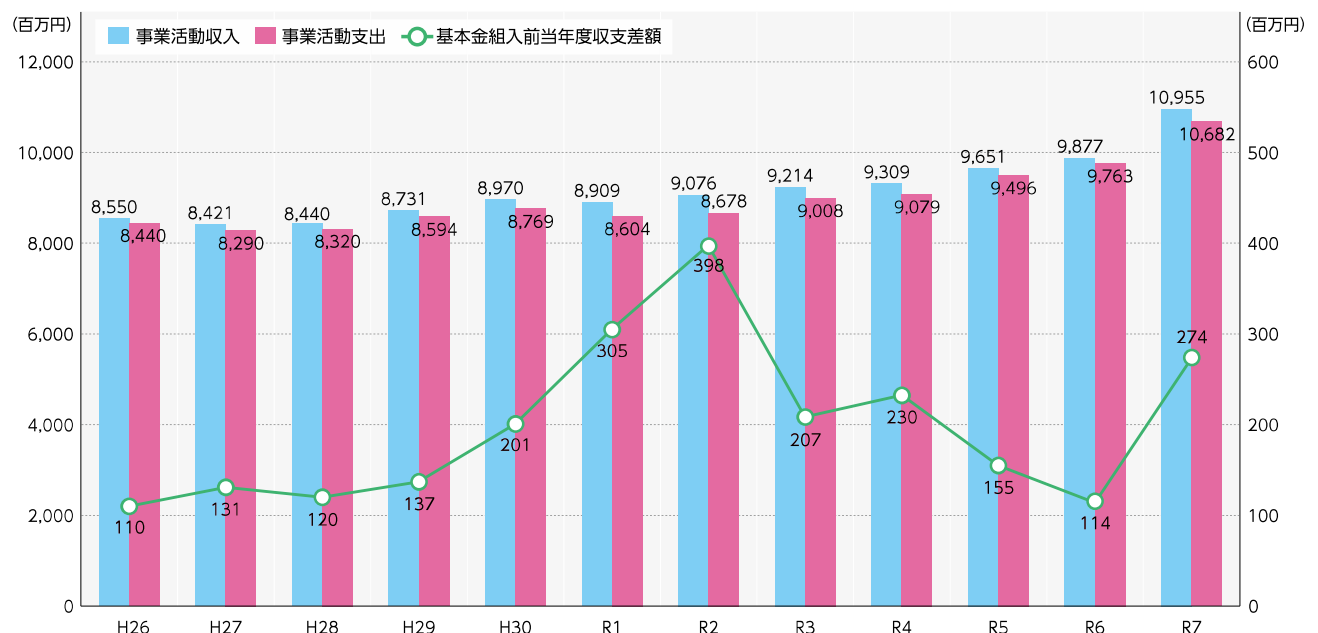
■施設・設備支出、教育研究経費(比率)推移



21年連続で計画どおり黒字計上(経営安定)

PDCAによる経営管理により、財政計画の実現性(経営効率化・安定化)が向上し、21年連続で計画どおりの黒字を計上しました。

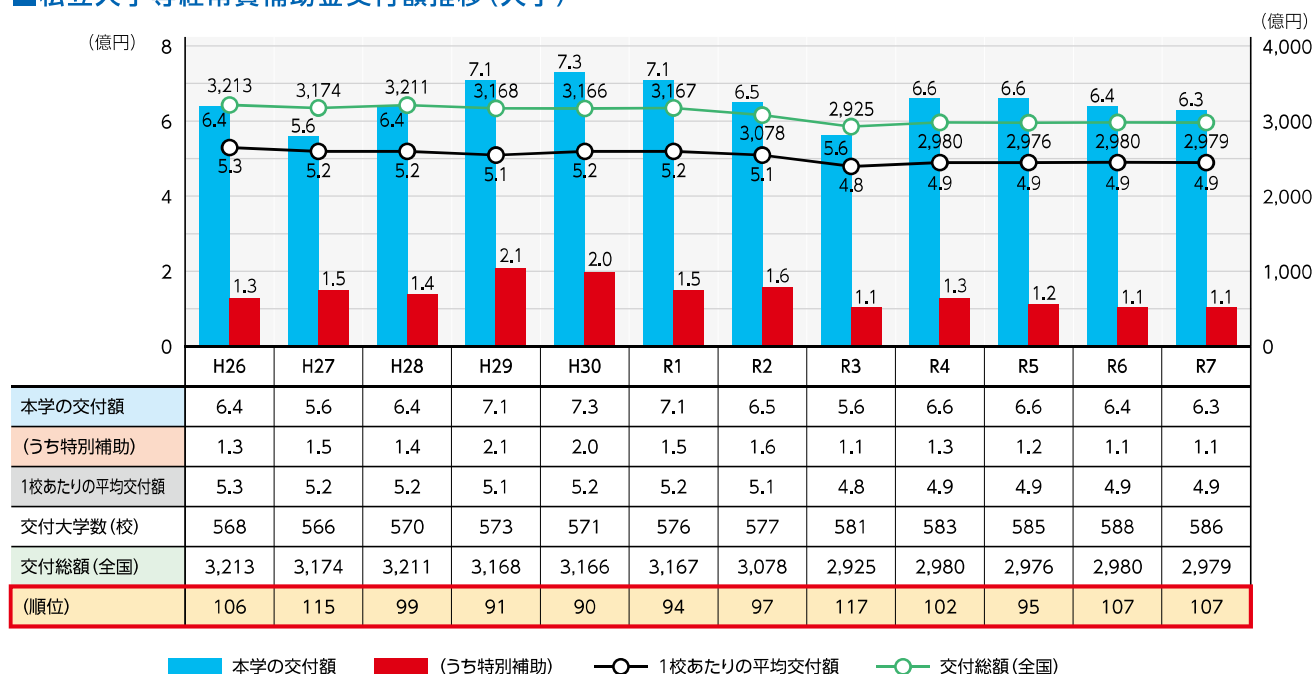
■基本金組入前収支差額推移



補助金は高水準維持(国等の助成事業との適合度合向上)

私学行政の求め(社会ニーズ)に沿って、教育・研究活動や学校運営の改善を積極的に推進し、経常費補助金は高水準を維持しています。

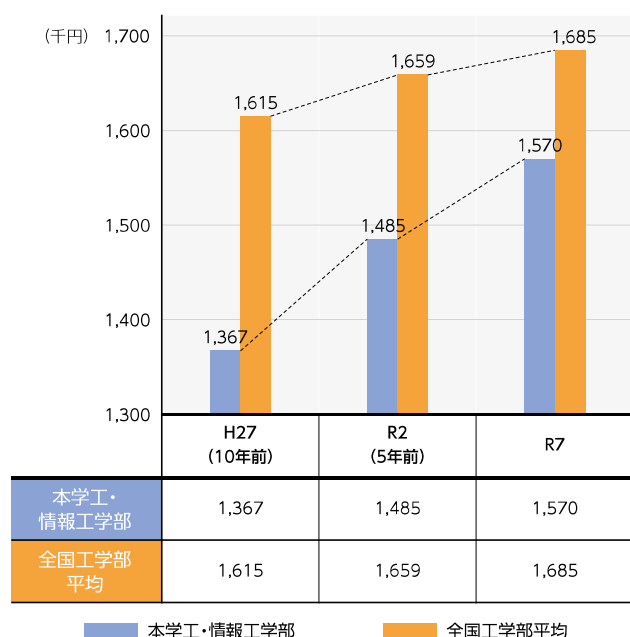
■私立大学等経常費補助金交付額推移(大学)



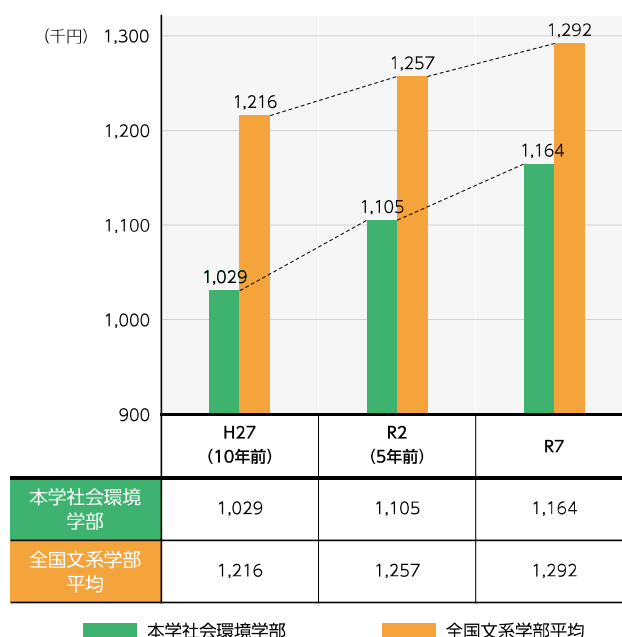
相対的低学費を維持(経営努力継続)

相対的低学費を堅持しています。経済的困窮への柔軟な対応(独自奨学制度・分割納入対応)で、経済的理由での退学等は極めて低い水準です。

■大学・学部の学費の相对比较(工学部・情報工学部)



■大学・学部の学費の相对比较(社会環境学部)



8-2. 学校運営に対する外部評価〈戦略Ⅷ〉

経営・財政の外部評価は高位・安定的。改革力に高評価

積極的・効率的な施設・設備投資や、事業計画と予算の連動性の高さ、予算管理精度の高さ等が格付会社2社から高く評価されています。

■格付会社2社からの評価（R&I:（株）格付投資情報センター、JCR:（株）日本格付研究所）

経営・財務の安定性で高い評価	
R&I格付 A+ 方向性: 安定的 令和2年から7年連続 [A+]	JCR格付 AA- 方向性: 安定的 令和3年から6年連続「 AA- 」

◎格付評価のポイント（令和6年度決算をもとにした評価）

	格付評価のポイント	格付会社の課題認識
学校運営全般	<ul style="list-style-type: none">一般入試の入学志願倍率が10倍超。実志願者数も高位で安定研究資金の獲得が高位で安定。大学院進学者も増加し募集力が向上良好な人材輩出実績を維持。PDCAサイクルで効果的に成果を創出	アジア重視戦略の効果と地域経済界との連携
経営・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none">長期ビジョン、10次経営計画を策定。経営改革の先行者としての評価を確立教職員の責任と権限を重視した理事長・学長のリーダーシップスタイル教職員すべてが経営計画の策定に関与。経営理念・方針を共有	大胆な資源配分と教育システム改革
財政全般	<ul style="list-style-type: none">学納金収入の安定度や私学助成の獲得力も強く、手堅い財務運営が特長厳格な予算統制と教育研究への積極的な資金投下により健全財政を維持・継続人件費は、厳格な定数管理のもとで安定的にコントロール	財源の多様化と運用資産の蓄積

内部統制システムの独自性に着目。講演・事例紹介多数

本学の経営管理の仕組みや内部統制システムが私学団体等から高く評価されています。セミナー・会議等に招請され、事例紹介の機会を得ました。

■NEW EDUCATION EXPO2025
（令和7年6月）



メインテーマ：
理系人材育成のために
～高等教育機関が取り組むべき内容と課題～
事例発表：
「理工系大学としての使命感とその実践
～理系人材育成政策の対応として～」
常務理事・経営管理部長 川口敏弘

■日本私立大学協会 令和7年度（通算第76回）
事務局長相当者研修会（令和7年10月）



メインテーマ：
「時代の変化に対応したガバナンス体制の構築」
事例発表：
「福岡工業大学のガバナンスと経営管理システムについて」
理事・法人事務局長 三澤礼一郎

経営・財政の管理手法が、行政や私学団体等から高評価

PDCAによる経営管理の仕組みや財政運営等の先進性が、文部科学省はじめ、日本私立学校振興・共済事業団等の私学団体から高く評価され、先進事例として幾度も全国に紹介されています。

■ 本学の経営・財政の管理手法が好事例として紹介された例 〈文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団等、国の機関からの紹介事例〉

「大学経営強化の事例集」 文部科学省委託研究において、本学の経営計画およびその実行計画の管理運営システムについて、数少ない好事例として紹介されました。 (平成19年3月)	「大学外組織評価研究会」 (独)大学改革支援・学位授与機構の研究で、本学の経営管理システム、特に様々な取り組みの評価活動について、他大学に重要な示唆を与えるとして評価されました。 (平成21年3月)	「大学評価・学位研究」 PDCAの一環として行う事業評価・改善の手法が、非営利組織の経営論の権威であるピーター・F・ドラッカーの経営理論との対比によって評価されました。 (平成22年3月)	「大学・短大の経営事例集～経営基盤強化のために」 私立大学の経営基盤強化に向けた成功事例として訪問調査を受け、その結果が冊子としてまとめられ、全国に紹介されました。 (平成29年3月)
「私大振興検討会議「議論のまとめ」」 28年10月に、文部科学省「私立大学等の振興に関する検討会議」の席に学園の常務理事が招致され、経営改革事例を報告した議論のまとめが公表されました。 (平成29年5月)	「大学改革を成功に導く特色ある取組事例集」 中期経営計画を軸とした経営管理システムと情報共有による教職協働での改革の実践が好事例として紹介されました。 (平成31年2月)	「月報私学」 私立大学の経営基盤強化に向けた成功事例として訪問調査を受け、その結果が冊子としてまとめられ、全国に紹介されました。 (令和5年2月)	「内部統制システムの実行上の諸課題」 PDCAを軸とした経営管理システムが「より発展的目的を重視するシステム」の構築を目指す有為な事例として評価され、本学理事長がパネリストとして登壇しました。 (令和6年9月)

学部・学科、事務局等の大学運営が学校経営団体等から高評価

「教育研究への積極的資金投下と健全財政の両立」が全国の教育関係者・大学行政研究者等の研究誌等で評価されています。

■ 本学の経営・財政の管理手法が好事例として紹介された例〈公益法人や大学行政研究機関等からの紹介事例〉

「私大経営システムの分析」 (平成19年11月)	「学校法人」 学校法人 (平成20年2月)	「私学経営」 私学経営 (平成20年3月)	「私立高等学校のこれからを考える」 (平成20年3月)	「学校法人」 学校法人 (平成20年7月)	「カレッジマネジメント」 カレッジマネジメント 156 (平成21年5月)
「カレッジマネジメント」 カレッジマネジメント 166 (平成23年1月)	「大学経営の評価システム」 大学経営の評価システム (平成24年3月)	「中長期経営システムの確立、強化に向けて」 R I H E (平成25年2月)	「大学マネジメント改革」 大学マネジメント改革 (平成26年3月)	「私学経営」 私学経営 (平成26年5月)	「学校法人」 学校法人 (平成28年1月)
「私学経営」 私学経営 (平成29年5月)	「日本私立大学協会の私学経営研究公開研究会セミナー」 (平成29年10月)	「学校法人」 学校法人 (令和元年7月)	「私学経営」 私学経営 (令和2年4月)	「大学時報」 大学時報 01 (令和3年1月)	「私学経営」 私学経営 (令和4年7月)

8-3. 諸活動の具体的な取組状況〈報告書・広報誌〉

大学案内2027

大学の学び、学部学科構成、諸活動の状況等を紹介しています。



2025年度 キャンパスメール

学園の取組や教職員・学生の諸活動の成果やトピックを紹介しています。
〈随時発行〉



教育開発推進機構 NEWS LETTER

教育開発推進機構で取り組む、教育の質保証、教育能力の開発、教育プログラムの開発等の諸活動をわかりやすく紹介しています。



教育開発推進機構 FD Annual Report

本学の日常の教育実践、授業方法の改善全般に関わる論文及び実践報告等を公開しています。



総合研究機構 研究紹介集 第8版

本学で取り組んでいる研究内容及び最新の研究成果や最先端技術をわかりやすく、見やすく発信しています。



総合研究機構 特許発明

研究活動で得られた成果ならびに技術情報を広く社会に公開しています。



FIT CREATE The Future〈研究BOOK〉

「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、社会課題の解決を目指す本学の様々な研究を紹介しています。



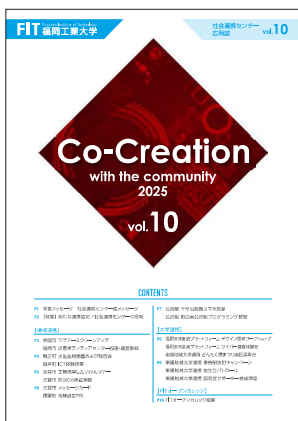
Research Highlights

国際共同研究の発展に向け、本学の研究シーズを厳選して紹介しています。



社会連携センター Co-Creation Vol.10

社会連携室が中心となつて
行う地域貢献活動・大学連
携活動を紹介しています。



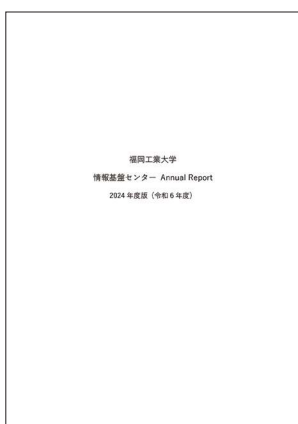
附属図書館 図書館報

図書館の利用案内及び活動
状況やトピックを紹介してい
ます。



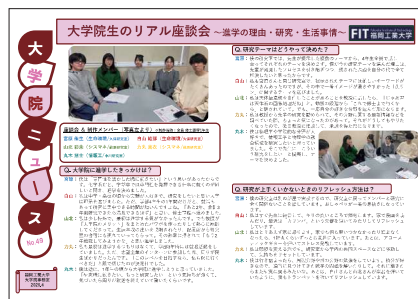
情報基盤センター Annual Report

情報基盤センター及び旧情
報処理センターのAnnual
Report(年間活動報告書)
を公開しています。



大学院ニュース

大学院での日常の学生生活や研究活動、大学院教員が研究
者となったエピソード等を紹介しています。



附属城東高校 2027 FUKUOKA JYOTO HIGH SCHOOL

附属城東高校の学び、正課・
課外活動の状況等を紹介し
ています。



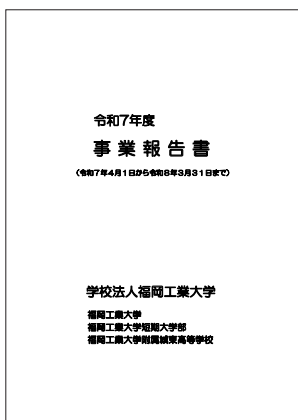
学校法人福岡工業大学 長期ビジョン (VISION BOOK)

本学園の10年後のあるべ
き未来像を紹介していま
す。



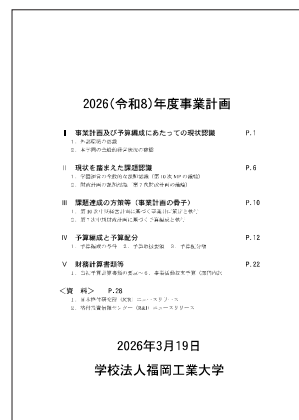
令和7年度 事業報告書

学校法人の概要、事業・投資
活動、財務に関する情報及び
内部監査システムの整備状
況等を公開しています。



令和8年度 事業計画書

情報公開の一環として、年
度の事業計画を公開してい
ます。



1. 新たな教育展開に向けたキャンパスリニューアル

全国屈指のスマートキャンパスにリニューアル

令和9年4月に、工学部先進工学科建築デザインコース・半導体工学コース、デジタルメディア学部デジタルメディア学科を設置。新たな教育研究領域への展開にあわせてキャンパスをリニューアルします。

1 **建築デザインコース
実験・実習棟の新設**



2027年3月完成予定

1級建築士を養成するための、大規模製図室、環境実験室、構造実験室を備えた実験実習棟を新設。次世代建築を追求し、新たな価値を創造する拠点にします。

2 **建築デザイン・半導体工学
コース研究室等の整備**



2027年1月完成予定

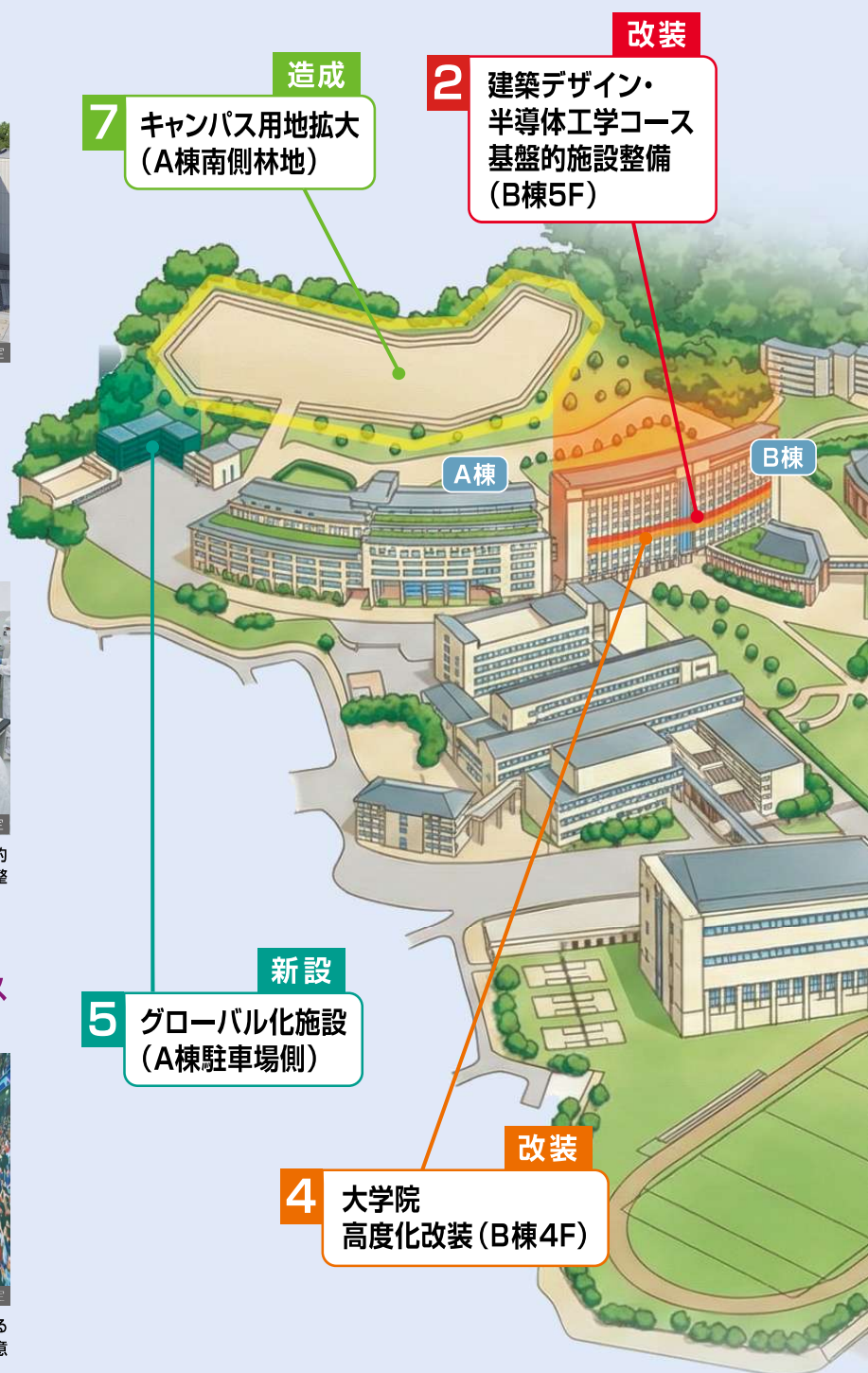
B棟5Fを改装し、建築デザイン・半導体工学コースの基盤的施設を設置します。半導体工学コース専用の最新実験室を整備するなど、未来の基幹産業を担う技術者を養成します。

3 **デジタルメディア研究スペース
先進的メディア環境の整備**



2026年10月完成予定

CG・ゲーム・サウンドなど最新のデジタル表現を可能とする環境を本部棟6F～9Fに整備。主体的な学習と寛ぎの場を意識した空間で、世界に挑むクリエイターを育成します。



The 7 Commitments for Eco-friendly Smart Campus

～ 環境配慮型スマートキャンパスに向けた7つの整備 ～



大学院教育研究施設・整備の高度化

4



大学院の高度化と機能拡充のためB棟4Fを改装。多様な知識の融合と触発効果で新たな創造が生まれる空間を意識して整備します。

グローバル化施設 (国際交流会館 (仮称)) の新設

5



キャンパスを世界の若者が集うハブへ進化。多様な価値観が交わる環境を整備。

環境配慮型設備の導入

6



GPS自動芝刈り機やEVステーションなど、最新の環境インフラを順次導入。ICTを活用したスマートな管理で、環境負荷を低減し持続可能なキャンパスを実現します。

未来に向けたキャンパスの拡張

7



将来における、いっそうの発展を見据え、平地約2,800㎡の用地を拡大。さらなる施設拡充を可能にする、広大な未来のフィールドを確保します。

2. キャンパスの概要

キャンパス全域の「教育・研究機能高度化」が大幅に進展

「学修者本位の教育拠点」の実現に向けて、AI型授業の拡充、教育DXの推進とICT教育の高度化、研究活動の充実、学生サービス機能の向上など、教育・研究環境の整備が着実に進展しました。

■ 学園全景



■ 主な校舎・施設等



A棟



B棟



C棟



D棟



E棟



F棟



α棟



FITホール



FITアリーナ



学園アプローチ



おとめが池



けやき並木



附属城東高校全景



附属城東高校1号館外観



附属城東高校体育館



FITセミナーハウス



FIT BBQ



坦心寮



コスモス寮

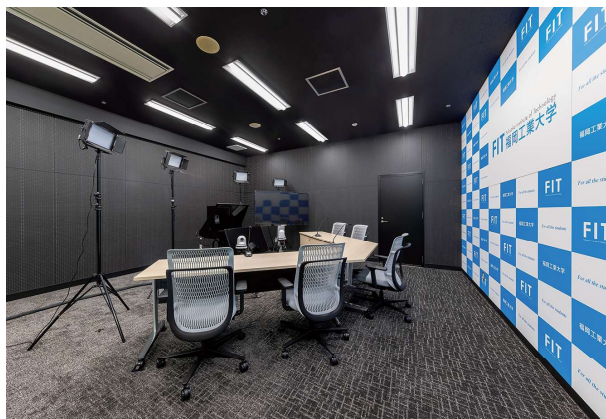


塩浜総合グラウンド

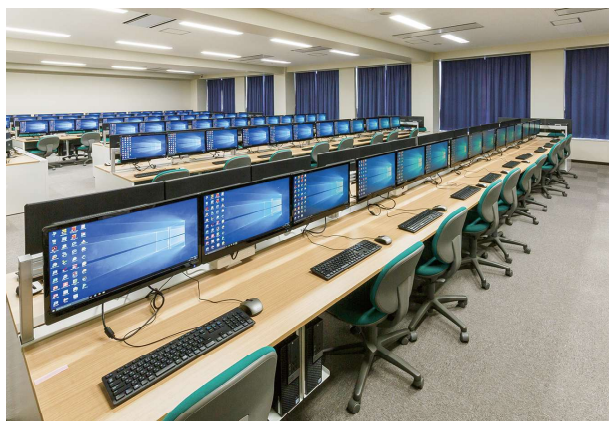
3. ラーニングサポート施設・設備



Cul Site(アクティブラーニング講義室)



FIT-DXスタジオ



PC室(最新鋭のICT機器)



FIT Link (図書館) 調査・研究ブース(超静穏環境)



Global Student Lounge 国際連携室



社会連携センター



F棟インキュベーションスタジオ2(EV実験)



モノづくりセンター

はじめに

教育・研究・社会連携活動の成果

経営・財務の概要

ファミリーの概要

バックデータ集

4. 研究施設・設備



電界放出形走査電子顕微鏡 (FE-SEM)



三次元光学プロファイラー



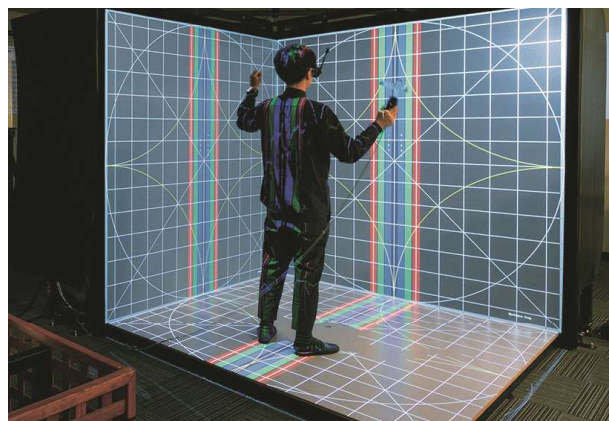
フーリエ変換赤外分光装置 (FT-IR)



顕微ラマン分光分析装置



電子線マイクロアナライザ (EPMA)



小型多面立体視 (CAVE) システム

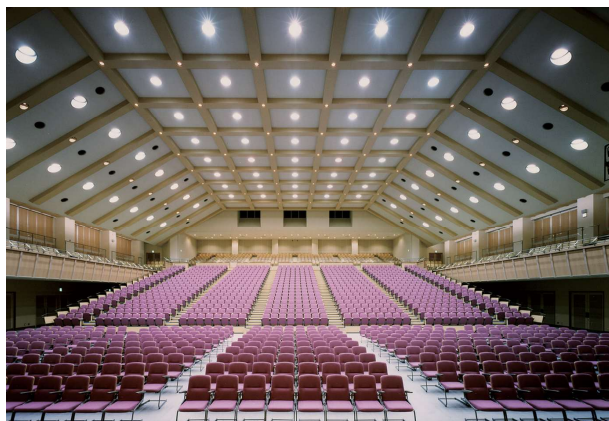


電波暗室

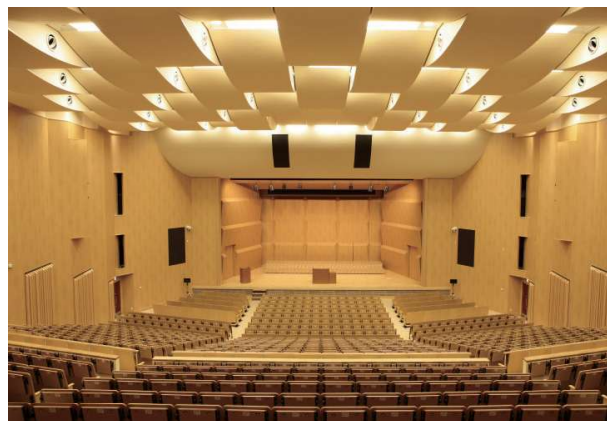


ベクトルネットワークアナライザー

5. キャンパスライフサポート施設・設備



FITアリーナ



FITホール



FITスタジアム



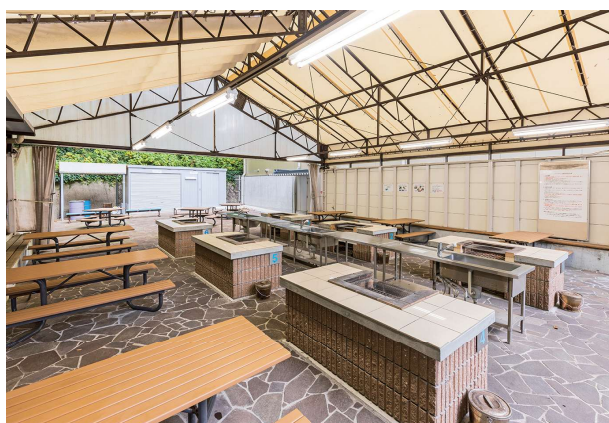
附属城東高校人工芝グラウンド・体育館



FITアリーナWESTコート



相撲場



FIT BBQ (かまど8基、テーブル8台)



FITセミナーハウス(スカイデッキ)

〈学会表彰〉令和7年度卒業証書・学位記授与者

■大学院

岩谷 光(工学研究科 電子情報工学専攻、八女工業高校)
・ISSS-10 Student Prize
・日本表面真空学会九州支部学術講演会 学生講演奨励賞

齋藤 祐星(工学研究科 電子情報工学専攻、筑紫中央高校)
・International Conference on Innovations in Engineering and Social Science (ICI ESS) 2024 Best Student Poster Presentation Award

青木 勇太(工学研究科 生命環境化学専攻、下関西高校)
・International Conference on Innovations in Engineering and Social Science (ICI ESS) 2024 Best Student Poster Presentation Award

井手 悠(工学研究科 生命環境化学専攻、福岡舞鶴高校)
・令和6年度物理化学インターカレッジセミナー兼日本油化学会界面科学部九州地区講演会 優秀ポスター賞

大庭 広汰(工学研究科 生命環境化学専攻、光陵高校)
・日本鉄鋼協会第190回秋季講演大会 学生ポスターセッション奨励賞

鬼木 健二郎(工学研究科 生命環境化学専攻、糸島高校)
・International Conference on Innovations in Engineering and Social Science (ICI ESS) 2024 Best Student Poster Presentation Award
・化学工学会第56回秋季大会材料・界面部会シンポジウム 優秀ポスター賞

久保田 恵(工学研究科 生命環境化学専攻、筑紫高校)
・資源・素材学会九州支部2025年度若手研究者および技術者の研究発表会優秀賞Presentation Award Kyushu, MMIJ
・第61回化学関連支部合同九州大会 優秀ポスター賞
・表面技術協会九州支部 優秀学生賞

田丸 智哉(工学研究科 生命環境化学専攻、柏陵高校)
・令和6年度日本生化学会九州支部例会 優秀ポスター賞銅賞
・International Conference on Innovations in Engineering and Social Science (ICI ESS) 2024 Best Student Poster Presentation Award

三浦 大輝(工学研究科 生命環境化学専攻、萩光塩学院高校)
・表面技術協会九州支部 優秀学生賞

水口 勝誠(工学研究科 生命環境化学専攻、長崎北高校)
・令和6年度物理化学インターカレッジセミナー兼日本油化学会界面科学部九州地区講演会 優秀ポスター賞

宮西 一駆(工学研究科 生命環境化学専攻、糸満高校)
・令和7年度物理化学インターカレッジセミナー兼日本油化学会界面科学部九州地区講演会 優秀口頭発表賞
・European Astrobiology Network Association 2025 Travel Grant Award
・International Conference on Innovations in Engineering and Social Science (ICI ESS) 2024 Best Student Poster Presentation Award

井上 詠心(工学研究科 知能機械工学専攻、長崎南高校)
・International Conference on Innovations in Engineering and Social Science (ICI ESS) 2024 Best Student Poster Presentation Award
・日本機械学会 三浦賞

西山 和樹(工学研究科 知能機械工学専攻、三池高校)
・計測自動制御学会 SICE優秀学生賞

萩原 一騎(工学研究科 知能機械工学専攻、須恵高校)
・International Conference on Innovations in Engineering and Social Science (ICI ESS) 2024 Best Student Poster Presentation Award

隠崎 遼河(工学研究科 電気工学専攻、長崎南高校)
・電気学会 優秀論文発表賞B賞

新 伊織(工学研究科 情報工学専攻、香住丘高校)
・日本ソフトウェア科学会 IEEE Computer Society Japan Chapter FOSE Young Researcher Award
(於FOSE2025第32回ソフトウェア工学の基礎ワークショップ)

池田 鷹飛(工学研究科 情報通信工学専攻、香椎高校)
・テレマージョン技術研究発表賞(日本バーチャルリアリティ学会テレマージョン技術研究会)

瀬川 勇太(工学研究科 情報通信工学専攻、筑紫中央高校)
・テレマージョン技術研究発表賞(日本バーチャルリアリティ学会テレマージョン技術研究会)

山本 一輝(社会環境学研究科 社会環境学専攻、別府鶴見丘高校)
・応用生態工学会九州地区大会
令和7年度九州地区事例・研究発表会 ポスター発表優秀賞

■大学

織田 竜次(工学部 電子情報工学科、山門高校)
・電子情報通信学会九州支部 成績優秀賞
・日本産業技術教育学会発明工夫コンテスト教材開発部門 学会長賞

柿坂 洋佑(工学部 生命環境化学科、香住丘高校)
・日本金属学会・日本鉄鋼協会九州支部 優秀学生賞

村中 咲和子(工学部 生命環境化学科、城南高校)
・資源・素材学会 Outstanding Student Award, Kyushu MMIJ

原口 颯斗(工学部 生命環境化学科、諫早高校)
・資源・素材学会 Outstanding Student Award, Kyushu MMIJ

坂田 竜一郎(工学部 知能機械工学科、嘉穂高校)
・日本機械学会 畠山賞

石橋 愛梨(工学部 知能機械工学科、小郡高校)
・計測自動制御学会 SICE優秀学生賞

佐藤 友哉(工学部 電気工学科、佐賀工業高校)
・令和7年度電気学会 九州支部長賞

酒井 稜平(情報工学部 情報工学科、大分雄城台高校)
・電子情報通信学会九州支部 成績優秀賞

上野 雄大(情報工学部 情報通信工学科、九州国際大学付属高校)
・電子情報通信学会九州支部 成績優秀賞

中野 朝貴(情報工学部 情報システム工学科、南筑高校)
・電子情報通信学会九州支部 成績優秀賞

徳島 由依(情報工学部 システムマネジメント学科、致遠館高校)
・電子情報通信学会九州支部 成績優秀賞

有馬 実菜子(情報工学部 システムマネジメント学科、久留米商業高校)
・日本経営工学会 優秀学生賞

大和 烈(情報工学部 システムマネジメント学科、東福岡高校)
・日本オペレーションズ・リサーチ学会九州支部 優秀発表賞

〈卒業時学業成績優秀者〉

■大学

- 岩政 遥香(工学部 電子情報工学科、致遠館高校)
- 柿坂 洋佑(工学部 生命環境化学科、香住丘高校)
- 坂田 竜一郎(工学部 知能機械工学科、嘉穂高校)
- 小川 慶太(工学部 電気工学科、鳥栖高校)
- 酒井 稜平(情報工学部 情報工学科、大分雄城台高校)
- 大島 佑月(情報工学部 情報通信工学科、諫早商業高校)
- 福永 祐子(情報工学部 情報システム工学科、星琳高校)
- 永野原 ゆい(情報工学部 システムマネジメント学科、名護高校)
- 谷口 寛太(社会環境学部 社会環境学科、福岡中央高校)

■短期大学部

- 中司 萌々香(情報メディア学科、明善高校)
- 中嶋 宏樹(情報メディア学科、立花高校)

〈学生表彰〉

■個人表彰(下期)

- 大和 烈(情報工学部 システムマネジメント学科、東福岡高校)
・令和7年度日本オペレーションズ・リサーチ学会 九州支部
九州地区におけるOR若手研究交流会 優秀賞受賞
- 織田 竜次(工学部 電子情報工学科、山門高校)
・日本産業技術教育学会主催
2025年度 技術教育創造の世界(大学生版)
発明・工夫コンテスト 教材開発部門 学会長賞
- 長妻 奏音(工学部 生命環境化学科、古賀竟成館高校)
・東西学生弓道選抜対抗試合第49回女子の部
西軍優勝(3年・長妻奏音代表選出、出場)

■団体表彰(通期)

- ラグビー部
・第63回木元杯 九州セブンズ 準優勝
・令和7年度九州学生ラグビーリーグ 優勝
- 軟式野球部
・令和7年度九州学生軟式野球連盟春季大会 優勝
- 吹奏楽団
・第48回全日本アンサンブルコンテスト大学の部 金賞
・第41回福岡県吹奏楽コンクール 大学の部 金賞
・第70回九州吹奏楽コンクール大学の部 金賞
・第73回全日本吹奏楽コンクール大学の部 金賞
・第19回福岡県アンサンブルコンテスト大学の部 金賞
・第51回九州アンサンブルコンテスト大学の部 金賞
- 女子柔道部
・第33回九州学生女子柔道優勝大会(3人制の部) 準優勝

i-STEAM 教材開発グループ(情報工学部 情報システム工学科)

- 森 千晶(三養基高校)
前原 彩乃(大牟田高校)
尾畑 優衣(北筑高校)
関本 咲耶(八女高校)
・日本産業技術教育学会発明・工夫コンテスト
教材開発部門 学会長賞

弓道部 女子

- ・第63回九州学生弓道選手権大会 女子団体優勝
・全日本学生弓道王座決定戦第49回女子の部
団体ベスト4(第3位)

工学部 電気工学科 3年

- 渡邊 翼(武蔵台高校)
小寄 涼介(出水工業高校)
・2025年CQEVミニカート・レース筑波大会(全国大会)
学生3位(総合4位)入賞

モノづくりセンター ロボコンプロジェクト

- ・第15回キャッチロボバトルコンテスト 3位
(全国から95チーム)
・九州夏ロボコン2025 準優勝

i-STEAM 教材開発グループ(情報工学部 情報システム工学科)

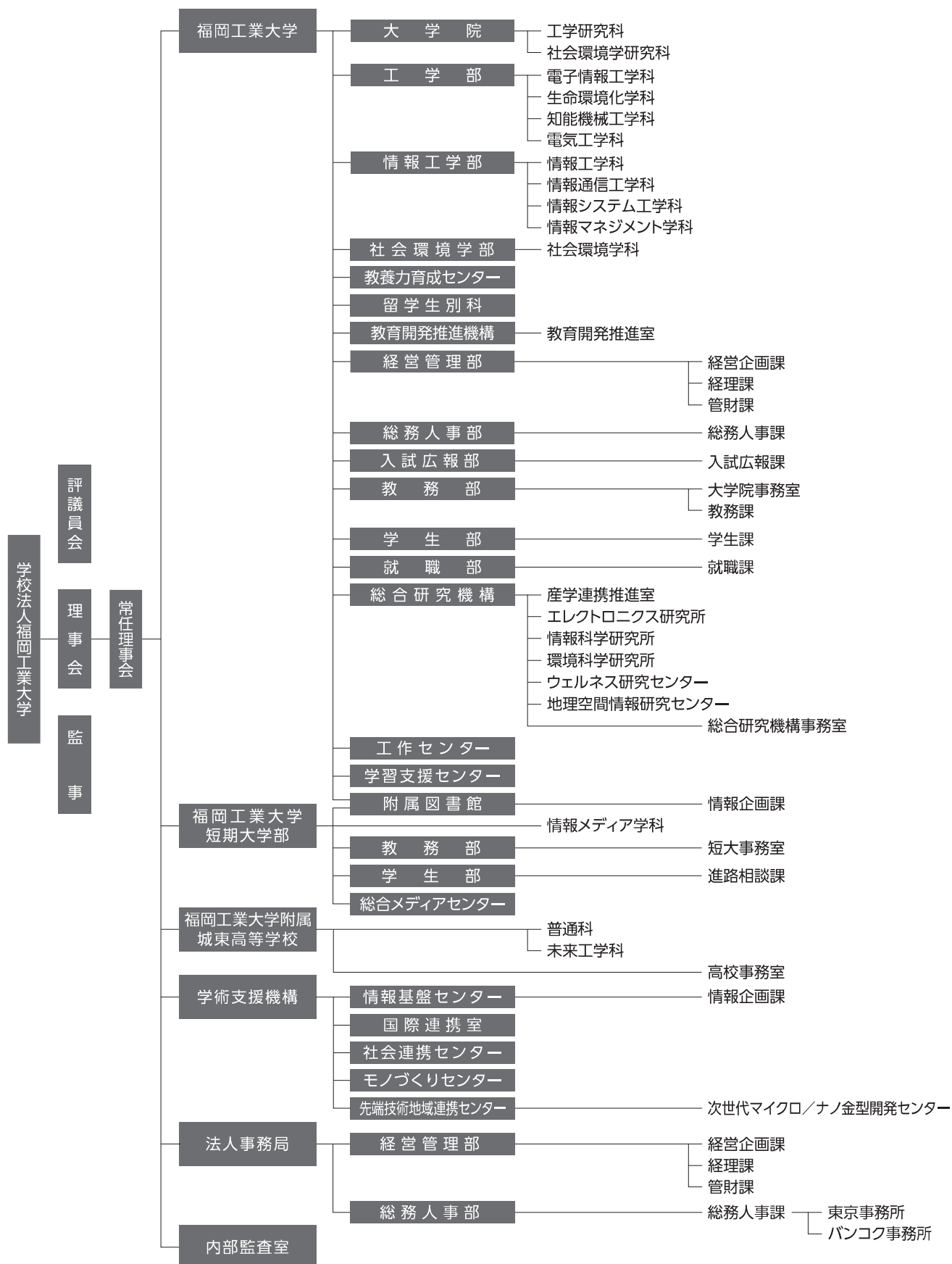
- 原口 芽生(筑陽学園高校)
尾畑 優衣(北筑高校)
水田 志保(香椎高校)
・日本産業技術教育学会主催
2025年度技術教育創造の世界(大学生版)
発明・工夫コンテスト 教材開発部門 特別賞



上期表彰者の皆さん



下期表彰者の皆さん



■役員一覧

①理事[定数5～10、現員10]

役職等名	区分※	氏名	常勤	現職・前職名
理事(理事長)	2号	大谷 忠彦	○	理事長
理事(常務理事)	2号	川口 敏弘	○	常務理事
理 事	1号	村山 理一	○	福岡工業大学・同短科大学学長
理 事	1号	佐伯 道彦	○	附属城東高等学校長
理 事	2号	三澤 礼一郎	○	法人事務局長
理 事	2号	長谷川 純一	○	理事
理 事	2号	小幡 修	—	(株)福岡銀行 行友
理 事	2号	川原 正孝	—	(株)ふくや 代表取締役会長
理 事	2号	森 紀久雄	—	元ユーコー 相談役兼監査役
理 事	2号	谷地 明弘	—	学千葉敬愛学園 常務理事

②監事[定数2～3、現員3]

役職等名	氏名	常勤	現職・前職名
監 事	山本 修一	○	常勤監事
監 事	松本 友行	—	(福)福岡ろうあ福祉会副理事長
監 事	森川 康朗	—	(株)福岡銀行 顧問

③評議員[定数6～12、現員12]

役職等名	区分※	氏名	現職・前職名
評議員	1号	倪 宝栄	福岡工業大学 副学長 教授
評議員	1号	前田 洋	福岡工業大学 副学長 教授
評議員	1号	池田 悦雄	福岡工業大学 東京事務所長
評議員	1号	本行 義洋	福岡工業大学学生部兼就職部事務部長
評議員	2号	田中 秀司	元 福岡工業大学 教授
評議員	2号	岡本 公明	(有)ネオグリーン 代表取締役
評議員	3号	伊東 鐘賛	創生会グループ 代表
評議員	3号	山下 剛	元 福岡工業大学 常務理事
評議員	3号	阿山 光利	(学)河野学園 監事
評議員	3号	堤 晋輔	(株)杉建 専務取締役
評議員	3号	福永 智久	(福)恩賜財団済生会 済生会二日市病院
評議員	3号	池田 勝	(株)シティアスコム 代表取締役社長

※1号理事：学長・校長、同2号：学識経験者
1号評議員：法人職員、同2号：卒業生、同3号：学識経験者

④会計監査人

名称	あゆみ監査法人
所在地	福岡市中央区天神1丁目1番1号アクロス福岡11F 西オフィス
就任年月日	令和7年6月20日
任期	令和8年6月開催の定時評議員会終結時まで (別段の決議がされなかったときは、再任されたものとみなす)

■大学 役職者一覧(学長・副学長・部科長等)

役職名	氏名
学長	村山 理一
副学長	倪 宝栄
副学長	前田 洋
工学研究科長	宋 宇
社会環境学研究科長	鄭 雨宗
工学部長	松尾 敬二
情報工学部長	藤岡 寛之
社会環境学部長	尹 諒重
教養力育成センター長	徳永 光展
電子情報工学科長	松井 義弘
生命環境化学科長	三田 肇
知能機械工学科長	田邊 里枝
電気工学科長	田島 大輔
情報工学科長	柏 浩司
情報通信工学科長	松尾 慶太
情報システム工学科長	木室 義彦
情報マネジメント学科長	井口 修一
社会環境学科長	松藤 賢二郎
教務部長	山澤 一誠
学生部長	渡邊 智明
就職部長	渡邊 智明
入試広報部長	近木 祐一郎
附属図書館長	土屋 麻衣子
教育開発推進機構長	前田 洋 (兼任)
総合研究機構長	倪 宝栄 (兼任)
エレクトロニクス研究所長	井上 昌睦
情報科学研究所長	石原 真紀夫
環境科学研究所長	乾 隆帝
産学連携推進室長	倪 宝栄
学術支援機構長	倪 宝栄
情報基盤センター長	松木 裕二
社会連携センター長	松木 裕二
モノづくりセンター長	桑原 順子

■短期大学部 役職者一覧(学長・部長)

役職名	氏名
学長	村山 理一
教務部長	弘中 大介
学科長・学生部長	吉原 克枝

■附属城東高校 役職者一覧(校長・副校長・教頭)

役職名	氏名
校長	佐伯 道彦
副校長	迫田 勝之
教頭	松尾 智晴
教頭	村上 文司
教頭	野本 博文

設置学部・学科／教養力育成センター／専攻概要

設置校	学部・研究科名	学科名	設置コース／学習領域〔教養力育成センター〕	教育研究上の目的／カリキュラム編成の基本方針〔教養力育成センター〕
大学	工学部	電子情報工学科		現代社会において、科学技術者は、科学技術への貢献はもとより、社会人として自立し、広い視野に立ち柔軟な発想を行えることが求められている。本学科は、電子技術と情報技術が融合した技術分野において、このような要請に応えることができる実践型の人材の養成を目的とする。
		生命環境化学学科	生命環境化学コース 食品コース	地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物学的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した物質系・生物系技術者の人材の養成を目的とする。
		知能機械工学科		情報技術と生産技術を融合した知能機械が主流となった機械分野において、基礎及び専門技術に関する知識と応用力を身につけるとともに、それらを駆使したデザイン能力とコミュニケーション能力を有し、技術者倫理をもってグローバルな活躍ができる人材の養成を目的とする。
		電気工学科		日々進歩する電気・電子・情報工学の技術を理解し、習得するための素養と専門知識及び技術を身につけ、国際感覚と倫理観を有するとともに、地域産業のニーズも理解し、地域的また国際的連携の両方を意識して活躍できるグローバルな技術人材の養成を目的とする。
	情報工学部	情報工学科		コンピュータのソフトウェア・ハードウェアの基礎及び応用を教授研究し、プログラミングに習熟させるとともに、インターネットや人工知能、知能ロボット、自然言語処理、画像処理、データベース、マルチメディア、CG、システム LSI などの最先端のコンピュータ技術・応用技術を持つ専門的職業人及び教育研究者の人材の養成を目的とする。
		情報通信工学科		今日の情報通信関連技術は、あらゆる産業分野における基幹技術としての影響力を持つようになり、社会生活の中に深く関係している。このように情報通信工学の裾野が限りなく広がり、技術的な可能性が満ち溢れる世界で、独創性を発揮し、多様化する先端技術を開拓できる技術者及び情報通信関連分野の研究能力を有する人材の養成を目的とする。
		情報システム工学科		今日まで発展を遂げてきた情報技術が社会的基盤となり、人々の暮らしを支える情報システムのサービス形態は、変化・適用・深化を繰り返しながらこれからも発展し続けていくことが予想される。本学科では、情報技術、ロボット制御、生体システムを柱とする実践的教育を展開し、技術者倫理、コミュニケーション能力、エンジニアリングデザイン能力を身につけることで、社会の持続的発展に不可欠な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者の養成を目的とする。
		情報マネジメント学科		ITスキルやデータサイエンスに関する知識と技術及び経営工学に関する知識の修得とともに、情報の活用による組織の価値を高めるためのマネジメント手法を修得させる教育を行い、情報処理と情報分析に関する理論や手法を組織活動の場面に適用することができる行動力をもって、組織の知力の向上や組織の価値の創造に貢献できる人材の養成を目的とする。
	社会環境学部	社会環境学科	社会デザインコース 環境マネジメントコース	環境に関わる諸問題に関して主として社会科学の立場からアプローチし、社会の仕組みを理解した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる実践型の人材の養成を目的とする。
	教養力育成センター (全学部共通)		①基礎科目(文化・社会・自然・情報)、②キャリア科目、③外国語科目、④ウェルネス科目、⑤教職科目	学びの基盤となる幅広い知識・理解、社会で共有される価値観や多面的な視点である基盤知識を養うとともに、他者と協働しながら主体的に問題解決に立ち向かうことができる基盤能力を育成するための教育を展開する。
大学院	工学研究科	物質生産システム工学専攻 (博士後期課程)		物質生産システム工学専攻は、電子物性工学、機能材料応用工学、エネルギーシステム工学及び設計生産システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
		知能情報システム工学専攻 (博士後期課程)		知能情報システム工学専攻は、知能情報工学、情報伝送工学、知的メディア工学及び情報制御システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
		電子情報工学専攻		現代社会は、コンピュータを先頭とした電子情報技術が著しく発達し、広く普及している社会である。本専攻では、広い視野に立って、電子情報工学の理論及び応用を教授、研究し、高度な専門的知識を背景に、独創的な研究開発能力を身につけた技術者を養成することを目的とする。
		生命環境化学専攻		本学の建学の綱領に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、科学技術や社会の進歩向上に寄与する人材を育成することを目的とする。具体的に本専攻では、広い視野に立って精深な学識を授け、物質工学及び生物工学を中心とした専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。
		知能機械工学専攻		機械工学は、ナノ・マイクロテクノロジーから巨大システムまで基盤となる技術を開拓していく学問分野です。機械工学はそれ自身の高度化、先進化及び微細化とともに電子情報技術の飛躍的な発達により機械の知能化が進んでいます。本専攻では機械工学の基礎分野の知識を十分修得した上で、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		電気工学専攻		本専攻は電気系工学・技術の分野において活躍できる、高度の問題解決能力と研究開発能力を備えた技術者を育成することを教育の目的とする。このため工学部電気系学科修了程度の基礎知識を有する学生を対象に、進歩を続ける技術に長期的に対応して行けるよう電気関連主要分野の深い基礎理論を講究するとともに、並行してこの分野の先端的研究テーマについての研究に取り組み創造的対応能力を培う。
		情報工学専攻		人工知能や集積回路、マルチメディアや画像処理、データベースやソフトウェア開発などの情報工学分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		情報通信工学専攻		携帯電話や無線 LAN、光ファイバ伝送などの情報伝送技術やインターネットなどの情報ネットワークの分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		情報システム工学専攻		情報システム工学専攻は、少子高齢化社会で求められる様々な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、情報社会の発展に役立つ研究課題を自ら探求して解決する能力を備えた人材の育成を目的とする。
		システムマネジメント専攻		システムマネジメント専攻は、経営、生産、情報メディアシステムに対して調査・分析・設計・評価に必要な工学的な諸手法について教授し、これらのシステムから得られる情報を有効に利用してシステムを構築・解析・最適化する能力を備えた人材の育成を目的に、教育研究を行う。
	社会環境学	社会環境学専攻		環境に関わる諸問題に関して主として社会科学及び人文科学の立場からアプローチし、個人・企業・社会全体の仕組みを研究する能力を醸成した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる高度な専門性が求められる職業を担うための能力を培うことを目的とする。
短期大学部		情報メディア学科		情報メディア学科は、情報教育を中心とした教育プログラムにより、高度に IT 化された社会における即戦力となる情報活用能力を身に付けた人材の育成に加え、社会の構成員として力強く生きていくためのリテラシーを身に付けた人材を養成することを目的とする。

* 令和8年5月1日現在

資格について ☐ 全学的に支援・支援講座を行っている資格(社会連携センター主催)
☒ 各学科で支援・支援講座を行っている資格
 ☆ 国家資格

教員構成(人)*	取得可能学位	取得可能な教員免許	取得支援を実施している資格*
教授 9 准教授 3 助教 2	学士 (工学)	高等学校教諭一種免許状(工業)	☒ ITパスポート ☐ TOEIC L&R ☒ 基本情報技術者 ☒ 第一級陸上特殊無線技士 ☒ 第一級陸上無線技術士 ☒ MOS(Microsoft Office Specialist)
教授 8 准教授 6		高等学校教諭一種免許状(工業、理科) 中学校教諭一種免許状(理科)	☒ 食品衛生管理者 ☒ 食品衛生監視員 ☒ 毒物劇物取扱責任者 ☒ 公害防止管理者 ☒ 危険物取扱者 ☒ 環境計量士 ☒ 環境測定分析士 ☒ NR・サブリメントアドバイザー
教授 8 准教授 8 助教 1		高等学校教諭一種免許状(工業)	☒ 機械保全技能士 ☒ CAD利用技術者 ☒ 機械加工技能士(普通旋盤作業) ☒ 機械設計技術者 ☐ ITパスポート ☐ 基本情報技術者 ☐ TOEIC L&R
教授 8 准教授 2 助教 4		高等学校教諭一種免許状(工業)	☒ 電気主任技術者 ☒ 電気工事士 ☐ ITパスポート ☐ 基本情報技術者 ☐ TOEIC L&R
教授 9 准教授 9 講師 2	学士 (情報工学)	高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	☐ ITパスポート ☐ 基本情報技術者 ☒ Linux(Linux Professional Institute Certification) ☒ CCNA(Routing and Switching) ☐ TOEIC L&R
教授 12 准教授 2		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	☒ 無線従事者 ☒ 電気通信主任技術者 ☒ 工事担当者(ネットワーク接続技術者) ☒ 基本情報技術者 ☒ Linux(Linux Professional Institute Certification) ☒ CCNA(Routing and Switching) ☐ ITパスポート ☐ TOEIC L&R
教授 5 准教授 4 講師 2 助教 2		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	☐ 基本情報技術者 ☐ ITパスポート ☒ Linux(Linux Professional Institute Certification) ☒ CCNA(Routing and Switching) ☒ MOS(Microsoft Office Specialist) ☐ TOEIC L&R
教授 7 准教授 4 助教 2		高等学校教諭一種免許状(情報)	☐ 基本情報技術者 ☐ ITパスポート ☒ Linux(Linux Professional Institute Certification) ☒ CCNA(Routing and Switching) ☒ 統計検定 ☒ G検定 ☒ データサイエンス検定 ☒ リテラシーレベル ☒ 品質管理(QC)検定 ☐ TOEIC L&R
教授 10 准教授 5	学士 (社会環境学)	高等学校教諭一種免許状(公民) 中学校教諭一種免許状(社会)	☒ MOS(Microsoft Office Specialist) ☒ GIS学術士 ☒ 日商簿記検定 ☐ 基本情報技術者 ☐ ITパスポート ☐ TOEIC L&R
教授 10 准教授 3 助教 1	博士 (工学)		
教授 17 准教授 2			
教授 9 准教授 3	修士 (工学)	高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 8 准教授 6		高等学校教諭専修免許状(理科) 中学校教諭専修免許状(理科)	
教授 8 准教授 6 助教 1		高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 6 准教授 1 助教 4		高等学校教諭専修免許状(工業)	
教授 8 准教授 7		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)	
教授 11 准教授 2		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)	
教授 5 准教授 4 講師 2 助教 2		高等学校教諭専修免許状(情報)	
教授 7 准教授 4 助教 2		高等学校教諭専修免許状(情報)	
教授 11 准教授 5	修士 (社会環境学)		
教授 5 准教授 7 助教 2	短期大学士 (情報工学)		☐ 基本情報技術者 ☐ ITパスポート ☒ ドットCOMマスタ ☒ CG-ARTS検定 ☒ MOS(Microsoft Office Specialist) ☐ TOEIC L&R

※学内で資格対策講座を実施していない資格については、連携する外部教育機関を紹介

教職員数 令和8年5月1日現在

■教員数

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
学部・学科名	合 計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
教授	83	6	89	32	3	35	34	0	34	10	0	10	7	3	10	4	1	5
准教授	38	8	46	18	1	19	17	2	19	2	3	5	1	2	3	6	1	7
講師	3	0	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
助教	11	2	13	6	1	7	5	0	5	0	0	0	0	1	1	2	0	2
合 計	135	16	151	56	5	61	59	2	61	12	3	15	8	6	14	12	2	14
(うち外国籍教員)	15	2	17	7	0	7	4	1	5	4	0	4	0	1	1	1	0	1

■年齢区分別 教員数

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
学部・学科名	合 計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
29歳以下	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
30歳～39歳	13	3	16	8	1	9	3	2	5	1	0	1	1	0	1	2	0	2
40歳～49歳	42	9	51	15	3	18	21	0	21	5	2	7	1	4	5	4	0	4
50歳～59歳	47	3	50	17	1	18	21	0	21	6	0	6	3	2	5	2	2	4
60歳～69歳	33	0	33	16	0	16	14	0	14	0	0	0	3	0	3	4	0	4
70歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	135	16	151	56	5	61	59	2	61	12	3	15	8	6	14	12	2	14

■専任教員・非常勤教員比率

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
学部・学科名	合 計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
専任教員	135	16	151	56	5	61	59	2	61	12	3	15	8	6	14	12	2	14
(比率・%)	61.9%	38.1%	58.1%	58.9%	45.5%	57.5%	65.6%	11.8%	57.0%	66.7%	60.0%	65.2%	53.3%	66.7%	58.3%	52.2%	33.3%	48.3%
非常勤教員	83	26	109	39	6	45	31	15	46	6	2	8	7	3	10	11	4	15
(比率・%)	38.1%	61.9%	41.9%	41.1%	54.5%	42.5%	34.4%	88.2%	43.0%	33.3%	40.0%	34.8%	46.7%	33.3%	41.7%	47.8%	66.7%	51.7%
合 計	218	42	260	95	11	106	90	17	107	18	5	23	15	9	24	23	6	29

■城東高校教員数

学校名	福岡工業大学附属城東高校		
男女別	男	女	計
校長	1	0	1
副校長	1	0	1
教諭	42	16	58
常勤講師・非常勤講師	54	42	96
合 計	98	58	156

■職員数

学校名	福岡工業大学			福岡工業大学短期大学部			福岡工業大学附属城東高校		
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計
専任職員	60	16	76	2	1	3	4	0	4
特定・嘱託・契約職員	9	67	76	0	3	3	1	10	11
派遣職員	4	17	21	0	2	2	0	2	2
合 計	73	100	173	2	6	8	5	12	17

卒業・修了生累計、同窓会会員数

■卒業・修了生累計

61,113名 (令和8年3月31日現在)

学 部 46,407名
大学院 1,934名
修 士 1,859名
課程博士 71名
論文博士 4名

短期大学部 12,772名

■地域別同窓会会員数 (令和8年2月28日現在)

地域名	会員数	地域名	会員数
北海道・東北	38	中国	2,941
関東	1,051	四国	1,072
東海	308	福岡県	16,527
関西・北陸	751	九州・沖縄(福岡県を除く)	8,239
		合 計	30,927

令和7年度学位授与数

■学士・短期大学士授与数

学部等名	授与数
工学部	361
情報工学部	404
社会環境学部	147
短期大学部	129

■博士・修士授与数

研究科名	修士授与数	博士授与数
工学研究科	75	2
社会環境学研究科	1	-

■文部科学省認定「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」認定者数

	応用基礎レベル	リテラシーレベル
短期大学部	27	116

学生数 各年度5月1日現在

大学、短期大学部在籍学生数

学部	学科	令和7年度									8年度		
		定員	現員	定員充足率	留年者数※	留年率	休学者	休学率	退学・除籍者数	中退率	定員	現員	定員充足率
工学部	電子情報工学科	360	404	1.12	74	18.3%	21	5.2%	15	3.7%	360	433	1.20
	生命環境化学科	360	418	1.16	23	5.5%	9	2.2%	7	1.7%	360	431	1.20
	知能機械工学科	440	514	1.17	35	6.8%	14	2.7%	14	2.7%	440	521	1.18
	電気工学科	360	419	1.16	60	14.3%	21	5.0%	28	6.7%	360	417	1.16
	合 計	1,520	1,755	1.15	192	10.9%	65	3.7%	64	3.6%	1,520	1,802	1.19
情報工学部	情報工学科	520	624	1.20	28	4.5%	16	2.6%	6	1.0%	520	632	1.22
	情報通信工学科	360	411	1.14	39	9.5%	16	3.9%	17	4.1%	360	443	1.23
	情報システム工学科	360	424	1.18	30	7.1%	17	4.0%	12	2.8%	360	437	1.21
	システムマネジメント学科	130	161	1.24	20	12.4%	5	3.1%	3	1.9%	65	85	1.31
	情報マネジメント学科	180	201	1.12	8	4.0%	2	1.0%	5	2.5%	270	310	1.15
	合 計	1,550	1,821	1.17	125	6.9%	56	3.1%	43	2.4%	1,575	1,907	1.21
社会環境学部	社会環境学科	700	758	1.08	45	5.9%	20	2.6%	14	1.8%	700	822	1.17
福岡工業大学合計		3,770	4,334	1.15	362	8.4%	141	3.3%	121	2.8%	3,795	4,531	1.19
大学院	工学研究科(修士)	128	178	1.39	2	1.1%	2	1.1%	3	1.7%	128	192	1.50
	工学研究科(博士)	12	16	1.33	1	6.3%	1	6.3%	1	6.3%	12	18	1.50
	社会環境学研究科	12	12	1.00	2	16.7%	0	0.0%	1	8.3%	12	20	1.67
	合 計	152	206	1.36	5	2.4%	3	1.5%	5	2.4%	152	230	1.51
福岡工業大学・大学院合計		3,922	4,540	1.16	367	8.1%	144	3.2%	126	2.8%	3,947	4,761	1.21
福岡工業大学短期大学部	情報メディア学科	320	273	0.85	18	6.6%	7	2.6%	23	8.4%	320	223	0.70

※卒業単位不足者+進級単位不足者の合計

高等学校在籍生徒数

課程	令和7年度			8年度		
	定員	現員	定員充足率	定員	現員	定員充足率
普通科	1,050	1,432	1.36	1,050	1,439	1.37
未来工学科(令和8年度から)				200	242	1.21
電気科(令和7年度入学まで)	300	133	0.44	200	81	0.41
電子情報科(令和7年度入学まで)	300	370	1.23	200	222	1.11
福岡工業大学附属城東高等学校合計	1,650	1,935	1.17	1,650	1,984	1.20

学校別在籍学生・生徒数(経年比較)

学校名	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
大学	4,299	4,293	4,220	4,222	4,225	4,165	4,154	4,252	4,334	4,531
大学院	137	139	151	162	163	174	192	199	206	230
短期大学部	398	389	393	373	355	381	358	329	273	223
高校	2,114	2,082	1,978	1,992	1,946	1,942	1,966	1,963	1,935	1,984
合 計	6,948	6,903	6,742	6,749	6,689	6,662	6,670	6,743	6,748	6,968

収容定員充足率(経年比較)

学校名	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
大学	1.18	1.15	1.13	1.13	1.14	1.12	1.12	1.14	1.15	1.19
大学院	0.86	0.91	0.99	1.07	1.07	1.14	1.26	1.31	1.36	1.51
短期大学部	1.24	1.22	1.23	1.17	1.11	1.19	1.12	1.03	0.85	0.70
高校	1.28	1.26	1.20	1.21	1.18	1.18	1.19	1.19	1.17	1.20
合 計	1.21	1.18	1.15	1.16	1.14	1.14	1.14	1.15	1.15	1.18

国別留学生数

	令和7年度											8年度											
	中国	台湾	タイ	韓国	トンガ	ネパール	ミャンマー	ベトナム	イタリア	インドネシア	合計	中国	台湾	タイ	韓国	トンガ	ネパール	ミャンマー	マレーシア	ベトナム	イタリア	インドネシア	合計
大学	11	0	0	3	1	0	1	0	0	0	16	12	0	0	6	1	0	2	1	0	0	0	22
短期大学部	0	0	0	0	0	4	1	1	0	0	6	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	4
大学院	23	1	7	1	0	0	0	0	1	0	33	27	0	8	2	0	0	0	0	0	1	1	39
研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
科目等履修生	12	3	0	4	0	0	0	0	0	0	19	8	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	14
留学生別科	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0	10
合 計	46	4	9	8	1	4	2	1	1	1	77	50	4	16	11	1	2	3	0	1	1	1	91

令和8年度入試状況

■大学

学部	学科	定員	総合型選抜						学校推薦型※1 (指定校・附属校・併願制)			一般(3教科 型)※2			一般(共通テ スト利用)※3			留学生			合計		
			10月実施			3月実施			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者															
工学部	電子情報工学科	90	11	11	11	0	0	0	57	54	45	170	84	27	957	497	27	2	1	1	1,197	647	111
	生命環境化学科	90	8	7	7	1	0	0	59	56	48	240	90	29	668	340	29	1	0	0	977	493	113
	知能機械工学科	110	5	5	5	0	0	0	64	63	50	280	142	54	900	442	37	8	5	2	1,257	657	148
	電気工学科	90	13	13	13	0	0	0	78	67	60	227	74	16	796	328	14	3	3	1	1,117	485	104
	学部合計	380	37	36	36	1	0	0	258	240	203	917	390	126	3,321	1,607	107	14	9	4	4,548	2,282	476
情報工学部	情報工学科	130	22	13	13	9	0	0	122	95	86	366	108	36	1,082	289	22	4	0	0	1,605	505	157
	情報通信工学科	90	11	11	11	0	0	0	31	36	36	87	95	30	805	521	48	2	2	2	936	665	127
	情報システム工学科	90	10	10	10	7	0	0	75	54	48	211	80	27	1,036	491	41	1	0	0	1,340	635	126
	情報マネジメント学科	90	21	19	19	2	0	0	37	35	32	60	44	18	674	476	42	1	0	0	795	574	111
	学部合計	400	64	53	53	18	0	0	265	220	202	724	327	111	3,597	1,777	153	8	2	2	4,676	2,379	521
社会環境学部	社会環境学科	160	61	59	59	14	1	1	126	102	92	323	140	47	597	262	11	2	2	1	1,123	566	211
合 計		940	162	148	148	33	1	1	649	562	497	1,964	857	284	7,515	3,646	271	24	13	7	10,347	5,227	1,208

※1 専願制、併願制の合計 ※2 追加合格分を含む。社会環境学部は共通テスト併用選抜を含む ※3 前期、中期、後期及びそれらの追加合格分の合計

■大学(編入学)

学部	学科	定員※	志願者	合格者	入学者
工学部	電子情報工学科	-	0	0	0
	生命環境化学科	-	0	0	0
	知能機械工学科	-	0	0	0
	電気工学科	-	0	0	0
	学部合計	-	0	0	0
情報工学部	情報工学科	-	24	10	8
	情報通信工学科	-	3	1	1
	情報システム工学科	-	3	1	1
	システムマネジメント学科	-	7	3	3
	学部合計	-	37	15	13
社会環境学部	社会環境学科	30	22	18	17
合 計		-	59	33	30

※工学部、情報工学部の定員は「若干名」

■大学院

研究科	専攻	定員	一般※1			協定校※2			外国人※3			合計		
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
工学研究科	電子情報工学専攻	8	6	6	5	4	4	3	0	0	0	10	10	8
	生命環境化学専攻	8	13	13	12	1	1	1	0	0	0	14	14	13
	知能機械工学専攻	8	18	18	18	2	2	2	0	0	0	20	20	20
	電気工学専攻	8	8	5	5	1	1	1	0	0	0	9	6	6
	情報工学専攻	10	20	18	18	1	1	0	0	0	0	21	19	18
	情報通信工学専攻	8	13	12	12	0	0	0	0	0	0	13	12	12
	情報システム工学専攻	8	10	10	10	0	0	0	0	0	0	10	10	10
	システムマネジメント専攻	6	6	6	5	0	0	0	1	0	0	7	6	5
	工学研究科合計	64	94	88	85	9	9	7	1	0	0	104	97	92
社会環境学研究科	社会環境学専攻	6	5	4	4	6	6	6	1	1	0	12	11	10
修士課程合計		70	99	92	89	15	15	13	2	1	0	116	108	102
工学研究科 (博士後期課程)	物質生産システム工学専攻	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	知能情報システム工学専攻	2	4	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	4
博士後期課程合計		4	5	5	5	0	0	0	0	0	0	5	5	5

※1 秋期入試、推薦入試、一次・二次入試の合計 ※2 キングモンクット工科大学(タイ)、泰日工業大学(タイ)、青島科技大学(中国)等 ※3 一次・二次入試の合計

■短期大学部

学科	定員	学校推薦型※1			自己推薦			一般※2			一般(共通テスト利用)※3			留学生			合計		
		志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
情報メディア学科	160	43	42	40	27	25	25	88	66	33	77	66	7	3	3	1	238	202	106
合 計	160	43	42	40	27	25	25	88	66	33	77	66	7	3	3	1	238	202	106

※1 専願制、公募制推薦制選抜の合計 ※2 一期、二期選抜の合計 ※3 前期・中期・後期選抜の合計

令和8年度県別・学部・男女別入学者一覧表 令和8年5月1日現在

地区	学部(学科)名	大学合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			短期大学部(情報メディア学科)		
	都道府県名	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
北海道・東北	北海道	5	0	5	2	0	2	1	0	1	2	0	2	0	0	0
	青 森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岩 手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宮 城	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	秋 田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山 形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福 島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北関東・南関東	茨 城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	栃 木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	群 馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埼 玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	千 葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東 京	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	神奈川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸・甲信越	新 潟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富 山	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	石 川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福 井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山 梨	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1
	長 野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海	岐 阜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	静 岡	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	愛 知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三 重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	滋 賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	京 都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大 阪	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
	兵 庫	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	奈 良	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国	鳥 取	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	島 根	2	0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	岡 山	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	広 島	2	1	3	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0
	山 口	14	1	15	5	1	6	8	0	8	1	0	1	0	0	0
四国	徳 島	3	0	3	1	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0
	香 川	2	0	2	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	愛 媛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高 知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
九州	福 岡	691	152	843	283	42	325	316	66	382	92	44	136	63	12	75
	佐 賀	62	5	67	28	3	31	23	1	24	11	1	12	4	1	5
	長 崎	55	12	67	25	5	30	19	4	23	11	3	14	2	3	5
	熊 本	39	8	47	16	5	21	15	2	17	8	1	9	1	2	3
	大 分	46	3	49	13	0	13	20	2	22	13	1	14	0	0	0
	宮 崎	31	6	37	10	3	13	15	1	16	6	2	8	5	2	7
	鹿児島	35	6	41	19	2	21	10	3	13	6	1	7	2	1	3
	沖 縄	6	2	8	2	1	3	3	1	4	1	0	1	2	0	2
	その他 (外国卒・検定等)	4	4	8	2	3	5	1	1	2	1	0	1	1	0	1
合 計		1,005	203	1,208	411	65	476	438	83	521	156	55	211	82	24	106

広報活動

令和7年度パブリシティ掲載状況(教育・研究活動、就活・キャリア支援、学生支援、地域貢献活動)

日時	区分	掲載された活動内容(掲載タイトル)	媒体(放送局・WEB・新聞社・雑誌社等、敬称略・順不同)
令和7年 4月8日	研究	高齢者 俳句でつなぐ SNS 福工大生がベンチャー、9月事業開始 気軽に投稿、心ゆくも取り見守りも	西日本新聞朝刊
4月8日	経営	物価高騰に負けないで!福工大で100円朝食始まる	KBC九州朝日放送「昼ニュース」・KBC九州朝日放送「ぎゅっと」(夕方)・yahooニュース・gooニュース・docomoDニュース
4月8日	経営	「これが100円なんですか」大学で始まった100円朝食	RKB毎日放送「昼ニュース」・RKB毎日放送「タダイマ」・yahooニュース・docomoDニュース・TBS NEWS DIG
4月8日	経営	物価高騰に負けない、福工大で100円朝食	FBS福岡放送「めんたいワイド」
4月8日	経営	福岡工業大学で100円朝食、学生「ありがたい」	TVQ九州放送「テレキューニュース+」・yahooニュース
4月8日	経営	大学生の悩み事「生活費やお金」が最多 福岡の大学では「100円朝食」キャンペーン	TNCテレビ西日本「報道ワイド記者のチカラ」・FNNプライムオンライン・yahooニュース
4月9日	経営	物価高騰に負けないで!福工大で100円朝食始まる	KBC九州朝日放送「アサデス。」
4月11日	経営	「これが100円なんですか」大学で始まった100円朝食	RKB毎日放送「RKB NEWS DIG」
4月13日	スポ・芸	野球 福岡六大学=福工大 コールド発進	西日本新聞朝刊
4月13日	スポ・芸	九産大と福工大 コールド発進 福岡六大学野球	読売新聞朝刊
4月14日	スポ・芸	野球 福岡六大学=福工大春封 開幕2連勝	西日本新聞朝刊
4月10日	高校	バドミントンの元日本代表、桃田賢斗選手が城東高校の生徒と対戦	TBS「ニンゲン観察バラエティ モニタリング」
4月19日	経営	物価高で苦しむ学生助ける。福工大の「100円朝食」	フジテレビ「めざまし土曜日」
4月19日	研究	東区香椎浜火火大会「花火の科学雑学」生命環境化学科 下條先生解説	Jcomニュース「ジモトトピックス」
4月20日	研究	東区香椎浜火火大会「花火の科学雑学」生命環境化学科 下條先生解説	Jcomニュース「ジモトトピックス」
4月21日	研究	東区香椎浜火火大会「花火の科学雑学」生命環境化学科 下條先生解説	Jcomニュース「ジモトトピックス」
4月26日	研究	検証・斉藤知事とメディア 社会環境学科木下先生 専門家分析出演	読売テレビ「ytbdキュメント」
5月12日	高校	城東高校のチアリーディング部の特集「チアがある!」	サガテレビ「ドキュメント九州・沖縄」
5月12日	教育	EXPO 2025大阪・関西万博に学生が製作した「Robot Compost」を出展します	Infoseekニュース・東洋経済オンライン・時事ドットコム・西日本新聞WEB・山口新聞WEB・大分合同新聞プレミアムオンライン・南日本新聞WEB・おたくま経済新聞WEB・宮崎日日新聞社[Miyazichi e-press]・とれまがニュース・マビオンニュース・BIGLOBEニュース・CREA WEB(クレア ウェブ)・NewsPicks・東洋経済education×ICT・TBS NEWS DIG・SEOTOOLS・エキサイトニュース・プレジデントオンライン・BtoBプラットフォーム 業界チャンネル・産経デジタル・毎日新聞デジタル・ヨルダンニュース・小学館アットタイム・朝日新聞デジタルマガジン&・ニコニコニュース・NIKKEI COMPASS・niftyニュース・Jjnet・主婦の友クラシニスタ
5月13日	高校	城東高校のチアリーディング部の特集「チアがある!」	テレビ熊本「ドキュメント九州・沖縄」
5月14日	研究	都内中学校の実験中に硫化水素発生 生命環境化学科 久保准教授コメント	テレビ朝日「グッドモーニング」・テレビ朝日「スーパー」チャンネル]
5月18日	高校	城東高校のチアリーディング部の特集「チアがある!」	鹿児島テレビ「ドキュメント九州・沖縄」・TNCテレビ西日本「ドキュメント九州・沖縄」
5月28日	研究	水の生き物の保全と持続可能な共存、新手法で探究	マビオンニュース・大分合同新聞オンライン Gate・南日本新聞オンライン・BIGLOBEニュース・宮崎日日新聞社「ミヤニチプレス」・iza(イザ)・産経デジタル・毎日新聞デジタル・SEOTOOLS・エキサイトニュース・ヨルダンニュース・Infoseekニュース・時事ドットコム・西日本新聞WEB・PRESIDENT Online・ニコニコニュース・朝日新聞デジタルマガジン&・niftyニュース・山口新聞オンライン
5月30日	国際	食料廃棄解決 国超え協力 福工大生ら生ごみ堆肥化ロボット開発 社会貢献を評価 万博で展示	西日本新聞WEB
6月14日	国際	学生Projectが大阪万博出展:TNC「CUBE」で紹介	TNC「cube」
6月21日	高校	福岡の高校の「高校都市伝説」を検証。城東高校が登場	RKB「ハカタの王様」
6月27日	経営	ロバート秋山のクリエイターズファイルに「担心寮」が登場 ～学生寮ふれあい探訪～	KBC×ロバート秋山クリエイターズファイル
7月9日	研究	社会環境学科:乾教授の研究紹介「玄界灘に南方魚が生息。環境に変化」	NHK「おはよう九州沖縄」
7月10日	研究	社会環境学科:木下准教授コメント 参院選2025「政治に関心を」高校生が街頭演説	毎日新聞夕刊
7月10日	研究	社会環境学科:木下准教授コメント 投票検証、ネット売買が横行	北海道新聞WEB
7月11日	経営	ロケコーナー「出口調査」に音とモノ作り歴史資料館、FITミュージアムが登場	TNC「報道ワイド記者のチカラ」
7月13日	高校	城東高校科学部雲班「雲の形から天気予報」紹介	BS朝日「唐に願う」
7月13日	スポ・芸	大学吹奏楽コンクール 3団体を九州大会に推薦	朝日新聞朝刊
7月14日	研究	社会環境学科:木下准教授コメント 政党の「看板無許可設置」について	毎日新聞朝刊
7月16日	研究	社会環境学科:乾教授の研究紹介「玄界灘に南方魚が生息。環境に変化」	NHK「ニュースロクイチ福岡」
7月16日	研究	社会環境学科:木下准教授コメント 投票検証、ネット売買が横行	北海道新聞朝刊
7月16日	研究	社会環境学科:乾教授の研究紹介「玄界灘に南方魚が生息。環境に変化」	NHK「ニュース845福岡」
7月19日	研究	社会環境学科:木下准教授コメント 「参院選、SNS等での主張分析について」	共同通信
7月22日	研究	電気工学科 田島教授 リチウムイオン電池の事故防止について解説	FBS福岡放送「めんたいワイド」
8月1日	高校	城東高校で登校日、生徒たちに「いのちの講話」	TVQ「TVQニュース+」・yahooニュース
8月2日	高校	戦後80年:命の大切さ、改めて 福工大城東高 知覧の語り部講演	毎日新聞朝刊
8月2日	地域	夏休みの研究をサポート 福工大サイエンスフェスタ	KBC九州朝日放送「昼ニュース」・KBC九州朝日放送「夕方ニュース」・yahooニュース
8月2日	地域	超伝導でドライアイスをはつかせる実験も 大学で科学やデジタルの面白さ体感するイベント	RKB毎日放送「昼ニュース」・yahooニュース・Exiteニュース
8月8日	地域	超伝導やロボ操作体験 小中学生ら75のワークショップ 福工大でサイエンスフェスタ	西日本新聞朝刊
8月10日	研究	社会環境学科 木下准教授コメント 佐賀市の沼袋中 参院選に絡めて模擬投票 生徒が意見交換	西日本新聞朝刊
8月17日	スポ・芸	FITジュニア中学部初V 第14回中学生軟式野球錦成大会 MVPに馬場勘介主将	西日本新聞朝刊
8月22日	就職	福工大が京都府と就労協定 UIターン促進取り組む	西日本新聞朝刊
8月22日	就職	京都府、福工大など福岡4大学と協定 就活支援	日刊工業新聞朝刊
8月24日	経営	全国大学実就職ランキング	サンデー毎日
8月25日	研究	社会環境学科:乾教授の研究紹介「玄界灘に南方魚が生息。環境に変化」	NHK「おはよう日本」・NHK「大阪・関西ニュース」・NHK「名古屋・中部ニュース」
8月31日	スポ・芸	福工大と日経大、全国大会へ 九州吹奏楽コンクール大学の部	朝日新聞朝刊

日時	区分	掲載された活動内容(掲載タイトル)	媒体(放送局・WEB・新聞社・雑誌社等、敬称略・順不同)
9月1日	研究	防災特別番組「AIで変わる安心安全」 情報通信工学科 石田研究室が登場	Jcomケーブルテレビ
9月1日	スポ・芸	大学吹奏楽団 九州大会金賞 全国大会推薦	朝日新聞
9月8日	研究	防災特別番組「AIで変わる安心安全」 情報通信工学科 石田研究室が登場	Jcomケーブルテレビ
9月17日	高校	共テWEB出願開始 城東高校山田先生インタ	読売新聞朝刊
9月26日	研究	社会環境学科 田井教授:ダム堆砂で干潟のアサリが復活	時事ドットコム・ニコニコニュース・PRESIDENT Online(プレジデントオンライン)・JBpress(ジェイビープレス)・マビオンニュース・おたくま経済新聞WEB・STRAIGHT PRESS(ストリートプレス)・@DIME(アットタイム)・財經新聞WEB・テレ東プラス・朝日新聞デジタルマガジン&[and]・TBS NEWS DIG・宮崎日日新聞社「Miyanichi e-press」・東洋経済education×ICT・NIKKEI COMPASS・Infoseekニュース・エキサイトニュース・SEOTOOLS・山口新聞WEB・東洋経済オンライン・FNNプライムオンライン・大分合同新聞プレミアムオンライン・ニフティニュース(@niftyニュース)・NewsPicks・小倉経済新聞WEB・天神経済新聞WEB・博多経済新聞WEB・西日本新聞WEB・ジョルダンニュース!・南日本新聞WEB
10月1日	研究	永瀬客員教授 人の肺からマイクロプラスチック検出	RKB「タダイマ」
10月7日	高校	高卒就職の支援 城東高校清野先生インタ	西日本新聞朝刊
10月9日	教育	ふくとび・福工大の学生、教職員のトピックス特集	NHK福岡「ロワイテ!福岡」
10月9日	研究	社会環境学科 田井教授:ダム堆砂で干潟のアサリが復活	NHK福岡「ロワイテ!福岡」
10月10日	経営	情報基盤センター藤原さん:Windows10サポート終了の注意点	FBS「めんたいワイド」
10月10日	研究	熊猫 AIが助言 俳句SNS	読売新聞朝刊
10月24日	高校	出張天気予報コーナー:城東高校で生中継 部活動生や施設の紹介	KBC「アサデス」
10月22日	教育	アントレプレナーシップ大学生が小学生をサポート	西日本新聞朝刊
10月23日	研究	社会環境学科 田井教授:ダム堆砂で干潟のアサリが復活	朝日新聞熊本朝刊
10月25日	研究	社会環境学科 田井教授:ダム堆砂で干潟のアサリが復活	朝日新聞佐賀朝刊
10月25日	研究	社会環境学科 木下准教授 新首相所信表明に対する見解	朝日新聞朝刊
10月26日	スポ・芸	大学吹奏楽団 全国大会金賞受賞	朝日新聞朝刊
10月28日	高校	城東高校 ロボット相撲プロジェクトの活躍	TNC「記者のチカラ」
10月28日	研究	社会環境学科 田井教授:ダム堆砂で干潟のアサリが復活	RKK熊本放送「ゲツキン」
10月29日	高校	全日本ロボット相撲大会九州地区予選 城東高校結果	電波新聞デジタル
10月29日	研究	株式会社 熊猫 俳句AIチャットロボット体験会	西日本新聞朝刊
10月30日	研究	社会環境学科 田井教授:ダム堆砂で干潟のアサリが復活	朝日新聞長崎朝刊
10月30日	教育	福工大で西日の記事を用いた出前講座実施	西日本新聞朝刊
10月31日	研究	永瀬客員教授 人の肺からマイクロプラスチック検出	西日本新聞朝刊
11月7日	高校	城東高校女子バレー部 春高バレー福岡県代表決定戦へ向けて	TNC「春高アタック」
11月9日	研究	社会環境学科 乾教授 水辺の生態を調査	読売新聞朝刊
11月10日	高校	城東高校 ロボット相撲プロジェクトの活躍	KBC「アサデス」
11月12日	研究	社会環境学科4年 川岡さん 多言語防災ガイド制作	RKBラジオ「toi toi toi」
11月17日	研究	社会環境学科 田井教授:ダム堆砂で干潟のアサリが復活	熊本日日新聞朝刊
11月17日	スポ・芸	福工大ラグビー九州V4	読売新聞朝刊
11月20日	高校	城東高校 ロボット相撲プロジェクトの活躍	KBC「WISH」
11月21日	研究	北大等との共同研究 三田教授タンポポ4の成果 コケの胞子宇宙で生き延びる	日刊工業新聞朝刊・ケムネット東京
11月26日	研究	社会環境学科4年 川岡さん 多言語防災ガイド制作	西日本新聞朝刊
11月27日	経営	福工大短期大学部 募集停止へ	おたくま経済新聞WEB・現代ビジネス・東洋経済education×ICT・エキサイトニュース・SEOTOOLS・Infoseek ニュース(インフォシーグニュース)・NIKKEI COMPASS・ウレぴあ総研・ハビママ・山口新聞WEB・南日本新聞WEB・マビオンニュース・東洋経済オンライン・JBpress(ジェイビープレス)・ニコニコニュース・ORICON NEWS(オリコンニュース)・大分合同新聞プレミアムオンライン・PRESIDENT Online(プレジデントオンライン)・NewsPicks・とれまがニュース・ニフティニュース(@niftyニュース)・めざましmedia(めざましメディア)・小倉経済新聞WEB・@DIME(アットタイム)・時事ドットコム・博多経済新聞WEB・天神経済新聞WEB・西日本新聞WEB・ジョルダンニュース!・宮崎日日新聞社WEB・朝日新聞デジタルマガジン&[and]・TBS NEWS DIG
11月28日	スポ・芸	福工大ラグビー 全国大会8強ヘトライ	西日本新聞朝刊
11月28日	経営	福工大短期大学部 募集停止へ	読売新聞朝刊
11月29日	研究	北大等との共同研究 三田教授タンポポ4の成果 コケの胞子宇宙で生き延びる	マイナビニュース
11月30日	スポ・芸	ラグビー全国大会 福工大逆転で3回戦へ	西日本新聞朝刊・読売新聞朝刊
12月1日	教育	地域貢献度 中堅私立大で福工大1位	日経グローバル
12月11日	高校	城東高校ロボット相撲PJ 全国大会出場	KBC「アサデス」
12月11日	研究	社会環境学科 田井教授:ダム堆砂で干潟のアサリが復活	朝日新聞福岡朝刊
12月12日	教育	福工大でサイバー捜査体験会	読売新聞朝刊
12月12日	研究	コケの胞子宇宙で生き延びる	科学新聞
12月17日	教育	福工大でサイバー捜査体験会	西日本新聞朝刊
12月17日	教育	neo福岡(社環の2名が参加)イオン九州のアパレルブランドに提案	日経新聞電子版
12月18日	教育	neo福岡(社環の2名が参加)イオン九州のアパレルブランドに提案	日経新聞朝刊
12月21日	スポ・芸	吹奏楽アンサンブルコンテスト福岡県大会金賞受賞	朝日新聞朝刊
1月8日	高校	城東高校ロボット相撲PJ 全国大会出場	KBC「WISH+」
1月8日	経営	大学2026年問題 福工大の状況 入試広報課後課長インタビュー	RKB「タダイマ」
1月12日	経営	大学2026年問題 福工大の状況 入試広報課後課長インタビュー	yahoo・LINE・TBS NEWS DIG

日時	区分	掲載された活動内容(掲載タイトル)	媒体(放送局・WEB・新聞社・雑誌社等、敬称略・順不同)
1月15日	高校	城東高校の生徒松尾さん 古賀でのリバースメンターの活動	TNC[記者のチカラ]
1月16日	経営	大学入試共通テスト 福工大でも準備進む	TNC[昼ニュース]・NHK(福岡)[昼ニュース]・RKB毎日放送[夕方ニュース]・FBS福岡放送[めんたいワイド(ローカル)]・NHK(福岡)[ニュースロクイチ福岡]・TVQ[TVQニュース+]・RKB毎日放送[タダイマ]・yahooニュース
1月21日	研究	生命環境化学科久保准教授 八潮市陥没事故 硫化水素の危険性インタ	フジテレビ(TNC)関東エリア[News イット!]
1月22日	教育	元ソフトバンクホークス和田氏 「挑戦」をテーマに学生に向けて講演	読売新聞朝刊・読売新聞ONLINE・yahoo!ニュース・スポニチannex・スポーツニッポン(新聞) 日刊
1月28日	研究	生命環境化学科久保准教授 八潮市陥没事故 硫化水素の危険性について(フリップ)	TBS[ひるおび]
1月28日	研究	生命環境化学科久保准教授 八潮市陥没事故 硫化水素の危険性について	yahooニュース
1月30日	研究	社会環境学科 木下准教授 衆院選に向けて有権者が気を付けることなど	FBS福岡放送[めんたいワイド]
2月3日	研究	社会環境学科 木下准教授 衆院選SNSとの向き合い方	毎日新聞(西部)朝刊・毎日新聞(大阪)朝刊・KBC九州朝日放送[ぎゅっと]
2月3日	研究	社会環境学科 木下准教授 衆院選 消費税減税各党は	TVQ[テレQニュース+]
2月4日	研究	社会環境学科 木下准教授 衆院選 見えない政策も見ることが大事	朝日新聞朝刊
2月6日	研究	社会環境学科 木下准教授 衆院選 ファクトチェックデマの見分け方	毎日新聞(西部)朝刊
2月8日	研究	社会環境学科 木下准教授 衆院選 ファクトチェックデマの見分け方	毎日新聞(大阪)朝刊
2月10日	研究	社会環境学科 木下准教授 衆院選 若い世代の高市氏人気について	毎日新聞(西部)朝刊
2月11日	スポ・芸	福工大アサンブルコンテスト九州金賞 全国大会へ	朝日新聞朝刊
2月12日	就職	学内合同企業セミナー開催	NHK福岡[ロクいち福岡]・TVQ[テレQニュース+]・TNC[記者のチカラ]
2月13日	高校	附属城東高校 ロボット相撲プロジェクトの活動	RKBラジオ[#キューパレ]
2月15日	経営	音モノ歴史資料館 30年の歴史に幕	西日本新聞(西部)朝刊・西日本新聞(大分)朝刊・西日本新聞(熊本)朝刊
2月17日	高校	附属城東高校 高大連携課外活動[KNO-LAB]活動の紹介	RKBラジオ[カリメン]
2月20日	経営	記者メシ 福工大オアシスと大学の紹介	TNC[記者のチカラ]
2月20日	経営	音モノ歴史資料館 30年の歴史に幕	西日本新聞(佐賀)朝刊
2月23日	スポ・芸	福工大ラグビー部2名ジャパンセブンズ候補合宿に参加	西日本新聞(西部)朝刊
2月25日	スポ・芸	福工大ラグビー部2名ジャパンセブンズ候補合宿に参加	西日本新聞(佐賀)朝刊
3月3日	教育	新聞コミュニケーション大賞	西日本新聞朝刊
3月3日	教育	新聞コミュニケーション大賞 福工大の学生が考えたみそ汁スタンドとは	西日本新聞MEWEB
3月3日	高校	城東高校 JET ENGINE PROGRAM 生徒の夢を応援するオーディション開催	ニコニコニュース・おたくま経済新聞WEB・BtoBプラットフォーム 業界チャンネル・東洋経済education×ICT・SEOTOOLS・ウレぴあ総研・Infoseekニュース(インフォシークニュース)・NewsPicks・ORICON NEWS(オリコンニュース)・東洋経済オンライン・とれまがニュース・ニフティニュース(@niftyニュース)・ReseMom(リセママ)・めざましmedia(めざましメディア)・ハピママ・毎日新聞デジタル・時事ドットコム・Iza(イザ)・産経ニュース・西日本新聞WEB・ジョルダンニュース・朝日新聞デジタルマガジン&[and]・NIKKEI COMPASS・財經新聞WEB
3月4日	教育	アントレプレナiership 中野美香教授のファシリテーションで発表	西日本新聞朝刊
3月9日	高校	城東高校 JET ENGINE PROGRAM 生徒の夢を応援するオーディション開催	ナイスコレクション
3月9日	研究	社会環境学科藤井ゼミと高雄科技大 台湾の地震復興支援	フォーカス台湾
3月10日	研究	情報通信工学科 石田教授 東日本大震災の経験を研究に生かす	RKBラジオ[田畑電化GroooooowUp]
3月11日	高校	城東高校 JET ENGINE PROGRAM	RKB[タダイマ!]
3月11日	高校	城東高校 放送部 番組企画の校内放送	FM福岡[ナカノスタジオ]
3月13日	研究	電気田島教授 鹿太陽光パネルガラスを電極材料に変換	EE Times Japan
3月15日	スポ・芸	福工大硬式野球部 オープン戦を通じて早稲田大学野球部から得た学びとは	yahoo・dメニュース・au webポータル・週刊ベースボールONLINE
3月17日	スポ・芸	吹奏楽アサンブルコンテスト全国大会に向けて	朝日新聞朝刊
3月22日	スポ・芸	吹奏楽アサンブルコンテスト全国大会 金賞受賞	朝日新聞朝刊
3月24日	研究	小中学生の心の声をAIがサポート AI日記アプリを学生が開発	ニコニコニュース・BtoBプラットフォーム 業界チャンネル・おたくま経済新聞WEB・東洋経済education×ICT・SEOTOOLS・ウレぴあ総研・ライブドアニュース(livedoor ニュース)・Infoseekニュース(インフォシークニュース)・大分合同新聞プレミアムオンライン Gate・南日本新聞WEB・ORICON NEWS(オリコンニュース)・山口新聞WEB・Mapionニュース(マピオンニュース)・PRESIDENT Online(プレジデントオンライン)・JBpress(ジェイビープレス)・NewsPicks・STRAIGHT PRESS(ストレートプレス)・小倉経済新聞WEB・毎日新聞デジタル・時事ドットコム・財經新聞WEB・株式会社財經新聞社・産経ニュース・@DIME(アットダイム)・博多経済新聞WEB・天神経済新聞WEB・西日本新聞WEB・ジョルダンニュース・宮崎日日新聞DIGITAL・ニフティニュース(@niftyニュース)・iza(イザ)
3月27日	教育	面倒見がいい大学全国ランキング 本学5位 取り組み紹介	iDニュース
3月30日	経営	半導体人材育成に向けて半導体コースを新設	ふくおか経済4月号

■募集・広報活動等関連指標の推移

項目	年度	H28 (H29年度入試)	H29 (H30年度入試)	H30 (R1年度入試)	R1 (R2年度入試)	R2 (R3年度入試)	R3 (R4年度入試)	R4 (R5年度入試)	R5 (R6年度入試)	R6 (R7年度入試)	R7 (R8年度入試)
志願者数	人数	9,564	9,949	10,874	12,585	11,345	10,746	11,255	9,272	9,490	10,347
HPセッション数	件数	654,073	666,425	764,196	842,800	1,082,623	919,792	927,653	1,030,163	1,070,356	1,203,592
パブリシティ掲載	件数	376	175	204	295	338	337	299	343	308	308
SNSフォロワー数	人数	766	1,018	1,226	1,340	1,612	1,701	3,211	3,826	4,760	5,811

令和7年度進路状況 令和8年3月卒業生

■大学

学部名	学科名	卒業生数 ※1	就職希望者数	就職内定者数	大学院進学者数	就職率 ※2	実就職率 ※3
工学部	電子情報工学科	67	60	60	7	100%	100%
	生命環境化学科	92	77	77	14	100%	98.7%
	知能機械工学科	126	105	105	18	100%	97.2%
	電気工学科	76	69	69	5	100%	97.2%
	学部合計	361	311	311	44	100%	98.1%
情報工学部	情報工学科	151	131	130	20	99.2%	99.2%
	情報通信工学科	79	66	66	12	100%	98.5%
	情報システム工学科	101	87	87	10	100%	95.6%
	システムマネジメント学科	73	66	66	7	100%	100%
	学部合計	404	350	349	49	99.7%	98.3%
社会環境学部	社会環境学科	147	141	141	4	100%	98.6%
大学合計		912	802	801	97	99.9%	98.3%

※1 前期卒業生を除く ※2 就職率=就職内定者数/就職希望者数
 ※3 実就職率=就職内定者数/(卒業生数-大学院進学者数)

■大学院修士課程

専攻名(略)	修了者数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
電子情報	10	10	10	0	100%	100%
生命環境	16	15	15	1	100%	100%
知能機械	12	12	12	0	100%	100%
電気	6	6	6	0	100%	100%
情報	11	11	11	0	100%	100%
情報通信	6	6	6	0	100%	100%
情報システム	9	9	9	0	100%	100%
システムマネジメント	2	2	2	0	100%	100%
社会環境	1	1	1	0	100%	100%
大学院合計	73	72	72	1	100%	100%

※前期修了者を除く

■短期大学部

学科名	卒業生数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
情報メディア	129	57	57	61	100%	83.8%
短大合計	129	57	57	61	100%	83.8%

■短期大学部 編入学実績一覧

学科名	編入希望者数	編入決定者数				編入決定率	うち、情報・工学系への編入	
		国公立大学	福岡工業大学	私立大学	合計		人数	割合
情報メディア学科	61	11	27	23	61	100%	46	75.4%
合 計	61	11	27	23	61	100%	46	75.4%

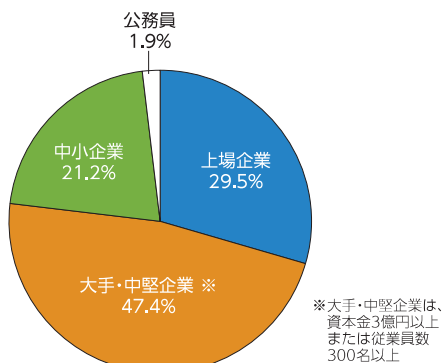
■短期大学部 編入学合格者・進学者一覧

大学種別	学校名	学部	合格者数(延べ数)	大学種別	学校名	学部	合格者数(延べ数)
国公立大学	宮崎大学	工学部	2	私立大学(その他)	大阪産業大学	デザイン工学部	1
	鹿児島大学	工学部	1		京都産業大学	情報理工学部	1
	佐賀大学	地域デザイン学部	1		近畿大学	産業理工学部	1
	山口大学	工学部	2		九州産業大学	理工学部	11
	高知大学	理工学部	1		久留米工業大学	工学部	2
	九州工業大学	情報工学部	2		九州情報大学	経営情報学部	3
	島根大学	総合理工学部	2		久留米大学	経済学部	1
	北九州市立大学	国際環境工学部	1		西日本工業大学	デザイン学部	2
					西日本工業大学	工学部	1
					九州共立大学	経済学部	1
					埼玉工業大学	工学部	1
					湘南工科大学	工学部	1
合 計			12				
私立大学(福岡工業大学)	福岡工業大学	情報工学部	15	合 計			26
	福岡工業大学	社会環境学部	14				
合 計			29	総合計			67

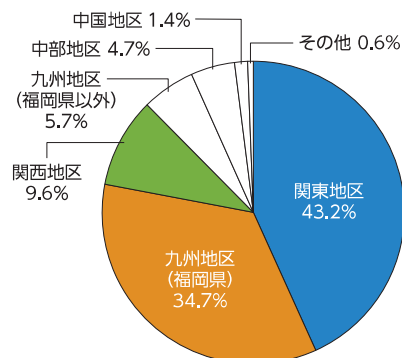
令和7年度就職状況 令和8年3月卒業者

(企業等名:敬称略・順不同)

■大学・企業規模別

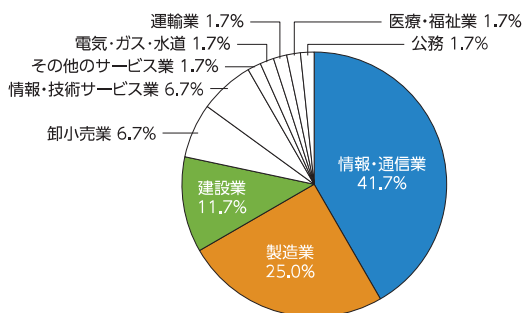


■大学・地区別



電子情報工学科

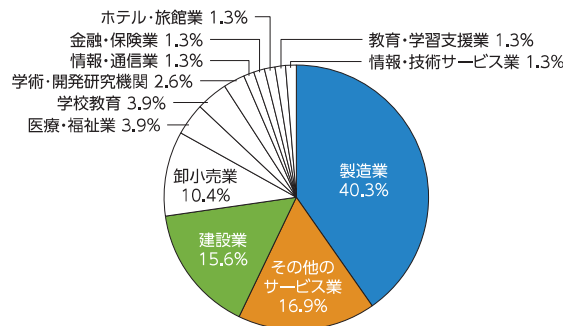
㈱ID / ㈱前澤エンジニアリングサービス / 東光電気工事㈱ / 古河電工メタルケーブル㈱ / 日本無線㈱ / 日本航空電子工業㈱ / ㈱アムコー・テクノロジージャパン / ㈱往原製作所 / 東京電力ホールディングス㈱ / ㈱クレスコ / ㈱SHINKO / ㈱アドービジネスコンサルティング / カコムス㈱ / ㈱システム・サイエンス / ㈱テコテック / 東京海上日動システムズ㈱ / ㈱ユー・エス・イー / ㈱アスパーク / アマノ㈱ / ㈱日産オートモーティブテクノロジージャパン / 富士ソフト㈱ / ㈱イーふらん / ㈱アルプス技研 / ㈱アドヴァンストインフォメーション・デザイン / 三菱自動車エンジニアリング㈱ / 京セラ㈱ / 東原工業㈱ / 日本エレクトロニクスシステムズ㈱ / アイコム㈱ / ダイトロン㈱ / ㈱ジェイテック / ㈱イガワテック / ㈱日立ソリューションズ西日本 / ㈱クラフティア / ㈱ドコモCS九州 / ㈱三井ハイテック / ㈱アクティブソフト / キヤノンアルゴリズム㈱ / ㈱九州日立システムズ / Qsol㈱ / ㈱ケイエム / ㈱シティアスコム / フォーサイトシステム㈱ / マイクロコート㈱ / 九州旅客鉄道㈱ / ㈱コスモス薬品 / 有限会社フレッシュ丸和 / 一般社団法人朝倉医師会朝倉医師会病院 / ㈱ワールドインテック / 北九州市役所 / ㈱戸上電機製作所 / ㈱ジャパンセミコンダクター / ㈱南日本放送など



就職率 100%・実就職率 100%

生命環境化学科

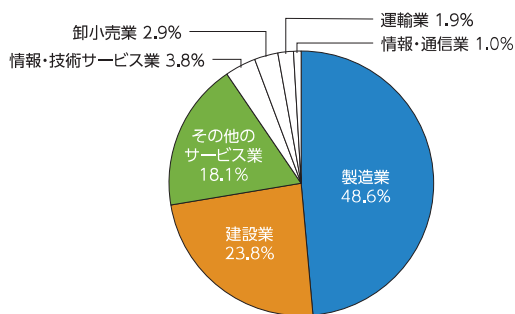
前澤工業㈱ / 山九㈱ / 世紀東急工業㈱ / 東亜道路工業㈱ / エムイーシーテック / ㈱日立プラントサービス / ㈱ダイショー / ㈱日本海水 / メルシャン㈱ / 旭化成ファーマ㈱ / JFE銅板㈱ / 東テック / ㈱山星屋 / ㈱みずほフィナンシャルグループ / ㈱新日本科学 / ㈱NJS / 高速道路ホールディングス / ㈱Voil / 東京都立大学教職員(高校) / 富士電機E&C㈱ / レイズネックス㈱ / ㈱ソーゴ / フジテック㈱ / 共英製鋼㈱ / 合同製鐵㈱ / ㈱湯山製作所 / ㈱極東技研コンサルタント / 西日本高速道路ファシリティーズ㈱ / ㈱B REXAAdvan / 伊藤ハム米久フーズ㈱ / 阪神内燃機工業㈱ / インクコム㈱ / 三浦工業㈱ / ㈱クラフティア / ㈱高田工業所 / 西部電気工業㈱ / ゼオライト㈱ / 一番食品㈱ / 九星飲料工業㈱ / ㈱ふくれん / 福岡県醤油製造協同組合 / ニチパンメディカル㈱ / 日本磁気選鉱㈱ / ㈱ファインテック / ㈱三井ハイテック / ㈱B CC / アプライド㈱ / ㈱アトル / ㈱CRC食品環境衛生研究所 / ㈱さなる九州 / 公益財団法人北九州生活科学センター / エフコープ生活協同組合 / 大谷化学工業㈱ / 九電産業㈱ / 計測検査㈱ / 東亜非破壊検査㈱ / ㈱ラップ / 福岡市公立学校教員(中学) / 富田薬品㈱ / ㈱MASTANG / 九州乳業㈱ / ㈱ジョイフル / インフラテック㈱ / ㈱アイテックスマーケティング / ㈱東洋環境分析センターなど



就職率 100%・実就職率 98.7%

知能機械工学科

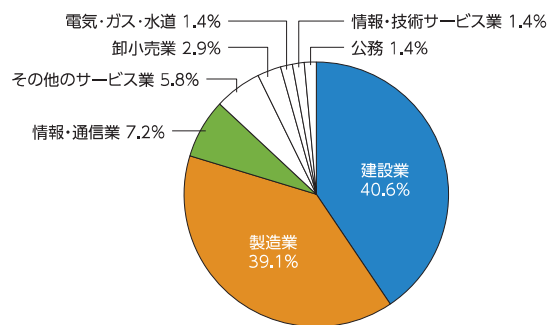
㈱第一メカテック / JFE環境テクノロジージャパン / 三機工業㈱ / 新日本空調㈱ / 太平電業㈱ / 東京冷機工業㈱ / 古河電気工業㈱ / 酒井重工業㈱ / ㈱ロキテクノ / シンフォニアテクノロジージャパン / カヤバ㈱ / THK㈱ / トビー工業㈱ / 本田技研工業㈱ / ㈱IH回転機械エンジニアリング / 矢崎総業㈱ / 日本シイエムケイ㈱ / ㈱往原製作所 / 三菱重工業㈱ / 三和シャッター工業㈱ / 日本貨物鉄道㈱ / 日本梱包運輸倉庫㈱ / ㈱ムサシ / 東テック / ㈱IDOM / ANAラインメンテナンステクノス㈱ / 日信電子サービス㈱ / 三菱電機ビルソリューションズ㈱ / ㈱アスパーク / ㈱NECT / MHIパワーエンジニアリング㈱ / ㈱小野測器 / ㈱ヨロズ / ミネベアミツミ㈱ / スズキ㈱ / 日井国際産業㈱ / ㈱フジキカイ / ㈱豊電子工業 / デンソーテクノ / 三菱自動車エンジニアリング㈱ / 三菱電機メカトロニクスエンジニアリング㈱ / トーテックアメニティ㈱ / 古河AS㈱ / TOWA㈱ / ㈱きんでん / ダイダン㈱ / 大和ハウス工業㈱ / パナソニックEWエンジニアリング㈱ / ㈱鶴見製作所 / フクシマガリレイ㈱ / 極東開発工業㈱ / ㈱名村造船所 / 三相電機㈱ / オージー技研㈱ / マツダ㈱ / ㈱長府製作所 / 不二輸送機工業㈱ / ㈱クラフティア / 新日本熱学㈱ / 西部ガステクノロジー㈱ / 西日本プラント工業㈱ / 西日本高速道路エンジニアリング九州㈱ / 九州塗料工業㈱ / ㈱三井ハイテック / ㈱オンガエンジニアリング / ローム・アポロ㈱ / 東洋ホイス㈱ / 日産自動車九州㈱ / 岡野バルブ製造㈱ / ㈱オーレック / ㈱ムーンスター / ジェイエムテクノロジージャパン / キュウセツAQUA㈱ / 産機エンジニアリング㈱ / ㈱西日本シミズ / ㈱アルテクス / 不動産設計㈱ / ダイハツ九州㈱など



就職率 100%・実就職率 97.2%

電気工学科

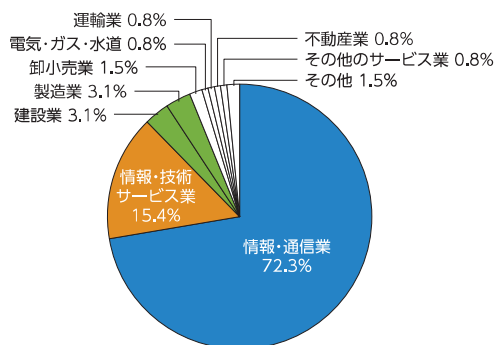
㈱前澤エンジニアリングサービス / 前澤工業㈱ / 山九㈱ / ㈱大気社 / 太平電業㈱ / NTTアノードエナジー㈱ / 新菱冷熱工業㈱ / ㈱HEXELWorks / 三菱電機プラントエンジニアリング㈱ / 旭化成㈱ / JFEスチール㈱ / 西日本製鉄所 / SMC㈱ / 東芝テック㈱ / 酒井医療㈱ / ㈱明電舎 / ㈱アムコー・テクノロジージャパン / キョクシア㈱ / 大王製紙㈱ / 三菱重工業㈱ / 三和シャッター工業㈱ / JTP㈱ / デル・テクノロジーズ㈱ / 日本アイ・ピー・エムデジタルサービス㈱ / ㈱ファインディックス / ジャパンエレベーターサービスホールディングス㈱ / イオンディライト㈱ / 三菱電機ビルソリューションズ㈱ / ㈱リゾナック・ガスプロダクト / ㈱アルパック / ㈱シーエナジー / フジテック / トPEX㈱ / ㈱きんでん / ダイダン㈱ / ㈱三井ハイテック / ㈱東原工業㈱ / 日本エレクトロニクスシステムズ㈱ / アイコム㈱ / ㈱関電ファシリティーズ㈱ / 新川電機㈱ / ㈱クラフティア / 西部電気工業㈱ / ダイキンHVACソリューション九州㈱ / 西日本プラント工業㈱ / 西日本技術開発㈱ / 大電機 / 西部電機㈱ / ㈱三井ハイテック / ㈱安川電機 / ㈱キューベン / 九州電力㈱ / ユニバス情報システム㈱ / エヌビーエス㈱ / ㈱戸上電機製作所 / 佐賀市役所 / ㈱京製メック / ミネベアアクセソリューションズ㈱など



就職率 100%・実就職率 97.2%

情報工学科

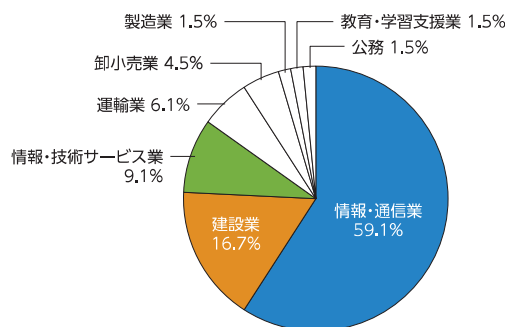
株式会社ID / 株式会社前澤エンジニアリングサービス / 日本コムシス株式会社 / 株式会社国際電気 / 株式会社アイティフォー / NSW株式会社 / 株式会社NSD / エン株式会社 / 株式会社クレスコ / 株式会社クロスキャスト / デジタル・インフォメーション・テクノロジー / 株式会社メンバーズ / 株式会社アクシス / JTP株式会社 / 株式会社ディ・アイ・システム / 株式会社ISTソフトウェア / イー・アンド・エム株式会社 / 株式会社SIG / 株式会社エム・アンド・アイ / クロス・ヘッド株式会社 / サービス&セキュリティ株式会社 / サン情報サービス株式会社 / 株式会社バイリンガルゲート / 株式会社日立ソリューションズ・クリエイト / 株式会社ファイブドライヴ / 株式会社ファインディックス / 株式会社マーブル / 三菱電機デジタルイノベーション株式会社 / 株式会社ユー・エス・イー / 株式会社NTTドコモビジネスソリューションズ / 日本放送協会(NHK) / 佐川急便株式会社 / 富士フイルムビジネスイノベーション・ジャパン株式会社 / クボタ環境エンジニアリング株式会社 / 株式会社アルテクナ / アルファテック / ロジック株式会社 / 株式会社スタッフサービスエンジニアリング事業本部 / WDB工務株式会社 / 株式会社テクノプロテクノプロ・デザイン社 / 日研トータルソーシング株式会社 / パーソナルクロステクノロジー株式会社 / 株式会社BREXATechnology / 株式会社アルファシステムズ / 協立システム開発株式会社 / サイバーコム株式会社 / 株式会社ソフトシステム / 株式会社日本コンピュータコンサルタント / パナソニックシステムデザイン株式会社 / 富士ソフト株式会社 / 株式会社アルトナー / 東海ソフト株式会社 / アイシン・ソフトウェア株式会社 / ディー・ビー・ティー株式会社 / 株式会社エヌ・エス / 株式会社ソフトウェア・サービス / ユニ・チャームプロダクツ株式会社 / 株式会社クラフティア / 株式会社サン電工株式会社 / 株式会社石橋製作所 / 九州電力株式会社 / 株式会社ゼンリン / 株式会社システムソフト / 株式会社YEDIGITAL / 株式会社ビー・ピー・システムズ / 株式会社イノス / 株式会社エクシース / エコー電子工業株式会社 / 株式会社NTTデータNCB / 株式会社オートメーション・テクノロジー / 株式会社オルタナティブ / 株式会社九州地区農協オンラインセンター / 株式会社九州DTS / グローバルブレインズ株式会社 / 株式会社KBKプラス / コスミックビジネス株式会社 / 株式会社コスモウェブ / 西部ガス情報システム株式会社 / 株式会社サンテック / 株式会社ディジテック / 株式会社ニシコン / 西鉄情報システム株式会社 / 日鉄ソリューションズ九州株式会社 / 合同会社BAGISM / 株式会社BCC / フォーサイトシステム株式会社 / ユニティ・ソフトウェア株式会社 / 株式会社PLANET / 株式会社アソウ・アルファ / 株式会社ワールドインテック / SDCソリューションズ株式会社 / 株式会社システム / 株式会社KKCS / 株式会社スリー・エー・システム / 株式会社システム開発 / 自営業など



就職率 99.2%・実就職率 99.2%

情報通信工学科

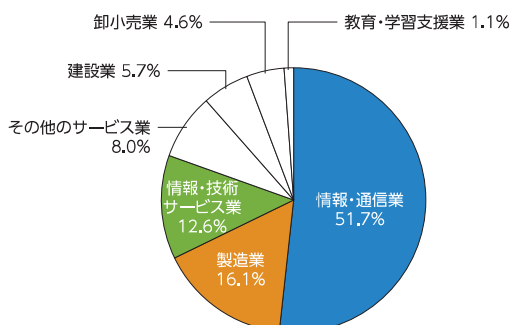
株式会社OKIソフトウェア / エクシオグループ株式会社 / 株式会社ミライト・ワン / 日本コムシス株式会社 / 株式会社アイティフォー / 株式会社アイエスエフネット / 株式会社アイティシステム / 株式会社アイフロン / NECネットワークス株式会社 / テクノパン株式会社 / 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社 / 日本ソフト技研株式会社 / 日本電気航空宇宙システム株式会社 / 三菱電機デジタルイノベーション株式会社 / 株式会社ミライト・ワン・システムズ / JCOM株式会社 / ドコモ・テクノロジー株式会社 / 三菱電機デジタルイノベーション株式会社 / nmsエンジニアリング株式会社 / 株式会社テクノ・プロ / テクノ・プロ・エンジニアリング株式会社 / 日研トータルソーシング株式会社 / 株式会社メイテック / 株式会社東芝情報システム株式会社 / 株式会社東芝デジタルエンジニアリング株式会社 / 富士ソフト株式会社 / 株式会社アルプス技研 / 株式会社アストエンジニア / 日本エレクトロニクスシステム株式会社 / 西日本旅客鉄道株式会社 / 株式会社エディオン / 株式会社クラフティア / 株式会社サン電工株式会社 / 株式会社三井ハイテック / 株式会社システムソフト / 株式会社インフォセンス / 株式会社エクシース / 株式会社NTTデータNCB / 株式会社応研 / 株式会社カスネット / 株式会社九州DTS / 株式会社九州日立システムズ / グローバルブレインズ株式会社 / 株式会社KBKプラス / 株式会社ゲット / 株式会社サンテック / 株式会社シンク / 正晃テック株式会社 / 株式会社ソフトサービス / 株式会社ディジテック / 日鉄ソリューションズ九州株式会社 / 株式会社FILOT / ANA福岡空港株式会社 / 堀川観光バス株式会社 / 株式会社ランテック / 福岡県公立学校教員(中学) / 福岡県警察 / 株式会社イーシー / 株式会社Misumiなど



就職率 100%・実就職率 98.5%

情報システム工学科

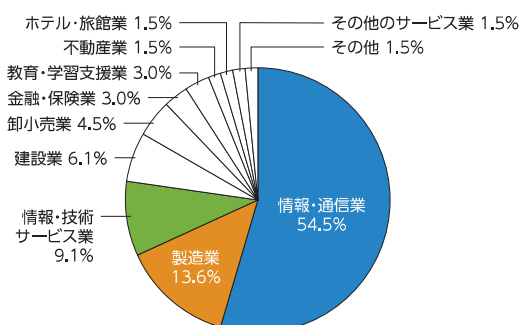
株式会社OKIソフトウェア / 横河ソリューションサービス株式会社 / 沖電気工業株式会社 / キオクシア株式会社 / NSW株式会社 / 株式会社大塚商会 / 株式会社クロスキャスト / 株式会社シー・イー・シー / 日本システム技術株式会社 / パーソナルホールディングス株式会社 / NCD株式会社 / 株式会社クレスコ / 株式会社SHINKO / 株式会社アイシス / 株式会社アイティシステム / 株式会社インテックソリューションパワー / NECフィールディング株式会社 / 株式会社オネスト / サン情報サービス株式会社 / CTCテクノロジー株式会社 / 株式会社システムフォース / 株式会社ジャステック / 中央システム株式会社 / 株式会社テクノ / 情報システム / 株式会社東芝システムテクノロジー株式会社 / 三菱電機デジタルイノベーション株式会社 / 株式会社東テック / MXモババイリング株式会社 / ALSOK株式会社 / ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 / 株式会社CONSCIENCE / 三菱電機ビルソリューションズ株式会社 / 株式会社オープンアップネクストエンジニア / 株式会社スタッフサービスエンジニアリング事業本部 / 株式会社テクノ・プロ / テクノ・プロ・IT社 / パーソナルクロステクノロジー株式会社 / 株式会社メイテック / アマノ株式会社 / 株式会社アルファシステムズ / パナソニックシステムデザイン株式会社 / 富士ソフト株式会社 / 富士通ネットワークソリューションズ株式会社 / 株式会社アルプス技研 / シンク・レイ・ヤ株式会社 / デンソーテクノ株式会社 / トーテックアメニティ株式会社 / 株式会社ビー・ネックスソリューションズ / 株式会社王将フードサービス / エム・エム・エー株式会社 / ダイダン株式会社 / 三菱電機ソフトウェア株式会社 / 株式会社高田工業 / 不二精機株式会社 / 株式会社三井ハイテック / 九電テクノロジーシステムズ株式会社 / トヨタ自動車九州株式会社 / 株式会社キューブシステムズ / エコー電子工業株式会社 / FFGコンピュータサービス株式会社 / グローバルブレインズ株式会社 / 株式会社ティア・コム / 株式会社ニシコン / 株式会社ワールドシステムサービス / 株式会社スターマックス・ホールディングス / 学校法人大牟田学園大牟田高等学校 / 学校法人アソウ・アルファ / 株式会社グローブネットシステム / 株式会社SYSKEN / 日本情報クリエイト株式会社 / 株式会社MJCなど



就職率 100%・実就職率 95.6%

システムマネジメント学科

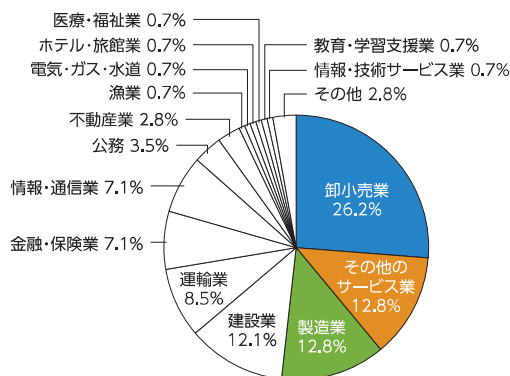
高砂香料工業株式会社 / 矢崎総業株式会社 / 株式会社NSD / 株式会社大塚商会 / 株式会社メンバーズ / 株式会社SHINKO / 株式会社アクティス / 株式会社EVC / 株式会社NTTデータ・アイ / 株式会社NTTデータ・ニューソン / 株式会社オネスト / キヤノン電子テクノロジー株式会社 / CTCシステムマネジメント株式会社 / 双日テクノロジーイノベーション株式会社 / 株式会社東芝システムテクノロジー株式会社 / プリヂストンソフトウェア株式会社 / 一般財団法人休暇村協会 / 三菱電機ビルソリューションズ株式会社 / トランスコスモス株式会社 / 株式会社アスパーク / 株式会社スタッフサービスエンジニアリング事業本部 / パーソナルクロステクノロジー株式会社 / アマノ株式会社 / 株式会社住居時間 / デンソーテクノ株式会社 / ネットフォース株式会社 / 株式会社あいコムこうか / 株式会社ソフトウェア・サービス / 株式会社アル・エム / 三菱電機ソフトウェア株式会社 / 株式会社クラフティア / 不二精機株式会社 / 株式会社九州デン / 株式会社トヨタプロダクションエンジニアリング / 岡野バルブ製造株式会社 / 株式会社エクシース / SCSC九州株式会社 / FFGコンピュータサービス株式会社 / 株式会社応研 / 株式会社サンテック / 事業組合システムバンク九州共同センター / 株式会社ティア・コム / 日鉄ソリューションズ九州株式会社 / 株式会社ネスコウイング / 株式会社ベガコーポレーション / androots株式会社 / 株式会社トライアルカンパニー / FFG証券株式会社 / 株式会社みんなの銀行 / 株式会社ノケングループ / 英進館株式会社 / 株式会社上電機製作所 / SDCソリューションズ株式会社 / 株式会社KKCS / 株式会社熊本計算センター / 学校法人聖心学園熊本県府高等学校 / 株式会社イーシー / 自営業など



就職率 100%・実就職率 100%

社会環境学科

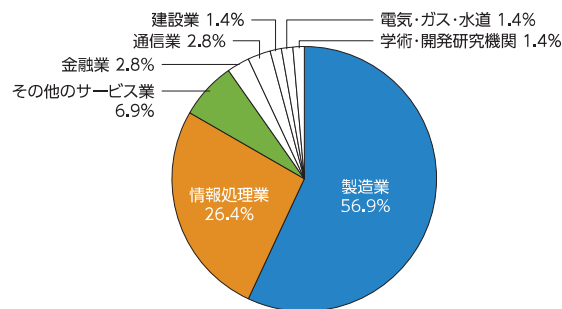
㈩日本アーク／㈩ミライト・ワン／大林道路㈩／日本設備工業㈩／㈩セイシン企業／㈩東芝／㈩ホギメ
ディカル／フランスベッド㈩／NSW㈩／㈩NSD／㈩robothome／イーアンドエム㈩／日本タタ・コンサル
タンシー・サービス㈩／JCOM㈩／㈩ナカムラロジスティクス／日鉄物流㈩／日本郵便㈩／キヤノン
マーケティングジャパン㈩／東テック㈩／伊藤忠建材㈩／富士機材㈩／富士テレコム㈩／三菱電機住環境シ
ステム㈩／ヤマト電機㈩／渡辺パイプ㈩／明治安田生命保険相互会社／明和地所㈩／㈩TSACE／㈩ア
ズーム／国土防災技術㈩／大東建設㈩／㈩パートナーズ㈩／㈩マイナビ／㈩トランスコスモス㈩／航空自衛隊／ア
マノ㈩／ナイス㈩／神奈川警察本部／相模原市消防局／㈩守谷商会／㈩星野リゾート／太陽建機レン
タル㈩／POSCO Japan PC㈩／㈩メイケイ／㈩トップ／浅海電気㈩／㈩三見空調／㈩鶴見製作所／エス
ケー化研㈩／西日本旅客鉄道㈩／㈩PALTAC／日本生命保険相互会社／マツダ㈩／㈩イズミ／㈩クラフ
ティア／日本乾漕工業㈩／新宮相島漁業協同組合／アスミオ ㈩／㈩環境開発／㈩坂本工務店／新日本熱
学㈩／セキスイハイム九州㈩／㈩明菱／㈩菱熱／リョーユーグループ／日本製鉄㈩九州製鉄所／不
二精機㈩／ヤンマー建機㈩／㈩三井ハイテック／㈩カンノ製作所／㈩ヤマウ／FFGコンピュータサービ
ス㈩／Qsol㈩／㈩キューブス／ANA福岡空港㈩／㈩JALスカイ九州／㈩丸海運㈩／西鉄バス北九州㈩
／㈩ランテック／ロジスティック九州㈩／小野建機／ヤマエグループホールディングス㈩／㈩アトル／イ
シダ産機㈩／キャタピラー九州㈩／ジエムメディカル㈩／正見㈩／東海シープロ㈩／トヨタモビリティ
パーツ㈩／林業エス㈩／山下医科器械㈩／イオン九州㈩／㈩イデックスオート・ジャパン／九州日野自動
車㈩／坂本産業㈩／㈩大信業局／㈩武田メナ㈩／㈩トライアルカンパニー／㈩西日本シティ銀行／西日本
シティTT証券㈩／㈩福岡銀行／三井不動産リアルティ九州㈩／㈩三好不動産／㈩ルーム／地方独立行政
法人くらで病院／㈩サンレー／㈩E-SYSTEM／エイジス九州㈩／㈩サニクリン九州／㈩ミカサ／春日・
大野城・那珂川消防組合消防本部／㈩ワイ・デーケー九州／環境省九州地方環境事務所／大分ガス㈩／
大分県信用農業協同組合連合会／㈩鹿児島銀行／JA鹿児島県連／学校法人角川ドワンゴ学園／自営業な
ど



就職率 100%・実就職率 98.6%

大学院

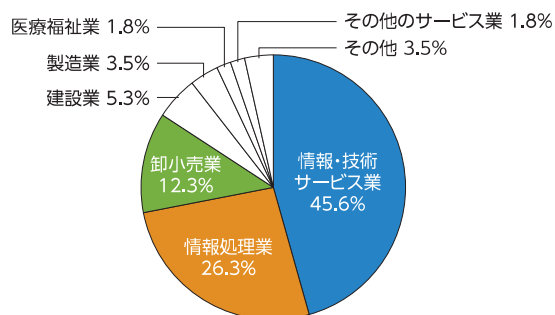
三菱ケミカルエンジニアリング㈩／TOPPAN㈩／日本ケミファ㈩／UBE㈩／日鉄ケミカル&マテリアル㈩
／古河電気工業㈩／芝浦機械㈩／㈩不二越／㈩共和電業／㈩タムラ製作所／㈩日本マイクロニクス／日
本無線㈩／パナソニックEVネットワークス㈩／キオクシア㈩／トピー工業㈩／Astemo㈩／㈩荏原製作所
／太平洋セメント㈩／太平洋マテリアル㈩／大和製罐㈩／㈩クエクト／SBテクノロジー㈩／㈩NSD／㈩
キューブシステム／デル・テクノロジーズ㈩／富士フイルム医療ソリューションズ㈩／㈩SBI新生銀行／ALS
OK㈩／アクセンチュア㈩／イービーエス㈩／一般財団法人食品環境検査協会／三菱電機ビルソリュー
ションズ㈩／㈩アルファシステムズ／東芝情報システム㈩／㈩ニコンシステム／セイコーエプソン㈩／ミ
ネベアミツミ㈩／㈩デンソー／日本新薬㈩／京セラ㈩／TOWA㈩／田辺ファーマ㈩／㈩ダイワ／㈩橋
本チエイン／関西電力㈩／NTT西日本㈩／フジッコ㈩／大和工業㈩／三菱電機ソフトウェア㈩／テルモ山
口㈩／キューサイ㈩／TOTO㈩／㈩正興電機製作所／㈩三井ハイテック／㈩安川電機／㈩YEDIGITAL／
FFGコンピュータサービス㈩／㈩九州日立システムズ／㈩熊鷹猫／スリーアルソリューション㈩／日鉄
ソリューションズ九州㈩／㈩QNet／㈩福岡銀行／一般財団法人九州環境管理協会／ソニーセミコンダク
タマニファクチャリング㈩など



就職率 100%・実就職率 100%

短期大学部

㈩プラスト／三機工業㈩／㈩アクシス／㈩エイチ・エル・シー／サイファー㈩／日興通信㈩／㈩オンデーズ
／㈩アビスト／SOLIZEPARTNERS㈩／㈩アスパーク／㈩エイジェック／バーソルロステクノロジー㈩
／㈩パナソニック／㈩平山／㈩マキエリ／㈩マイスターエンジニアリング／㈩ワーサル／㈩第一コンピュ
タリソース／㈩レソッティ／㈩ゲオホールディングス／㈩ブロンコビリー／応用電機㈩／京セラ㈩／浅海電
気㈩／ソフトキューブ㈩／ナビオコンピュータ㈩／フジアルテ㈩／㈩ダイキンエンジニアリング／千代田計
装㈩／㈩ゲット／光陽無線㈩／㈩システムプラネット／㈩ディジテック／㈩ネンスコウイング／㈩アステム
／さくらフォレスト㈩／㈩ドラッグストアモリ／坂本クリニック耳鼻咽喉科／新日本非破壊検査㈩／㈩アソウ
アルファ／㈩ワールドドインテック／㈩デクノクリエイティブ／自営業など



就職率 100%・進路決定率 93.8%

令和7年度進学状況 令和8年3月卒業者

(敬称略・順不同)

■大学院

- 福岡工業大学大学院 博士課程

■大学

- 福岡工業大学大学院 (工学研究科／社会環境学研究科)
- 九州大学大学院 (総合理工学府／数理学府)
- 東北大学大学院 (工学研究科)
- 筑波大学大学院 (理工情報生命学術院)
- 北陸先端科学技術大学院大学 (先端科学技術研究科)
- 横浜市立大学大学院 (生命医科学研究科)
- 東京都立産業技術大学院大学 (産業技術研究科)
- 早稲田大学大学院 (創造理工学研究科)

■短期大学部

- 宮崎大学 工学部
- 鹿児島大学 工学部
- 佐賀大学 地域デザイン学部
- 山口大学 工学部
- 高知大学 理工学部
- 九州工業大学 情報工学部
- 島根大学 総合理工学部
- 北九州市立大学 国際環境工学部
- 福岡工業大学 情報工学部
- 福岡工業大学 社会環境学部
- 大阪産業大学 デザイン工学部
- 京都産業大学 情報理工学部
- 近畿大学 産業理工学部
- 九州産業大学 理工学部
- 久留米工業大学 工学部
- 九州情報大学 経営情報学部
- 久留米大学 経済学部
- 西日本工業大学 デザイン学部
- 西日本工業大学 工学部
- 九州共立大学 経済学部
- 埼玉工業大学 工学部
- 湘南工科大学 工学部

令和7年度附属城東高校進路状況(合格実績)

■令和7年度(8年度入試)進学(合格者)実績(既卒者含む)

(敬称略・順不同)

国立大学		私立大学	
九州大学	9	早稲田大学	2
九州工業大学	13	上智大学	1
福岡教育大学	5	東京理科大学	9
佐賀大学	12	明治大学	7
長崎大学	8	青山学院大学	3
熊本大学	5	立教大学	1
大分大学	2	中央大学	5
宮崎大学	1	法政大学	5
鹿児島大学	7	関西大学	10
琉球大学	2	関西学院大学	12
鹿屋体育大学	1	同志社大学	8
北見工業大学	1	立命館大学	26
室蘭工業大学	1	流通経済大学	1
東北大学	1	国際医療福祉大学	6
茨城大学	1	東京国際大学	1
東京外国語大学	1	千葉工業大学	12
名古屋大学	1	桜美林大学	4
大阪大学	1	大妻女子大学	1
広島大学	3	工学院大学	5
山口大学	3	國學院大学	3
愛媛大学	2	駒澤大学	6
公立大学		芝浦工業大学	1
北九州市立大学	14	昭和女子大学	1
福岡県立大学	1	白百合女子大学	1
福岡女子大学	3	成蹊大学	1
長崎県立大学	2	成城大学	1
熊本県立大学	2	創価大学	2
名城大学	4	大正大学	1
東京都立大学	1	拓殖大学	2
公立鳥取環境大学	1	玉川大学	2
県立広島大学	1	帝京大学	3
広島市立大学	1	東海大学	12
福山市立大学	1	東京音楽大学	1
山陽小野田市立山口東京理科大学	3	東京電機大学	11
高知工科大学	3	東京農業大学	1
国公立大学 合計	117	東洋大学	7
公立短期大学		日本体育大学	1
大分県立芸術文化短期大学	3	日本大学	5
公立短期大学 計	3	明治学院大学	3
準大学等		立正大学	1
防衛医科大学校	1	神奈川大学	2
防衛大学校	6	関東学院大学	3
水産大学校	1	金沢工業大学	4
九州職業能力開発大学校	12	山梨学院大学	2
川内職業能力開発短期大学校	1	愛知学院大学	1
準大学等 計	21	名古屋芸術大学	1
		名城大学	2
		大谷大学	2
		京都産業大学	16
		佛教大学	2
		明治国際医療大学	1
		龍谷大学	16
		追手門学院大学	2
		大阪経済大学	2
		大阪芸術大学	1
		大阪国際大学	1
		大阪成蹊大学	3
		大阪電気通信大学	3
国公立大学・準大学等 合計	141	関西外国語大学	1
		近畿大学	50
		阪南大学	16
		桃山学院大学	5
		大和大学	2
		甲南大学	2
		神戸学院大学	8
		園田学園大学	1
		奈良大学	1
		岡山理科大学	7
		環太平洋大学	1
		広島工業大学	1
		広島国際大学	5
		福山大学	1
		至誠館大学	1
		梅光学院大学	2
		北海道情報大学(通信教育部)	1
		ZEN大学	1
		〈九州地区〉	
		福岡工業大学	1,051
		西南学院大学	78
		福岡大学	216
		九州産業大学	149
		九州栄養福祉大学	5
		九州共立大学	10
		九州国際大学	14
		九州女子大学	5
		久留米工業大学	8
		久留米大学	31
		産業医科大学	2
		純真学園大学	10
		西南女学院大学	3
		聖マリア学院大学	2
		第一薬科大学	4
		筑紫女学院大学	8
		中村学園大学	31
		西日本看護医療大学	1
		西日本工業大学	1
		日本経済大学	3
		日本赤十字九州国際看護大学	7
		福岡国際医療福祉大学	14
		福岡国際音楽大学	3
		福岡女学院看護大学	9
		福岡女学院大学	39
		令和健康科学大学	5
		西九州大学	1
		長崎外国語大学	1
		長崎国際大学	2
		長崎総合科学大学	4
		九州ルーテル学院大学	1
		熊本学園大学	3
		崇城大学	5
		日本文理大学	3
		別府大学	3
		立命館アジア太平洋大学	8
		九州医療科学大学	1
		志学館大学	1
		私立大学 計	2,100
		大学 計	2,241
		短期大学 計	100

■令和7年度就職(合格者)実績(令和8年3月卒業者) (企業等名:敬称略・五十音順)

- アイリスオーヤマ(株)鳥栖工場
- (株)九電工 新:(株)クラフティア
- (株)きんでん
- 西部ガスエネルギー(株)
- スカイマーク(株)
- (株)デンソー九州
- 西日本高速道路(株)
- 日本郵便(株)九州支社
- プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)
- いすゞ自動車九州(株)
- (株)九電送配サービス
- (株)クボタ
- (株)山九
- (株)武田メガネ
- 東罐興業(株)福岡工場
- (株)NISSHO
- パナソニック(株)エレクトリックワークス社
- 文化シャッター(株)
- (株)オオサカネーム
- (株)キューベン
- (株)ケーネス九州支店
- 三和シャッター工業(株)九州事業部
- 千代田計装(株)
- トヨタ自動車(株)
- 日鉄テックスエッジ(株)八幡支店
- 日立建機日本(株)
- (株)マキシス工業
- (株)関電工
- 京セラ(株)鹿児島国分工場
- コマツカスタマーサポート(株)九州沖縄カンパニー
- (株)JR西日本新幹線テクノス
- (株)デンソー
- トヨタ自動車九州(株)
- 日東電工(株)尾道事業所
- (株)日立産機テクノサービス
- (株)矢野特殊自動車

■令和7年度公務員試験合格者実績

- 国家公務員専門職(税務)
- 福岡市職員
- 久山町職員
- 大分県職員
- 兵庫県警察官
- 国家公務員一般職(国土交通省・財務省・防衛省)
- 北九州市職員
- 東京都職員
- 平戸市職員
- 佐賀県警察官
- 宗像市職員
- 大阪広域水道企業団
- 福岡県警察官
- 福岡県職員
- 志免町職員
- 下関市職員
- 大阪府警察官

■外部研究資金の取得実績推移

(単位:千円・件)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
共同研究	金額	37,472	18,403	26,517	26,933	14,650	35,440	93,300	66,364	50,747	69,340
	件数	19	21	21	31	21	32	36	36	34	36
受託研究	金額	18,106	42,203	35,650	119,094	76,957	90,417	41,235	67,468	50,417	63,695
	件数	13	13	7	14	19	19	13	22	24	20
奨学寄付金	金額	14,426	17,200	11,222	20,270	19,520	8,600	5,180	7,793	5,250	14,370
	件数	16	15	10	31	23	14	12	13	10	11
科学研究費補助金※	金額	92,820	79,820	90,220	73,060	90,350	77,740	85,280	75,660	82,810	68,890
	件数	53	60	63	61	64	64	73	65	62	57
その他外部助成金	金額	0	1,620	0	3,850	550	10,679	7,755	23,045	24,693	27,273
	件数	0	2	0	18	26	31	25	45	41	48
合 計	金額	162,824	159,246	163,609	243,207	202,027	222,876	232,750	240,330	213,917	243,568
	件数	101	111	101	155	153	160	159	181	171	172

※研究分担者受入分・外部分担者交付分を除く

■科学研究費申請・採択状況の推移(短期大学部含む、H28～特任教員含む)

(単位:件・%・千円)

	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
申請	申請総教員数	158	158	161	157	155	157	157	157	161	161
	新規申請件数	78	91	82	86	80	72	78	76	80	77
	申請率※1	49.4	57.6	50.9	54.8	51.6	45.9	49.7	48.4	49.7	47.8
採択	総採択件数	53	60	63	61	64	64	73	65	62	57
	内訳	新規	13	20	18	17	9	20	18	12	11
		継続	40	40	43	47	55	53	47	50	46
	採択率(新規)※2	16.7	22.0	24.4	20.9	21.3	12.5	25.6	23.7	15.0	14.3
	採択率(新規+継続)※3	44.9	45.8	50.4	47.3	50.4	50.4	55.7	52.8	47.7	46.3
	金額	92,820	79,820	90,220	73,060	90,350	77,740	85,280	75,660	82,810	68,890

※1 申請率:新規申請件数/総教員数 ※2 採択率(新規):新規採択件数/新規申請件数 ※3 採択率(新規+継続):総採択件数/(新規申請件数+継続採択件数)

■令和7年度外部大型研究支援事業(府省庁等所管) 取組実績(採択件数20件、採択金額合計64,559千円)

No.	研究助成機関名等	参画(代表・分担)している研究テーマ・内容等	研究者(職位:R8)	学科等
1	(国研)科学技術振興機構(JST)	【大学発新産業創出基金事業】スタートアップ・エコシステム共創プログラム(PARKS Step1)	盧 存偉 教授	電子情報工学科
2	(国研)日本医療研究開発機構(AMED)	【創業ブースター】細菌の細胞壁合成因子Xに対する新規抗菌薬の探索	奥田 賢一 准教授	生命環境化学科
3	(国研)科学技術振興機構(JST)	【SATREPS】脱炭素社会に向けた炭酸塩化を利用したカーボンリサイクルシステムの開発	久保 裕也 准教授	生命環境化学科
4	経済産業省(JellyWare株式会社)	経済産業省補助事業AKATSUKIプロジェクト「Q-Quest GROW」	横田 諭 教授	知能機械工学科
5	(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	航空機向け革新的推進システム開発事業/2MW級航空機用超電導推進システムの開発	井上 昌睦 教授	電気工学科
6	(国研)科学技術振興機構(JST)	【大学発新産業創出基金事業】スタートアップ・エコシステム共創プログラム(PARKS Step1)	種田 和正 教授	情報工学科
7	文部科学省(大分大学)	文科省高度医療人材養成拠点形成事業「低侵襲手術とAIのクロスイノベーションによる高度医療人材育成拠点の形成」	徳安 達士 教授	情報システム工学科
8	(国研)科学技術振興機構(JST)	【大学発新産業創出基金事業】スタートアップ・エコシステム共創プログラム(PARKS Step1)	徳安 達士 教授	情報システム工学科
9	(国研)科学技術振興機構(JST)	【大学発新産業創出基金事業】スタートアップ・エコシステム共創プログラム(PARKS Step2-1)	徳安 達士 教授	情報システム工学科
10	日本私立学校振興・共済事業団	2025年度若手研究者奨励金「対話型進化計算手法における感性評価に関する嗜好ルールの同定」	竹之内 宏 助教	情報マネジメント学科
11	国土交通省九州地方整備局	大規模な洪水攪乱下での河川構造の複雑性の機能と河川生態系の保全・回復に関する研究	乾 隆帝 教授	社会環境学科
12	福岡市	令和7年度 魚類相による博多湾のアマモ場等評価	乾 隆帝 教授	社会環境学科
13	国土交通省九州地方整備局	令和7年度「革新的な統合気象データを用いた洪水予測の高精度化」研究	田井 明 教授	社会環境学科
14	国土交通省九州地方整備局	防災GoのAR機能による防災教育の向上	上杉 昌也 准教授	社会環境学科
15	(独)日本学術振興会(JSPS)	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業	上杉 昌也 准教授	社会環境学科
16	(独)環境再生保全機構(ERCA)	「修理する権利」論:循環経済に向けたイノベーション・市場・環境に関する各制度の役割分担論の構築と研究チーム・ビルディング	橋 雄介 准教授	社会環境学科
17	福岡県篠栗町	「篠栗元気もん活動」共同事業	植崎 兼司 教授 長谷 静香 准教授 李 知炯 助教	教養力育成センター 生命環境化学科 情報システム工学科
18	日本私立学校振興・共済事業団	2025年度女性研究者奨励金「日本語を話す2Lバイリンガルのスピーチ・プロダクションー異なる言語間の相互作用とバイリンガル言語発達に関する研究ー」	劉 莎 准教授	教養力育成センター
19	(国研)科学技術振興機構(JST)	【大学発新産業創出プログラムSTART】大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援	産学連携推進室	総合研究機構
20	(国研)科学技術振興機構(JST)	【大学発新産業創出基金事業】スタートアップ・エコシステム共創プログラム	産学連携推進室	総合研究機構

■令和7年度登録案件一覧 登録案件8件

No.	国	特許番号	登録日	発明の名称	発明者(職位:R8)	学科
1	日本	特許第7671994号	2025/04/24	触媒の処理方法	久保 裕也 准教授	生命環境化学科
2	日本	特許第7672138号	2025/04/24	プレス加工装置	廣田 健治 教授	知能機械工学科
3	日本	特許第7759061号	2025/10/15	飛行体の位置推定システム、及び飛行体の位置推定方法	種田 和正 教授	情報工学科
4	日本	特許第7759628号	2025/10/16	情報処理システム、内視鏡システム及び情報処理システムの作動方法(大分大学、オリンパス株式会社との共有)	徳安 達士 教授	情報システム工学科
5	日本	特許第7802336号	2026/01/09	バイオフィルム形成抑制剤	奥田 賢一 准教授	生命環境化学科
6	日本	特許第7839506号	2026/03/25	フィッシング防止システム、フィッシング検査装置、フィッシング防止プログラム、及びフィッシング防止方法	種田 和正 教授	情報工学科
7	日本	特許第7840526号	2026/03/27	内部検査装置及び内部検査方法(ハ光オートメーション株式会社との共有)	近木 祐一郎 教授	電子情報工学科
8	韓国	10-2837170	2025/07/17	オレフィン系樹脂多孔質体の製造方法、電池用セパレータの製造方法、および製造装置(トヨタ自動車株式会社との共有)	松山 清 教授	生命環境化学科

教育関係補助金の交付状況

■私立大学等経常費補助金(大学・大学院・短期大学部)の交付実績推移

(単位:千円)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
一般補助	532,698	533,344	569,140	600,605	532,955	490,469	574,029	586,344	586,252	570,809
特別補助	160,145	241,195	232,182	160,019	168,328	122,045	139,987	134,298	114,852	105,716
合 計	692,843	774,539	801,322	760,624	701,283	612,514	714,016	720,642	701,104	676,525
学生数 (大学・大学院・短期大学部)	4,757	4,834	4,821	4,764	4,757	4,743	4,720	4,704	4,780	4,813
学生1人あたり 経常費補助金	146	160	166	160	147	129	151	153	147	141

■福岡県私立学校経常費補助金(高校)の交付実績推移

(単位:千円)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
経常費補助金	584,242	583,312	597,112	591,922	579,687	614,602	630,992	607,019	620,298	655,592
生徒数	2,059	2,114	2,082	1,978	1,992	1,946	1,942	1,966	1,963	1,935
生徒1人あたり 経常費補助金	284	276	287	299	291	316	325	309	316	339

■令和7年度文部科学省補助金交付実績

(単位:千円)

文科省補助区分	事業名	交付額
私立大学等研究設備整備費等補助金	X線回折装置(XRD)	24,273
私立学校施設整備費補助金	C棟2階・3階講義室バリアフリー化工事	5,467
合 計		29,740

令和7年度資格取得実績

■教員免許取得者数(延べ人数)

免許種類	学部	科目	取得者数
高校一種	工学部	理科	6
	工学部	工業	1
	情報工学部	数学	12
	情報工学部	情報	10
	社会環境学部	公民	6
合 計			35

免許種類	学部	科目	取得者数
中学校一種	工学部	理科	5
	情報工学部	数学	11
	社会環境学部	社会	6
	合 計		22

■資格取得実績・大学

資格名称	合格者数
公害防止管理者試験 水質関係第1種 国家資格	1
公害防止管理者試験 水質関係第4種 国家資格	5
第一級陸上無線技術士 国家資格	11
第一級陸上特殊無線技士 国家資格	9
第二級陸上無線技士 国家資格	1
第二級海上特殊無線技士 国家資格	12
危険物取扱者甲種 国家資格	5
危険物取扱者乙種4類 国家資格	5
機械技術保全技能士2級 国家試験	1
機械技術保全技能士3級 国家試験	4
基本情報技術者試験(FE) 国家試験	14
応用情報技術者試験 国家試験	5
ITパスポート 国家試験	20
CCNA (Cisco Certified Network Associate)	3

資格名称	合格者数
Linuxレベル1	2
情報セキュリティマネジメント	1
中級バイオ技術者認定試験	6
初級バイオ技術者認定試験	32
化粧品成分検定(1級)	1
防災士	1
2次元CAD利用技術者試験2級	40
CG-ARTS検定 エキスパート	4
CGエンジニア検定 エキスパート	1
CGエンジニア検定 ベーシック	1
ECO検定(環境社会検定試験)	1
リテールマーケティング(販売士)2級	10
リテールマーケティング(販売士)3級	15
ファイナンシャル・プランニング技能士(FP技能士)3級	2
合 計	213

■資格取得実績・短期大学部

資格名称	合格者数
ITパスポート 国家試験	1
CGエンジニア検定 ベーシック	4
Microsoft Office Specialist Excel	1
リテールマーケティング(販売士)3級	1
合 計	7

モノづくりセンター活動実績

■令和7年度モノづくりセンタープロジェクトメンバー数

プロジェクト名	メンバー数
ソーラーカー(エネワンカー)※	7
ロボコン	20
ロボット相撲	17
手作りアクセサリ	20
二足歩行ロボット	20
4輪2輪メンテピット	18
i-STEM 教育教材開発	11

プロジェクト名	メンバー数
衛星コン	10
ロボットアーム	5
超電導デモ	12
EVフォーミュラカー	2
においてロボットの作製	2
農業DX	13
音楽機材	4

プロジェクト名	メンバー数
高波を受けた船体の実験	1
制御工作チャレンジ◎	10
AIによる電気設計の自動化◎	4
理科教材開発	11
自然災害観測機器開発	6

◎令和6年度の利用推進プロジェクト
※令和7年度より()に改名

■令和7年度モノづくりセンタープロジェクト活動実績

プロジェクト名	参加大会名等	結果
二足歩行 ロボット	[YOKA ロボまつり79 バトル大会]	17名参加 ライト級2位
	[YOKA ロボまつり80 バトル大会]	12名参加 ライト級1位・2位・3位
	[YOKA ロボまつり81 バトル大会]	15名参加 ライト級3位、ヘビー級3位
	[YOKA ロボまつり82 バトル大会]	11名参加 ライト級3位、ヘビー級1位
	[YOKA ロボまつり83 バトル大会]	9名参加 ライト級2位、ヘビー級2位
二足歩行 ロボット	[第43回ヒューマノイドカップ]	15名参加 ライト級…1・2・3位 (1位はROBO-ONE Lightの予選免除) ヘビー級…2位
	[第8回工大サミット ROBO-ONE]	3名参加、バトル大会3台出場 新ルール説明会、交流会等参加
	[第44回 ROBO-ONE] [第28回 ROBO-ONE Light]	4名参加 10名参加 予選通過1台、 決勝トーナメント2台出場 1・2回戦敗退
ロボット 相撲	[全日本ロボット相撲 関東地区予選会2025]	4名参加 [3kg自立型]3台出場
	[全日本ロボット 相撲近畿地区予選会2025]	6名参加 [3kg自立型]4台出場 [3kgラジコン型]1台出場 [3kg自立型]二〇加尖兵…ベスト8 ※1台全国大会に出場決定
	[全日本ロボット相撲 九州地区予選会2025]	13名参加 (内2名ロボコンメンバー) [3kg自立型]4台出場 [3kgラジコン型]2台出場 [500gラジコン型]5台出場
	[全日本ロボット相撲 全国大会2025]	6名参加 [3kg自立型]二〇加尖兵 出場 3回戦敗退

プロジェクト名	参加大会名等	結果
ロボコン	[九州夏ロボコン2025]	12名(1チーム)参加 チーム名「赤いフォークリフト」 準優勝(全15チーム中)
	[第15回キャッチロボバトル コンテスト]	6名参加 機体名「織龍V」 決勝T進出(全95チーム中16チーム) 3位タイ、審査員特別賞受賞
	[九州ロボットコンテスト2025 モノづくりフェア杯]	学生10名、生徒1名参加 下戸研究室、城東高校と合同で 参加 準優勝
	[関西春ロボコン2026]	7名参加、競技課題「陣取合戦」 予選15位 決勝トーナメント進出 ベスト24
超電導 デモ	2025年度 市民公開講座 超電導デモ機コンテスト	3名出場 6団体(内4大学)中2位
衛星コン	[第32回衛星設計コンテスト]	アイデア部門 エントリー 作品名「デブリ除去専用完全 自律型衛星 LADD」書類提出 B評価(1次審査通過外作品中 上位21~50%)
農業DX	[情報処理学会 第24回 情報科学技術フォーラム]	6名参加 研究タイトル 「画像情報を用いたあまおうの 収穫量予測に関する予備的実験」 [情報処理学会第24回情報科学 技術フォーラム奨励賞]受賞

■国際交流協定校一覧(大学との協定締結校)

国名	大学名	締結年	協定内容						令和7年度交流学生数		令和6年度交流学生数	
			学術交流 (包括)	共同研究	学生交流	教育・研究者 交流	事務職員 交流	留学生 募集	本学から の派遣 (オンライン含む)	協定校学生 の受入れ (オンライン含む)	本学から の派遣 (オンライン含む)	協定校学生 の受入れ (オンライン含む)
アメリカ	フットヒルカレッジ	1992	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	カリフォルニア州立大学イーストベイ校	2003	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
	サンノゼ州立大学	2015	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	セントメアリーズカレッジカリフォルニア	2018	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
	ハワイ大学マノア校	2023	○	○	○	○	-	-	9	-	10	-
	サンフランシスコ州立大学	2023	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
カナダ	センテニアルカレッジ	2023	○	-	○	○	-	-	13	-	10	-
	ブリティッシュコロンビア大学応用科学部	2023	○	-	○	○	-	-	8	-	9	-
	ウォータールー大学レニソン・カレッジ	2026	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
韓国	慶星大学校	1981	○	-	○	○	○	-	2	4	2	6
	亜洲大学校	1990	○	○	○	○	○	-	-	-	1	2
	啓明大学校工学部	2009	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
	東國大学校WISEキャンパス	2023	○	○	○	○	○	-	-	10	-	1
	釜慶大学校	2023	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	東亜大学校	2023	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	昌原大学校	2023	○	○	○	○	○	-	-	1	-	-
	順天郷大学校	2025	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
中国	湖西大学校	2025	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	大連理工大学	1988	○	○	○	○	-	○	5	-	2	-
	南京理工大学	1993	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
	青島科技大学	2008	○	○	○	○	○	○	-	17	-	10
	北華大学	2007	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	魯東大学	2024	○	○	○	○	○	○	-	16	-	-
	蘇州大学	2024	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	上海理工大学	2025	○	○	○	○	○	-	-	2	-	-
台湾	高雄科技大学	2017	○	○	○	○	○	-	41	44	38	65
	元智大学	2022	○	○	○	○	○	-	2	-	-	2
	東華大学	2023	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	宜蘭大学	2023	○	-	○	○	○	-	10	12	14	23
	明新科技大学	2023	○	○	○	○	○	-	12	-	8	-
	雲林科技大学	2024	○	○	○	○	○	-	15	-	-	18
	明志科技大学	2025	○	○	○	○	○	-	8	11	-	-
	亜州大学	2025	○	○	○	○	○	-	-	20	-	-
タイ	龍華科技大学	2026	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	キングモンクット工科大学ラカバン校	2008	○	○	○	○	○	○	35	58	28	96
	チュロンコン大学理学部	2009	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	泰日工業大学	2017	○	○	○	○	○	○	6	13	-	14
	キングモンクット工科大学トンブリ校	2023	○	○	○	○	○	-	-	1	-	2
マレーシア	CMKL University	2025	○	○	○	○	○	-	-	2		
	マラ工科大学	2023	○	-	○	○	○	-	6	-	7	-
インドネシア	マラン大学	2023	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
	パダン州立ポリテクニク	2025	○	○	○	○	○	-	5	-	-	-
	パジャジャラン大学	2025	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	ハサンサディキン総合病院	2025	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	ハサヌディン大学	2026	○	○	○	○	○	-	6	-	-	-
ベトナム	ダナン大学工科大学	2023	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
	ハノイ工科大学	2024	○	○	○	○	○	-	4	-	3	-
	ホーチミン市工科大学	2024	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
	国立郵政通信技術学院	2024	○	○	○	○	○	-	4	-	6	-
シンガポール	FPTポリテクニク	2026	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	テマセク・ポリテクニク	2024	○	○	○	○	○	-	20	73	7	8
インド	デリー準州教育委員会	2023	-	-	-	-	-	○	-	7	-	7
	セントジョセフ工科大学	2026	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	セントジョセフ工業大学	2026	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
	チェンナイ工科大学	2026	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
オーストラリア	フェデレーション大学	2001	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
アルバニア	ティラナ工科大学	2009	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
イタリア	ナポリ・フェデリコ2世大学	2018	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
ルーマニア	クルジュ・ナポカ工科大学	2025	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
合 計	59校								211	291	145	254

■ネイティブ職員サポート学生数

実施項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
イベントレッスン・校正個人対応数(R5年度以降GSL来訪者含む)	100	111	120	120	50	117	192	289	268	303
GSL実施グループイベント参加(イベント、コンテスト、グループレッスン等)	416	382	584	472	67	505	848	849	566	614
城東高等学校レッスン、イベント等	460	314	189	99	0	33	67	0	26	0
留学事前準備レッスン依頼	372	406	480	580	15	108	144	149	87	45
大学授業支援	114	542	387	804	21	178	520	157	477	538
英文校正依頼	18	39	123	139	39	79	80	53	65	26
個人レッスン数	112	256	304	270	299	453	230	216	163	301
個人レッスン参加者	28	30	30	45	41	57	58	55	48	53
GSL活動参加数						136	222	331	258	219
GSL活動参加生徒数(来学者数含めて)							87	150	123	91
英語カフェ・[Let's Chat]						132	271	273	125	362
英語カフェ・[Let's Chat]個人参加数(来学者数含めて)							54	80	70	52
GSLラウンジ利用数							136	1,443	848	430
GSLラウンジ個人利用数							23	93	38	37
合計利用・参加数(GSL実施イベント、GCP関連、大学依頼)	2,879	3,116	2,310	3,086	1,360	2,302	3,955	5,528	2,847	2,906

※本データは合計の参加以外にGCPの個人、もしくはグループレッスンの参加を含みません。

地域連携 令和8年3月31日現在

(企業名等・敬称略・締結年月日順)

■自治体・企業・教育機関等との連携協定一覧

No.	協定名	協定先	締結年月日
1	株式会社福岡銀行及び株式会社福岡県信用保証協会と福岡工業大学との産学連携協力に関する協定	(株)福岡銀行、(株)福岡県信用保証協会	H20.05.23
2	(株)西日本シティ銀行と福岡工業大学との産学連携協力に関する協定	(株)西日本シティ銀行	H20.07.28
3	東部地域大学連携に関する協定	九州産業大学、福岡女子大学	H23.11.09
4	国立大学法人九州工業大学と福岡工業大学との連携に関する協定	国立大学法人九州工業大学	H24.05.01
5	(株)西日本新聞社と学校法人福岡工業大学との包括的連携協力に関する協定	(株)西日本新聞社	H24.09.26
6	福岡工業大学と(株)九電工との研究開発における包括的な連携推進に関する協定	(株)クラフティア(旧:株九電工)	H24.11.27
7	新宮町と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	新宮町	H26.03.20
8	古賀市と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	古賀市	H26.07.23
9	株式会社正興電機製作所と福岡工業大学との包括的連携推進に関する協定	株式会社正興電機製作所	H26.07.23
10	長崎大学、熊本県立大学及び福岡工業大学との環境分野における包括的連携協力に関する協定	長崎大学、熊本県立大学	H26.12.04
11	学校法人福岡工業大学と一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟との包括的連携に関する協定	(一社)ガールスカウト福岡県連盟	H27.02.15
12	福岡和白病院、創生会及び福岡工業大学の包括的連携に関する協定	(医)池友会福岡和白病院、(福)創生会	H27.03.05
13	中村学園大学短期大学部と福岡工業大学短期大学部との交流協定	中村学園大学短期大学部	H27.05.25
14	北九州工業専門学校、大分県立工科短期大学校及び福岡工業大学短期大学部との包括的連携協力	北九州工業専門学校、大分県立工科短期大学校	H27.07.10
15	芝浦工業大学と福岡工業大学との連携・協力に関する協定	芝浦工業大学	H28.10.07
16	長崎県島原市と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	島原市	H30.10.12
17	福岡未来創造プラットフォームに関する包括連携協定	福岡市、福岡商工会議所、(一社)福岡市中小企業経営者協会、九州産業大学、九州大学、サイバー大学、西南学院大学、第一薬科大学、筑紫女学館大学、日本経済大学、福岡歯科大学、福岡女子大学、福岡大学、令和健康科学大学	R1.05.09 (R8.03.12) (加盟機関更新)
18	篠栗町と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	篠栗町	R2.08.07
19	国立大学法人大分大学と学校法人福岡工業大学との包括連携・協力協定	大分大学	R2.08.25
20	災害時における施設等の利用協力に関する協定	福岡市	R3.12.01
21	福岡工業大学と福岡県警察とのサイバーセキュリティに関する協定	福岡県警察本部	R4.06.28
22	古賀市と福岡工業大学との仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する連携協定	古賀市	R4.11.07
23	福岡教育大学と福岡工業大学との教員養成に関する連携協定	福岡教育大学	R6.02.21
24	法政大学と福岡工業大学との連携協力に関する協定	法政大学	R6.03.18
25	福岡工業大学と神田女学館中学校高等学校との高大連携に関する合意	神田女学館中学校高等学校	R6.03.21
26	福岡市災害ボランティアセンター設置に関する協定	福岡市、社会福祉法人福岡市社会福祉協議会	R6.03.25
27	(株)共和電業と福岡工業大学との包括連携・協力協定	(株)共和電業	R6.03.28
28	東京都立杉並工科高等学校と福岡工業大学との高大連携に関する協定	東京都立杉並工科高等学校	R6.09.27
29	東福岡高等学校と福岡工業大学との高大連携に関する協定	東福岡学園東福岡高等学校	R7.01.30
30	武庫川女子大学と福岡工業大学との包括的連携推進に関する協定	武庫川女子大学	R8.02.27
31	福津市と福岡工業大学との人材育成事業連携に関する協定	福津市	R8.03.10

附属施設①(ラーニング・commonsの対応状況)

※R2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各施設の臨時閉館・利用制限及び遠隔授業実施等により、利用者が大幅に減少しています。

■学生用ラーニングcommonsの整備状況(令和8年3月31日現在)

図書館席数	562
情報基盤センター席数	611
本部棟(1階・3階)フリー学修スペース席数	96
A棟フリー学修スペース席数	308
B棟フリー学修スペース席数	210
C棟フリー学修スペース席数	334
D棟フリー学修スペース席数	88
E棟フリー学修スペース席数	98
α棟フリー学修スペース席数	188
合 計	2,495

■図書館蔵書数推移(各年3月31日現在)

図書区分	年	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
和書		241,502	247,603	251,730	254,996	258,115	261,143	264,025	266,727	269,964	272,796
洋書		66,618	66,773	67,800	67,928	68,115	68,275	68,433	68,542	68,760	68,924
電子書籍(和・洋)		1,698	1,706	278	539	917	1,390	1,642	1,824	1,901	1,961
AV資料		763	768	774	781	781	781	780	780	780	780
合 計		310,581	316,850	320,582	324,244	327,928	331,589	334,880	337,873	341,405	344,461

■図書館利用者数推移

利用者区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
学内利用者数		137,662	164,170	167,212	162,640	42,814	97,068	94,606	117,034	117,353	131,569
学外利用者数		34,007	27,701	28,831	27,811	3	85	281	10,925	19,455	20,293
合 計		171,669	191,871	196,043	190,451	42,817	97,153	94,887	127,959	136,808	151,862

■図書館資料アクセス数推移

区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
図書資料貸出数		16,384	16,477	15,603	13,800	6,451	10,006	11,139	11,381	12,438	11,383
電子書籍閲覧数		1,042	1,213	972	1,758	4,732	4,936	5,122	5,654	3,811	36,852
ホームページアクセス数		208,533	201,813	194,016	196,615	168,429	115,109	102,544	107,406	130,132	112,108
学術情報データベース・電子ジャーナル等アクセス数		164,322	141,045	212,091	205,754	129,265	163,157	127,258	185,504	67,695	378,885
合 計		390,281	360,548	422,682	417,927	308,877	293,208	246,063	309,945	214,076	539,228

■情報基盤センターPC室稼働状況(授業・授業外)

授業利用:1コマ90分授業の利用回数／授業外利用:1コマ90分の資格取得講座・課外講座等

区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
授業利用数		2,457	3,113	3,086	2,993	1,251	2,936	3,141	2,984	3,150	2,914
授業外利用数		1,672	1,162	1,059	1,077	1,497	793	793	603	680	662
合 計		4,129	4,275	4,145	4,070	2,748	3,729	3,934	3,587	3,830	3,576

■情報基盤センターPC利用状況推移(PC設置数:611台／B21,B22,B23,B24,B25,B31,B38 PC室／ITcommons)

区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
利用者数		34,371	35,390	34,475	33,952	16,842	27,685	30,330	27,206	30,306	26,285
ログイン回数(延数)		371,624	399,088	330,996	324,720	85,172	217,943	262,005	206,706	222,326	197,555

■myFIT(学生ポータルサイト)利用状況

区分	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
利用者数(延数)		3,672,194	3,442,414	4,624,127	4,305,542	3,625,750	3,392,950	3,509,350	3,491,744

- 令和7年度にmyFITを活用した遠隔事業数:2,106(大学1,518、大学院323、短期大学部265)
- myFITスマートフォンアプリインストール数(令和7年4月18日現在):4,414(大学4,001、大学院147、短期大学部266)

■無線LAN整備状況(令和8年4月15日現在)

棟・教室等	AP設置数※	(うち、R7年度新規設置)
本部棟(図書館含む)	63	40
FITアリーナ	4	0
FITホール	10	0
A棟	58	5
B棟	47	0
C棟	24	2
D棟	20	0
E棟	17	13
F棟	2	0
α棟	4	0
合 計	249	60

※AP:アクセスポイント

■大学のデジタル化に係る設備状況(令和8年3月31日現在)

設備名等	構成、内容等
FIT-DX スタジオ (本部棟8階・インキュベーションスタジオ)	スタジオ大・小2室、配信機材、リモート操作カメラ、配信 PC、プロンプター 1式、データ保存・編集用 NAS及び仮設配信機材1式(持ち出し用仮設機器)、4K対応動画作成・編集 PC(デスクトップ 2式、ノート PC1式)、動画撮影用機材1式(4Kビデオカメラ、デジタル一眼レフカメラ、可搬式マイクと照明、その他撮影機材など)
学修支援システム	myFIT(Universal Passport RX及びGAKUEN EX)による授業運営及び学生生活に係る諸手続きのデジタル化、FIT-AIM(学習ポートフォリオ)、FIT Moodle(myFIT補完LMS)、myFIT学生用スマートフォンアプリ、WingNet(情報基盤センター PC室向け)
全学ライセンスソフトウェア	Microsoft 365 Education A5(一人:メールボックス(50GB)とOneDrive(1TB)による保存領域及びOffice及びTeams等を提供)、Microsoft Stream(授業動画等の動画配信システム)
教員ソフトウェア	Dropbox(容量無制限ネットワークストレージ/研究等プロジェクト利用)
学生貸出PC・Wi-Fiルーター	ノートPC:40台、モバイルWi-Fiルーター:20台
B棟・D棟ネットワーク	B棟・D棟の各研究室・実験室・講義室等の学内ネットワーク設備及びWi-Fiを最新機器に更新し、建屋間を20Gbpsで接続させ、各部屋まで最大10Gbpsのマルチギガビットに対応
B棟(情報マネジメント学科新設)	B棟8階の多目的室・実験室等のAVシステムを更新。学生の経営工学・データサイエンスに関する基礎知識・分析能力・問題解決能力を向上させる。
ファイアウォールシステム更新	世界トップを誇る次世代型高性能ファイアウォールシステムに更新し、サイバー攻撃から大学全体を防御しつつ、ネットワークセキュリティ対策レベルが向上
個別学習ボックス(附属図書館)	オンラインによる学習・就活・インターンシップ・各種試験に対応する防音機構を有するコワーキングスペース:8式
学生統合データベース	大学運営を高度化する、入試・学修成果・就職実績、授業及びカリキュラムの点検・評価の機能を有したデータベースシステム

■その他サポート状況(令和8年3月31日現在)

職種	部門長	専任職員※	特定嘱託	臨時職員	委託スタッフ	合計	備考
附属図書館(図書館員)	1	6	4	0	10	22	部門長:図書館長
情報基盤センター(情報技術員)	1				0		部門長:情報基盤センター長

※兼任含む

附属施設②(その他のラーニングサポート関係施設)

※R2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各施設の臨時閉館・利用制限及び遠隔授業実施等により、利用者が大幅に減少しています。

■社会連携センター受講者数推移

講座名	年度	R3		R4		R5		R6		R7	
		講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
資格取得支援講座		19	681	22	603	26	615	21	469	12	245
FIT講座		19	386	17	333	11	319	12	389	7	302
文化教養講座		97	788	95	800	80	800	72	732	60	638
合 計		135	1,855	134	1,736	117	1,734	105	1,590	79	1,185

※講座数は実開講数でカウントしています。

※資格取得支援講座に一般を含む。(講座数・受講者数)

※学部学科支援講座は含まない。

■令和7年度社会連携センターでの地方公共団体・産業界等と連携した生涯学習・社会人教育実施講座

区分	実施日	講座名	企業名等(敬称略)	受講者数
健康	令和7年6月13日	熱中症予防について/和白病院	福岡市社会福祉協議会	18
防災	令和7年10月7日	福岡市災害ボランティアセンター設置・運営訓練/福岡市社会福祉協議会	和白病院	15
金融	令和8年2月7日	資産運用という選択～老後豊かな生活をおくるために～/福岡銀行	和白病院	52

■モノづくりセンター利用者数推移

利用者区分	年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
学生プロジェクト		6,249	5,620	4,422	1,705	4,424	4,510	5,895	6,439	9,640
研究利用		534	672	624	400	709	534	478	460	473
授業(※)									1,416	1,774
一般利用		3,167	2,813	2,768	1,703	3,179	5,842	5,684	5,383	4,066
合 計		9,950	9,105	7,814	3,808	8,312	10,886	12,057	13,698	15,953

※R6より項目追加

課外活動

■令和7年度クラブ・サークル加入者数

クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数
【体育会本部】	563	サバイバルスポーツ同好会	39	モダンアート部	130
アイスホッケー部	18	シーズンスポーツ同好会	49	ロック部	37
弓道部	18	相撲同好会	8		
剣道部	13	タッチラグビー同好会	35	【文化同好会】	59
硬式テニス部	28	パワーリフティング同好会	17	FIT-ICE	10
硬式野球部	96	フットサルFANTASIA同好会	56	料理・スイーツ研究同好会	49
準硬式野球部	30	ソフトテニス	16		
少林寺拳法部	4			【文化愛好会】	46
女子柔道部	3	【体育愛好会】		釣り同好会	12
水泳競技部	5	e-sports愛好会	-	ビオトープ愛好会	5
卓球部	21			Communication Library	11
軟式野球部	50	【文化部】	860	野外活動サークル	-
ハンドボール部	27	All Round Music部	60	福工大企業部	18
バスケットボール部	25	音楽研究部	48		
バドミントン部	41	音響部	31		
男子バレーボール部	27	環境サークルオアシス部	38		
ラグビー部	79	競技麻雀部	37		
陸上競技部	5	写真部	114		
ダンス部	73	情報技術研究部	173		
		吹奏楽団	57		
【体育同好会】	271	フォークソング研究部	64		
アクションサッカー同好会	23	福工大アンプラグド部	32		
硬式テニス同好会	28	模型部	39		

加入者総数 1,799



弓道部



ラグビー部



吹奏楽団

令和8年度学費・徴収金

■大学院

(単位:円)

研究科	学年	入学金	授業料	学生諸費※	合計
工学研究科 (修士課程)	1年次	150,000	812,000	21,750	983,750
	2年次以降	-	812,000	-	812,000
工学研究科 (博士後期課程)	1年次	150,000	812,000	22,600	984,600
	2年次以降	-	812,000	-	812,000
社会環境学研究科	1年次	150,000	630,000	21,750	801,750
	2年次以降	-	630,000	-	630,000

※学生諸費の内訳:同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料 修士課程1,750円(秋季入学生2,600円)、博士後期課程2,600円(秋季入学生3,300円)

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

■大学

(単位:円)

学部	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
工学部 情報工学部	1年次	200,000	980,000	270,000	90,000	10,000	20,000	81,300	1,651,300
	2年次以降	-	980,000	270,000	90,000	10,000	20,000	-	1,370,000
社会環境学部	1年次	200,000	764,000	170,000	-	10,000	20,000	81,300	1,245,300
	2年次以降	-	764,000	170,000	-	10,000	20,000	-	964,000

※学生諸費の内訳:学生自治会費28,000円、教育後援会費20,000円、同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料3,300円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

■短期大学部

(単位:円)

学科	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
情報メディア学科	1年次	170,000	670,000	160,000	100,000	5,000	15,000	47,750	1,167,750
	2年次以降	-	670,000	160,000	100,000	5,000	15,000	-	950,000

※学生諸費の内訳:学友会費10,000円、教育後援会費6,000円、同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料1,750円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

■高等学校

(単位:円)

課程	学年	入学申込金	施設設備費	授業料	施設維持費	実習費	教育充実費	諸会費・積立金※	合計
普通科	1年次	40,000	220,000	456,000	69,600	-	78,000	120,000	983,600
	2年次以降	-	-	456,000	69,600	-	78,000	120,000	723,600
未来工学科	1年次	40,000	220,000	456,000	69,600	12,000	78,000	120,000	995,600
	2年次以降	-	-	456,000	69,600	12,000	78,000	120,000	735,600

※諸会費・積立金の内訳:生徒会費18,000円、同窓会費1,200円、PTA会費16,800円、積立金84,000円

積立金は、1年次4月～2年次2月は修学旅行積立金として、2年次3月～3年次5月は卒業積立金として徴収。以降は徴収しない。

その他の費用 PTA入会費:10,000円(入学年度のみ)、学年予納金(令和7年度1年生実績):普通科52,895円、未来工学科(旧電気科・電子情報科)54,395円等(各年度変動)等
詳細は高校のホームページ(<https://jyoto.fit.jp/zaikousei/tuition>)をご確認ください。

部分は12か月分納 教科書代が別途必要

奨学費

■令和7年度奨学費支出(福岡工業大学独自奨学金種別・設置校別)

(単位:千円)

奨学の趣旨	大学	短期大学部	高校	合計
学業奨励	107,817 (195名)	7,035 (17名)	35,348 (112名)	150,200 (324名)
課外活動奨励	70,980 (128名)		22,528 (82名)	93,508 (210名)
経済的事由対応	6,665 (33名)	1,132 (6名)		7,798 (39名)
経済的事由(留学生)	7,639 (24名)	2,010 (6名)		9,649 (30名)
国際交流支援	8,905 (22名)			8,905 (22名)
その他	2,325 (2名)	4,080 (34名)	5,613 (26名)	12,018 (62名)
合 計	204,332 (404名)	14,257 (63名)	63,490 (220名)	282,080 (687名)

■奨学費支出(福岡工業大学独自奨学金)経年推移

(単位:千円)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
学校										
福岡工業大学	206,702	213,593	215,747	210,086	229,138	192,347	188,157	195,519	197,312	204,332
福岡工業大学短期大学部	15,540	17,012	14,845	20,405	17,444	11,898	12,555	13,645	14,062	14,257
福岡工業大学附属城東高等学校	115,989	101,329	92,418	86,331	89,033	83,844	81,679	73,920	72,870	63,490
合 計	338,231	331,934	323,010	316,822	335,615	288,089	282,391	283,084	284,245	282,080

■修学支援費(国の高等教育修学支援新制度:授業料等減免費交付金)支出経年推移

(単位:千円)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7※
学校						
福岡工業大学	267,656	286,715	295,978	320,335	367,446	875,586
福岡工業大学短期大学部	27,824	31,236	34,449	33,281	33,556	42,610
合 計	295,480	317,951	330,427	353,616	401,002	918,196

※令和7年度より高等教育の修学支援新制度の拡充(多子世帯支援等)に伴う増加

学校法人の沿革(学校・学部・学科等設置、組織変更等)

■沿革

年月	学校、学部等の開設、名称変更等<当該趣旨>
昭和29年4月	福岡高等無線電信学校創設
昭和33年4月	学校法人福岡電波学園福岡電波高等学校開設
昭和35年4月	福岡電子工業短期大学開設
昭和38年4月	福岡電波学園電子工業大学開設、同工学部を設置
昭和41年4月	大学を「福岡工業大学」に、短期大学を「福岡工業短期大学」に改称
昭和48年9月	法人を「学校法人福岡工業大学」に改称
昭和49年8月	高校を「福岡工業大学附属高等学校」に改称
平成 5年4月	大学院工学研究科(修士課程)を設置
平成 9年4月	大学に「情報工学部」を設置
平成11年4月	大学院工学研究科(博士後期課程)を設置
平成13年4月	大学に「社会環境学部」を設置 高校を「福岡工業大学附属城東高等学校」に改称
平成14年4月	短期大学を「福岡工業大学短期大学部」に改称
平成17年4月	短期大学部電子情報システム学科を「情報メディア学科」に、OA情報システム学科を「ビジネス情報学科」に改称
平成19年4月	大学院社会環境学研究科(修士課程)を設置
平成21年4月	大学院工学研究科(修士課程)「機能材料工学専攻」を「生命環境科学専攻」に改組
平成22年4月	FD*1推進機構を設置 *1 Faculty Development
平成25年4月	改革推進室を経営企画室に改称<経営計画策定とその実現性向上> 国際交流支援室を国際戦略室に改称<国のグローバル戦略への適応>
平成26年4月	先端計測技術研究センターを設置<研究成果の地域社会への還元> 大学・地域連携推進室を設置<外部連携による地域発展への貢献>
平成27年4月	大学の入学定員を830名から915名(工学部380名・情報工学部375名・社会環境学部160名)に変更 <学生定員の実質化(志願者ニーズへの適応)> 教養力育成センターを設置<教養教育の見直しとその教育方法等改善>
平成28年4月	物質・エネルギーデバイス研究センターを設置<研究成果の地域社会への還元> 学長室を設置<学長を中心とした教学ガバナンス強化> 大学院工学研究科(修士課程)「管理工学専攻」を「情報システム工学専攻」と「システムマネジメント専攻」に改組
平成29年8月	エレクトロニクス研究所インキュベーションスタジオ2を設置<研究の高度化・活発化への対応> 同研究所食品農医薬品研究センター研究活動開始(研究7テーマの選定)
平成29年11月	情報科学研究所電磁波計測センターおよびインキュベーションスタジオ3を設置<研究の高度化・活発化への対応> 環境科学研究所あまみず社会研究センターを設置<研究の高度化・研究成果の地域社会への還元>
平成30年1月	インキュベーションスタジオ1を設置<研究の高度化・活発化への対応>
平成30年4月	大学工学部「生命環境科学科」を「生命環境化学科」に改称
平成31年4月	大学院工学研究科(修士)「生命環境科学専攻」を「生命環境化学専攻」に改称
令和2年4月	短期大学部に「情報メディア学科」を設置
令和5年4月	教育開発推進機構、社会連携センターを設置
令和6年4月	大学情報工学部に「情報マネジメント学科」を設置 大学の入学定員を915名から940名(工学部380名・情報工学部400名・社会環境学部160名)に変更 <学生定員の実質化(志願者ニーズへの適応)>

■校地・校舎概要 (学園全体の校地面積：234,346㎡、同校舎面積：132,883㎡)

建物名	主な設備、用途	延床面積(㎡)	建築年
A棟	クリーンルーム、学生ホール、ラーニングコーナー、売店、講義室27、演習室14、実験室16、研究室79、卒研室34	18,360	平成13年
B棟	情報基盤センター、レストラン、コンビニ、保健室、カウンセリング室、講義室19、演習室11、実験室11、研究室44、卒研室22、インキュベーションスタジオ1	18,842	平成16年
C棟	地下ホール(収容人数300人)、学生ホール、レストラン、書店、ギャザリングサイト、講義室8、実験室9、研究室27、卒研室24、セミナー室2、ラーニングコーナー	10,303	平成3年
D棟	工作センター、講義室14、実験室7、研究室25、卒研室24、演習室2、製図室1、ゼミ室2、ラーニングコーナー	8,504	平成16年
E棟	学生サポートセンター、学習支援センター、アクティブラーニングエリア、研究所、総合研究機構、教育開発推進室、オープンラボ、講義室、会議室	6,884	平成28年
F棟	インキュベーションスタジオ2、研究スペース4	780	平成29年
α棟	モノづくりセンター、グローバルスチューデントラウンジ、ラーニングスペース、多目的ホール(収容人数146人)	1,750	平成11年
本部棟	FIT Link(図書館)、社会連携センター、次世代マイクロ/ナノ金型開発センター、インキュベーションスタジオ3、事務局、FIT-DXスタジオ、講義室5、演習室2、ラボ4、研究室16、ラーニングスペース	12,735	昭和61年
FITアリーナ	シンフォニーホール(収容人数2,400人)、運動施設	5,470	平成12年
FITホール	多目的ホール(収容員数1,000人)、会議室、セミナー室	3,612	平成23年
坦心寮	男子寮(部屋数198、収容人数240人)	6,556	平成15年
コスモス寮	女子寮(部屋数66、収容人数90人)	3,833	平成5年
国際交流会館	留学生寮(部屋数28、収容人数56人)	1,102	平成4年
附属城東高校1号館	J-STEP、放送室、職員室、研修室3、ミーティングルーム4	2,544	令和2年
附属城東高校2号館	校長室、事務室、保健室、スクールカウンセリング室、職員研修室、書道室、理科室2、音楽室、LL教室、家庭科室、キャリアサポートセンター、生徒相談室、教室35、特別教室、図書室、視聴覚教室、生徒会室、売店	15,364	昭和61年
附属城東高校3号館	工業科準備室、工業科実習室14、コンピュータ室4、普通教室18、特別教室4		
附属城東高校4号館	吹奏楽練習場、多目的ホール、部室	1,236	平成12年
附属城東高校体育館	メインフロア(収容定員数2,300人)、柔道場、剣道場、空手道場、男女更衣室、トレーニング室、多目的スペース2	7,526	令和2年
連絡歩道橋	連絡通路(1号館・体育館間)	10	令和3年
上善荘	調理室、実習室、茶室、宿泊室、セミナー室、多目的室	906	平成16年
和白グラウンド	高校部活動用地他	32,297	昭和37年
新宮総合グラウンド	野球場、多目的グラウンド、他運動施設	40,655	昭和62年
塩浜総合グラウンド	野球場、室内練習場、多目的グラウンド、トレーニング棟	38,188	平成23年
FITアリーナWESTコート	スポーツコート、相撲場	2,308	平成27年
FITセミナーハウス	課外研修・宿泊施設	1,310	平成24年

財務状況

■資金収支計算書

収入の部

(単位:千円)

科 目	R5年度	R6年度	R7年度
学納金収入	6,861,578	7,049,048	7,133,124
手数料収入	131,897	123,193	144,889
寄付金収入	57,966	59,749	78,978
補助金収入	1,837,106	1,831,769	2,439,825
資産売却収入	100,000	300,000	894,560
付随事業・収益事業収入	305,006	273,951	312,032
受取利息・配当金収入	144,067	149,993	163,573
雑収入	300,872	413,427	214,304
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,217,857	1,274,550	1,385,148
その他の収入	232,560	329,886	364,368
資金収入調整勘定	△ 2,484,620	△ 2,556,050	△ 1,483,225
前年度繰越支払資金	1,126,338	1,785,946	960,577
収入の部合計	10,830,628	11,035,463	12,608,153

支出の部

(単位:千円)

科 目	R5年度	R6年度	R7年度
人件費支出	4,996,445	5,208,316	4,955,801
教育研究経費支出	2,502,518	2,615,901	3,206,713
管理経費支出	581,675	578,478	627,208
借入金等利息支出	620	0	0
借入金等返済支出	200,000	0	0
施設関係支出	177,743	655,668	1,031,849
設備関係支出	433,607	779,987	553,220
資産運用支出	98,556	501,985	0
その他の支出	423,350	438,377	750,431
資金支出調整勘定	△ 369,834	△ 703,824	△ 574,169
翌年度繰越支払資金	1,785,946	960,577	2,057,099
支出の部合計	10,830,628	11,035,463	12,608,153

■活動区分資金収支計算書

(単位:千円)

	科 目	R5年度	R6年度	R7年度
教育活動による資金収支	収入			
	学納金収入	6,861,578	7,049,048	7,133,124
	手数料収入	131,897	123,193	144,889
	特別寄付金収入	57,936	59,749	68,978
	一般寄付金収入	30	0	0
	経常費等補助金収入	1,709,170	1,792,308	2,388,039
	付随事業収入	305,006	273,951	312,032
	雑収入	300,872	413,427	214,304
	教育活動資金収入計	9,366,489	9,711,677	10,261,366
	支出			
	人件費支出	4,996,445	5,208,316	4,955,801
	教育研究経費支出	2,502,518	2,615,901	3,206,713
	管理経費支出	581,675	578,478	627,208
	教育活動資金支出計	8,080,638	8,402,694	8,789,723
	差引	1,285,851	1,308,983	1,471,643
	調整勘定等	△ 20,904	△ 1,094,987	449,203
	教育活動資金収支差額	1,264,947	213,996	1,920,846
施設整備等活動による資金収支	収入			
	施設設備寄付金収入	0	0	10,000
	施設設備補助金収入	127,936	39,461	51,787
	施設整備等活動資金収入計	127,936	39,461	61,787
	支出			
	施設関係支出	177,743	655,668	1,031,849
	設備関係支出	433,607	779,987	553,220
	教育設備引当特定資産繰入支出	0	0	0
	施設整備等活動資金支出計	611,350	1,435,655	1,585,069
	差引	△ 483,414	△ 1,396,194	△ 1,523,282
	調整勘定等	△ 48,622	446,110	△ 325,698
	施設整備等活動資金収支差額	△ 532,036	△ 950,085	△ 1,848,980
	小計	732,910	△ 736,089	71,866
その他の活動による資金収支	収入			
	有価証券売却収入	100,000	300,000	894,560
	預り金収入	38,717	0	0
	仮受金収入	0	0	0
	保証金回収・仮払金収入・預託金	0	0	1,310
	修学旅行預け金受入収入	20,887	31,814	24,865
	小計	159,604	331,814	920,736
	受取利息・配当金収入	144,067	149,993	163,573
	その他の活動資金収入計	303,671	481,807	1,084,309
	支出			
	借入金等返済支出	200,000	0	0
	有価証券購入支出	98,556	501,985	0
	保証金・預託金・立替金支出	187	0	1,258
	預り金支出	0	24,801	28,610
	仮受金支出	14,998	10,829	5,516
	仮払金支出	30,798	1,380	0
	修学旅行預け金支払支出	31,814	24,865	24,269
	小計	376,353	563,860	59,652
	借入金等利息支出	620	0	0
	その他の活動資金支出計	376,973	563,860	59,652
	差引	△ 73,302	△ 82,053	1,024,656
	調整勘定等	0	△ 7,228	0
	その他の活動資金収支差額	△ 73,302	△ 89,281	1,024,656
	支払資金の増減額	659,608	△ 825,370	1,096,523
	前年度繰越支払資金	1,126,338	1,785,946	960,577
	翌年度繰越支払資金	1,785,946	960,577	2,057,099

はじめに

教育・研究・社会連携活動の成果

経営・財務の概要

ファシリテートの概要

バックデータ集

■事業活動収支計算書

(単位:千円)

教育活動収支	科 目		R5年度	R6年度	R7年度
	収入	学納金	6,861,578	7,049,048	7,133,124
		手数料	131,897	123,193	144,889
		寄付金	58,220	62,186	69,067
		経常費等補助金	1,709,170	1,792,308	2,388,039
		付随事業収入	305,006	273,951	312,032
		雑収入	277,801	344,212	206,825
		教育活動収入計	9,343,673	9,644,898	10,253,976
支出	人件費	4,976,499	5,133,482	4,932,128	
	教育研究経費	3,855,058	3,969,765	4,697,357	
	管理経費	660,649	659,521	708,465	
	徴収不能額等	0	0	0	
	教育活動支出計	9,492,206	9,762,768	10,337,950	
	教育活動収支差額	△ 148,533	△ 117,869	△ 83,974	
教育活動外収支	科 目		R5年度	R6年度	R7年度
	収入	受取利息・配当金	139,268	146,142	160,572
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	139,268	146,142	160,572
		支出	借入金等利息	620	0
	その他の教育活動外支出		0	0	0
	教育活動外支出計		620	0	0
	教育活動収支差額		138,648	146,142	160,572
経常収支差額	△ 9,885	28,273			
特別収支	科 目		R5年度	R6年度	R7年度
	収入	資産売却差額	0	0	448,246
		その他の特別収入	168,439	85,822	92,554
		特別収入計	168,439	85,822	540,800
		支出	資産処分差額	3,338	260
	その他の特別支出		0	0	279,200
	特別支出計		3,338	260	343,659
	特別収支差額		165,100	85,561	197,141
	基本金組入前当年度収支差額	155,215	113,834	273,739	
	基本金組入額合計	△ 183,676	△ 749,613	△ 310,375	
当年度収支差額	△ 28,461	△ 635,779	△ 36,636		
前年度繰越収支差額	△ 14,436,869	△ 14,444,509	△ 15,076,833		
基本金取崩額	20,821	3,455	0		
翌年度繰越収支差額	△ 14,444,509	△ 15,076,833	△ 15,113,469		
(参考)					
事業活動収入計			9,651,380	9,876,862	10,955,347
事業活動支出計			9,496,165	9,763,028	10,681,609

■貸借対照表 (各年度3月31日現在)

資産の部

(単位:千円)

科 目	R5年度	R6年度	R7年度
固定資産	34,491,861	34,737,004	34,268,016
有形固定資産	25,870,273	25,699,519	25,760,948
土地	3,557,485	3,614,981	3,634,787
建物	15,719,258	15,645,126	15,245,843
構築物	2,071,352	1,941,581	1,777,668
教育研究用機器備品	3,043,951	3,019,451	2,800,147
管理用機器備品	224,848	200,331	226,574
図書	1,241,007	1,256,196	1,268,012
車両	12,371	21,853	64,786
建設仮勘定	0	0	743,131
特定資産	6,100,000	6,100,000	6,100,000
第3号基本金引当特定資産	1,500,000	1,500,000	1,500,000
退職給与引当特定資産	1,500,000	1,500,000	1,500,000
施設拡充引当特定資産	2,600,000	2,600,000	2,600,000
教育設備引当特定資産	500,000	500,000	500,000
その他の固定資産	2,521,588	2,937,485	2,407,068
借地権	19,805	19,805	0
電話加入権	5,157	5,157	0
施設利用権	3,115	2,533	1,952
預託金	24,944	24,944	25,033
保証金	187	187	1,168
ソフトウェア	37,722	258,342	202,022
長期前払金	2,584	309	0
有価証券	2,428,074	2,626,209	2,176,893
流動資産	2,183,189	1,393,403	2,355,667
現金預金	1,785,946	960,577	2,057,099
未収入金	298,072	338,193	208,674
修学旅行預け金	31,814	24,865	24,269
前払金	33,168	34,200	31,179
仮払金	34,188	35,568	34,445
資産の部合計	36,675,050	36,130,407	36,623,683

負債の部

(単位:千円)

科 目	R5年度	R6年度	R7年度
固定負債	1,592,242	1,597,507	1,591,823
長期借入金	0	0	0
長期未払金	4,639	15,523	21,073
退職給与引当金	1,587,603	1,581,984	1,570,750
流動負債	2,940,925	2,277,183	2,502,404
短期借入金	0	0	0
未払金	344,714	659,908	534,419
前受金	2,217,857	1,274,550	1,385,148
預り金	345,651	320,850	292,240
仮受金	32,703	21,874	16,359
			274,240
負債の部合計	4,533,166	3,874,690	4,094,227

純資産の部

(単位:千円)

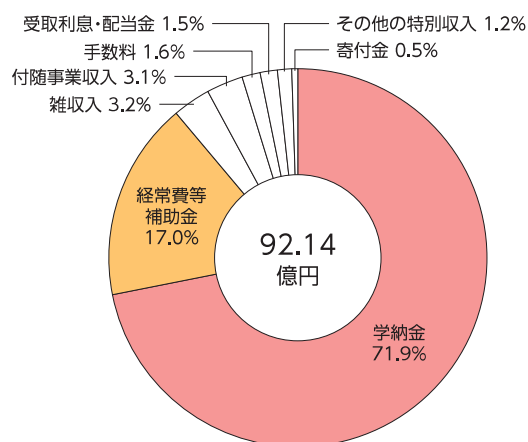
科 目	R5年度	R6年度	R7年度
基本金	46,586,392	47,332,550	47,642,925
第1号基本金	44,482,392	45,228,550	45,538,925
第3号基本金	1,500,000	1,500,000	1,500,000
第4号基本金	604,000	604,000	604,000
繰越収支差額	△ 14,444,509	△ 15,076,833	△ 15,113,469
翌年度繰越収支差額	△ 14,444,509	△ 15,076,833	△ 15,113,469
純資産の部合計	32,141,883	32,255,717	32,529,456

負債及び純資産の部合計	36,675,050	36,130,407	36,623,683
-------------	------------	------------	------------

財務構造(事業活動収入・支出の5年比較)

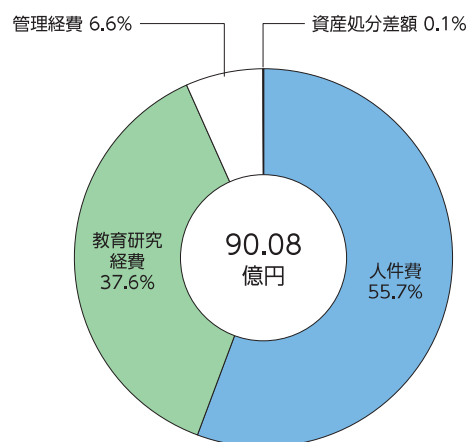
■収入

R3年度事業活動収入

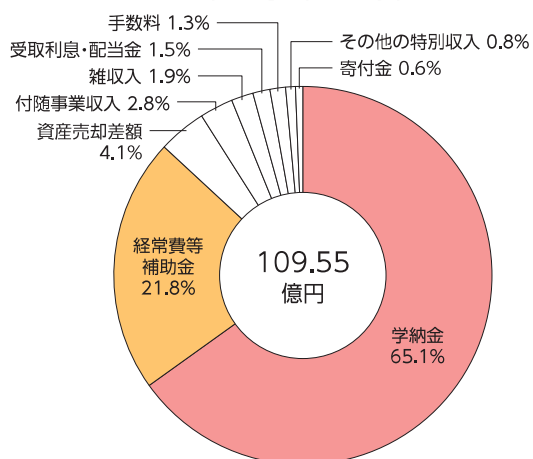


■支出

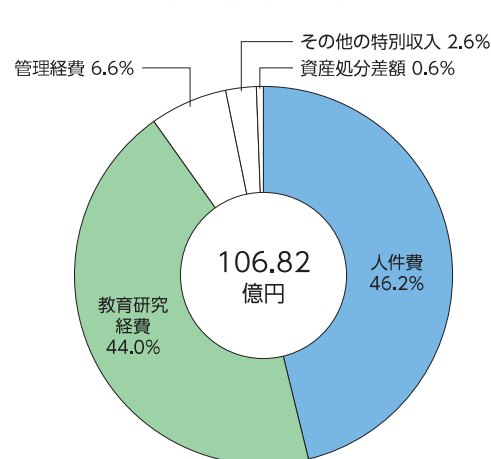
R3年度事業活動支出



R7年度事業活動収入



R7年度事業活動支出



収入

(単位:千円)

科 目	R3年度	R7年度	対比
学納金	6,622,937	7,133,124	510,187
手数料	144,163	144,889	726
寄付金	48,594	69,067	20,473
経常費等補助金	1,566,655	2,388,039	821,384
付随事業収入	287,669	312,032	24,363
雑収入	297,955	206,825	△ 91,130
受取利息・配当金	134,073	160,572	26,499
その他の教育活動外収入	0	0	0
資産売却差額	0	448,246	448,246
その他の特別収入	112,358	92,554	△ 19,804

(参考)

事業活動収入計	9,214,404	10,955,347	1,740,943
---------	-----------	------------	-----------

支出

(単位:千円)

科 目	R3年度	R7年度	対比
人件費	5,015,365	4,932,128	△ 83,237
教育研究経費	3,388,164	4,697,357	1,309,193
管理経費	595,186	708,465	113,279
徴収不能額等	0	0	0
借入金等利息	1,860	0	△ 1,860
その他の教育活動外支出	0	0	0
資産処分差額	7,242	64,459	57,217
その他の特別支出	0	279,200	279,200

(参考)

事業活動支出計	9,007,817	10,681,609	1,673,792
---------	-----------	------------	-----------

学校法人福岡工業大学

「FIT学生サポート寄付金」について

「学生の夢を紡ぎ、卒業生の思いを学生に繋ぎ、結実させる」ことを目指し、「FIT学生サポート寄付金」を設けています。この寄付金は、学生の自主的・自律的な活動を幅広く支援するものです。令和5年2月の創設以来、これまで476件、総額1405万円(令和7年度末実績)もの温かいご寄付を賜り、教職員一同、心より感謝申し上げます。

皆さまからのご支援は、経済的な理由で修学が困難な学生へのサポートはもとより、日々の教育・研究活動、スポーツや芸術分野での活躍、国際交流の機会創出、そして充実した学生生活全般に至るまで、学生たちの挑戦と成長を力強く後押ししています。この貴重なご寄付は、未来を拓く知力・体力・感受性豊かな人材育成へと着実に繋がっています。

これからも、学生が安心して学び、それぞれの夢を心ゆくまで追いかけられる環境整備に尽力してまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 寄付金名称

学校法人福岡工業大学「FIT学生サポート寄付金」

2. 募集期間

随時

3. 寄付金の主な用途

- ①経済的な理由で修学困難な学生への支援
- ②優秀な学生の諸活動の支援
- ③スポーツ・芸術分野の課外活動(強化部)への支援
- ④学生の国際交流に関する支援
- ⑤その他、学生の教育・研究、課外活動、生活全般に関する支援(理工系女子学生支援を含む)

4. 口数・金額

個人：1口3,000円(1口以上、口数制限なし)

法人・団体：1口の金額の定めなし

5. 税法上の優遇措置

個人：確定申告での、寄付金控除(「税額控除制度」、「所得控除制度」)による
税の還付等

◇本学は、令和7年7月1日付で、文部科学省から

「税額控除対象法人(特例要件)」として認められました。

法人・団体：「受配者指定寄付金(全額損金算入可能)」または

「特定公益増進法人への寄付金」から選択

寄付者ご芳名一覧（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

令和7年度にご寄付をいただいた方々のご芳名をここに記載いたします。

ご支援を賜りました皆様に改めて感謝申し上げます。

なお、寄付者情報の公表を辞退された方は匿名といたしました。

👑「FIT学生サポート寄付金」 104件

（五十音順）

個人

ア行

安部 弘彦様
碓屋 秀俊様
池上 則洋様
石黒 佳一郎様
井手 一彦様
稲光 大司郎様
井上 慶太様
今林 収平様
今林 勇雄様
岩元 大樹様
岩本 良平様
瓜生 英彦様
大久保 孝雄様
大谷 忠彦様
大塚 政廣様
尾畑 直樹様

カ行

笠間 範一様
片野 泰行様
金子 和之様
金縄 政美様
河本 昂己様
川本 建久様
菊田 裕一様
北崎 訓様
北代 茂敏様

楠本 莞爾様
楠本 誠一郎様
久世 悟様
五嶋 辰男様
小柳 辰生様

サ行

佐藤 定利様
嶋田 謙一様
下芝 義明様
城座 和子様
杉元 年久様
専田 裕之様

タ行

高嶋 直樹様
滝石 義礼様
武井 功司郎様
多田 勝彦様
田中 将朗様
田中 祐紀様
田中 睦教様
千馬 幸士郎様
土山 亨様
堤 太祐様
寺川 邦明様
鳥谷 貞之様

ナ行

永溪 弘幸様

長妻 秀憲様
中村 守様
鍋岡 信彦様
西岡 隆史様

ハ行

萩田 寛司様
波多野 信弘様
馬場 国広様
馬場 孝治様
林田 一誠様
廣中 悦郎様
藤田 哲彦様

マ行

前本 浩昭様
槇 一彦様
牧山 典彦様
松田 吉加様
三栗野 敬介様
宮内 博文様
宮本 豊様
森下 繁宏様
森田 明様
盛田 光範様

ヤ行

社田 次生様
矢野 文隆様
山崎 和男様

山崎 俊至様
山下 勝巳様
山中 竜司様
山本 俊平様
山本 益幹様
由留木 達夫様
由川 文年様
吉森 和幸様
他 匿名19名

法人・団体

三桜電気工業株式会社 様
和鉄インターテック株式会社 様

NC東米会 様
同窓会熊本県支部 様

Greetings

ごあいさつ

皆様には、平素より本学園の教育・研究活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学園は「For all the students ～すべての学生生徒のために～」の経営理念のもと、学生生徒一人ひとりに寄り添うきめ細やかな支援を継続し、近年では「面倒見がよい大学」「採用を増やしたい大学」など、高い評価をいただくに至っております。

この度、急速に変化する現代社会に対応した質の高い学びの環境を整備し、グローバルに活躍できる理工系人材育成をいっそう推進するため、『FITサポート寄付金』を立ち上げ、皆様からの温かいご支援をお願いする運びとなりました。

何卒、本事業の趣旨をご理解いただき、未来を担う学生生徒への温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



学校法人福岡工業大学
理事長 大谷 忠彦

Donation for Educational Support

修学支援寄付

学生の自主自立的な諸活動をサポートするための資金として活用します。実社会の荒波を乗り越えて進むことのできる、知力・体力に優れ感受性に富んだ人材の育成に役立てて参ります。



経済的困窮学生の 支援

経済的に厳しい状況にある学生の支援に活用させていただきます。



優秀(学業・研究等)な 学生への支援

学業や研究において優れた成果を挙げている学生への支援に活用させていただきます。



強化クラブへの 支援

強化クラブ(硬式野球部・ラグビー部、女子柔道部、吹奏楽団)の支援に活用させていただきます。

Fundraising theme

テーマ募金

本学園の中期経営計画『長期VISION2025-2035』に基づき設定した「8つのテーマ募金事業」に活用させていただきます。これにより、学生たちが自らの可能性を広げ、知性・体力・感性を兼ね備え、未来の社会を牽引する人材を育成することを目指してまいります。

テーマ 01



大学

福岡から世界へ羽ばたく 実践型人材の育成

支援分野 教育・ダイバーシティ

目標金額 1,000万円

世界で活躍する人材を育てるため、全学生に留学機会を提供し、デジタル力や専門力を高める教育を推進します。多様性を尊重した教育環境で、学生の自律的な成長を支えます。

テーマ 02



大学

九州をリードする 研究成果の創出

支援分野 研究・産学連携

目標金額 1,500万円

地域社会の発展に貢献する革新的研究を推進し、企業・自治体と連携して社会実装を加速させます。大学発スタートアップの創出にも取り組み、地域と共に新たな価値を生み出します。

テーマ 03



大学

就職力日本一

支援分野 就職・学生生活

目標金額 1,000万円

「就職力日本一」を目指し、学生一人ひとりの夢や希望に寄り添った個別支援と充実したキャリア教育を展開します。実践力と自信を育み、地域経済に貢献する人材を輩出します。

テーマ 04



大学

グローバル化・ 社会連携の推進

支援分野 国際化・地域社会連携

目標金額 1,000万円

グローバル教育プログラムを推進し、国際的な視野をもつ人材を育成します。リカレント・リスキリング教育や地域課題の解決にも取り組み、地域と共に発展する学園を目指します。

テーマ 05



大学

広報および募集活動の 戦略的展開

支援分野 教育・学生生活

目標金額 500万円

教育・研究活動の成果や地域貢献活動を広く発信し、地域社会から選ばれ続ける学園を目指します。戦略的な広報により、多様な学生の入学と人材育成の基盤を強化します。

テーマ 06



短大

短期大学部・新たなステージ に向けた基盤強化

支援分野 教育・学生生活

目標金額 500万円

「日本一活力のある短大」を目指し、デジタル技術を活用した教育と環境整備を進めます。地域に貢献できる人材の育成と、教育・研究活動の質の向上に取り組みます。

テーマ 07



高校

城東高校の特色ある 教育の再構築と実施

支援分野 教育・学生生活

目標金額 500万円

「福岡県で最も入学したい私立高校」を目指し、生徒一人ひとりの個性を尊重した教育と進路支援を充実させます。地域に愛され、未来へ羽ばたく力を育む学校づくりを進めます。

テーマ 08



法人

財政基盤の安定と 組織ガバナンスの強化

支援分野 学生生活

目標金額 1,000万円

持続可能な学園運営のため、健全な財政基盤と透明性ある組織体制を整えます。教職協働による信頼される学園づくりを通じて、学生・ご父母等・地域社会の期待に応えます。

上記テーマ以外にも、寄付者の皆さまのご希望に応じた「個別の指定寄付」や、大学の教育・研究活動全般に活用させていただく「使途の指定のない寄付」も承っております。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

ご寄付のお申し込み方法のご案内

1 金融機関の窓口からのお申し込み

本学指定の払込取扱票を利用頂き、銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）の窓口よりお手続き可能です。

※払込取扱票につきましてはFITサポート寄付金ホームページの「振込での申込み」よりお申し込み頂いた方に本学より送付致します。

2 インターネットでのお申込み

（R7年12月より利用可能）

FITサポート寄付金ホームページの「インターネットでの申込み」よりお手続き可能です。

クレジットカード・インターネットバンキング決済（ペイジー）・コンビニ決済の利用が可能です。



申し込みはコチラ

税制優遇措置について

個人の皆さま

（1）所得税の寄付金控除

本学は、文部科学省から「特定公益増進法人」として認定されており、寄付金控除の対象となる証明書の交付を受けております。ご寄付いただいた方は、翌年の確定申告期間に所轄の税務署で申告を行うことで、所得税の還付を受けることが可能です。確定申告の際には、「税額控除制度」または「所得控除制度」のいずれかを選択いただけますので、より高い免税効果が得られる制度をご利用ください。

〈税額控除制度〉

税額控除制度では、寄付金額から2,000円を差し引いた金額の40%が、所得税から直接差し引かれる控除対象となります。税率に左右されず、寄付金額をもとに算出された控除額がそのまま税額から差し引かれるため、少額のご寄付でも高い減税効果が得られるのが特徴です。

$$\begin{array}{|c|c|c|c|c|} \hline \text{寄付金の額} & - & 2,000\text{円} & \times & 40\% \\ \text{(上限: 所得金額等の40\%)} & & \text{(適用最下限)} & & \text{(控除率)} \\ \hline & & & = & \text{減税額} \\ & & & & \text{(上限: 所得税額の25\%)} \\ \hline \end{array}$$

※寄付金額（総所得金額等の40%が限度）から2,000円を差し引いた額の40%を所得税額から控除（所得税額の25%が限度）

〈所得控除制度〉

所得控除制度では、寄付金額が所得から差し引かれた後に、適用される所得税率を掛けて控除額が決まるため、所得税率が高い方ほど減税効果が大きくなります。

$$\begin{array}{|c|c|c|c|c|} \hline \text{寄付金の額} & - & 2,000\text{円} & \times & 5\sim45\% \\ \text{(上限: 所得金額等の40\%)} & & \text{(適用最下限)} & & \text{(個人所得税率)} \\ \hline & & & = & \text{減税額} \\ \hline \end{array}$$

※寄付金額（総所得金額等の40%が限度）から2,000円を差し引いた額を当該年度の課税所得から控除

（2）個人住民税の寄付金税額控除（本学を条例で指定した地方公共団体のみ）

本学は福岡県・福岡市の指定を受けており、住民税の控除が適用されます。ご寄付の翌年1月1日に福岡県または福岡市にお住まいの方は、個人住民税の控除対象となります。

寄付金控除の手続き

ご寄付が本学に入金されましたら、「寄付金領収書」、「特定公益増進法人であることの証明書（写）」、「税額控除に係る証明書（写）」をお送りいたします。

1. 上記の書類を添えて確定申告を行ってください。 2. 確定申告のご相談は最寄りの税務署へお問合せください。

法人・団体の皆さま

この寄付金は、法人税法による減免税の措置を受けることができます。

（1）受配者指定寄付金

法人の皆さまには、日本私立学校振興・共済事業団（以下「私学事業団」）を通じて本学へのご寄付をいただく制度がございます。この制度を利用いただくと、寄付金は決算時に全額損金算入できます。必要な手続きや「寄付金受領書」の発行は本学が窓口となって対応いたします。

決算期にご注意ください

決算日までに損金算入を希望される場合は、予めご相談の上最低1ヶ月前までに、お申し込みとご送金を完了してください。特に、決算期は私学事業団の処理が混み合います。寄付金受領日は私学事業団の口座に入金された日となるため、決算

期をまたぐと損金算入が認められない可能性がありますので、十分な余裕をもってお手続きください。必要書類の様式や記入方法は、経理課までお問い合わせください。

（2）特定寄付金

本制度は、損金算入限度額の範囲内で、私学事業団を経由せずに本学へ直接ご寄付いただくものです。該当の寄付金は、一般寄付金の損金算入限度額とは別枠で損金に算入することが可能です。損金算入に必要な「寄付金受領書」および「特定公益増進法人であることの証明書（写）」は、ご入金が確認でき次第お送りします。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。皆さまからの温かいご支援を心よりお待ちしております。

学会表彰・学生表彰の皆さん (詳細はP37・38を参照)



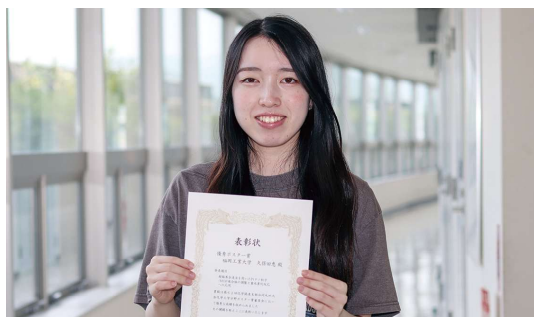
池田 鷹飛さん



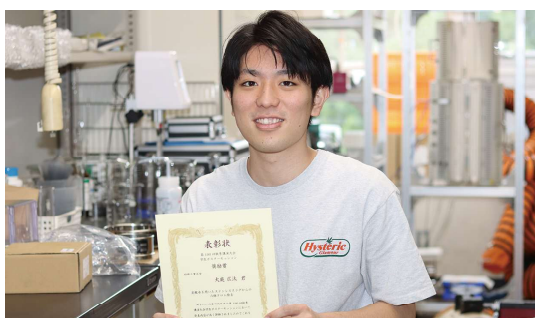
織田 竜次さん



岩谷 光さん



久保田 恵さん



大庭 広汰さん



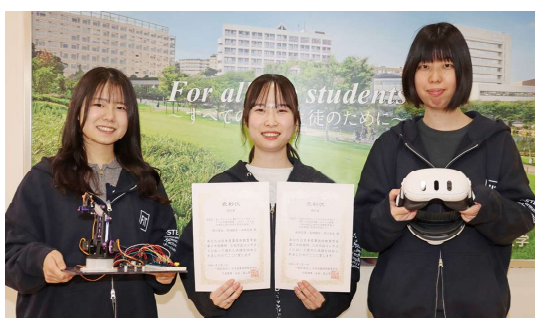
瀬利 勇太さん



鬼木 健二郎さん



山本 一輝さん



i-STEAM教材開発グループ
原口 芽生さん・尾畑 優衣さん・水田 志保さん



ロボコンプロジェクト 第15回キャチロボバトルコンテスト参加チーム

表紙デザインコンセプト

5本のラインが、学園の連携と未来への広がりを描く。



大学4学部のカラーに城東高校のブルーを加えた5本のラインで構成。大学各学部・設置校がそれぞれの特色を持ちながら連携し、教育・研究の取り組みが未来へ広がっていく姿を表現しています。

DESIGN POINT



① 5色で、学園の個性を可視化

大学4学部のカラーに城東高校のブルーを加え、多様な学びと学園全体の一体感を表現しています。

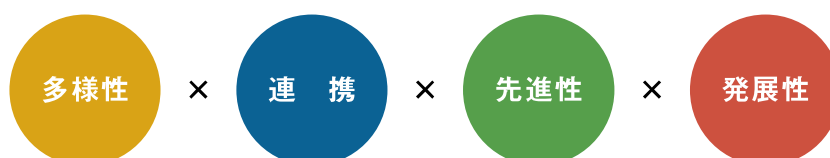
② 交差が生む、ひとつの流れ

それぞれのラインが交わりながら進む姿に、大学各学部・設置校が特色を活かして連携する様子を重ねています。

③ 未来へ伸びる、直線の構成

直線的でシンプルな表現により、福岡工業大学らしい先進性と発展性、教育・研究が未来へ広がる力を印象づけます。

DESIGN KEYWORDS



教育・研究活動報告書(取組成果のご報告) アンケート

お手数ですが、下記の質問項目にご記入のうえ、FAXもしくは本学IRプロジェクト宛ご郵送ください。
(QRコードからも回答が可能です)該当する箇所に☑を記入してください。



I. この報告書をご覧になってどう感じになりましたか。

☐十分に満足 ☐満足 ☐やや不満足 ☐非常に不満足
(理由：)

II. 報告書の構成についてどう感じになりましたか。

- ◆ 情報公表の度合い： ☐十分に満足 ☐満足 ☐やや不満足 ☐非常に不満足 (理由：)
- ◆ わかりやすさ： ☐十分に満足 ☐満足 ☐やや不満足 ☐非常に不満足 (理由：)
- ◆ 内容の充実度： ☐十分に満足 ☐満足 ☐やや不満足 ☐非常に不満足 (理由：)
- ◆ 読みやすさ： ☐十分に満足 ☐満足 ☐やや不満足 ☐非常に不満足 (理由：)
- ◆ ページ数： ☐ちょうどよい ☐多すぎる ☐少なすぎる (理由：)

III. この報告書の内容のうち、特に評価できるページや興味を持ったページをチェックしてください。 (3つまで選択してください)

- | | | |
|---|--|--|
| ☐ ごあいさつ(P1) | ☐ さあ、未踏の知へ。(改組広報)(P3) | |
| ☐ マスタープランの取組状況・成果の概要(P5) | ☐ 教育改革・改善の取組(P7) | ☐ 大学院の取組(P9) |
| ☐ 研究高度化(P11) | ☐ 就職力高度化(P13) | ☐ グローバル化の推進(P15) |
| ☐ 社会連携の推進(P17) | ☐ 学生募集力強化(P19) | ☐ 短期大学部の取組(P21) |
| ☐ 附属城東高校の取組(P23) | ☐ 財政基盤の安定(P25) | ☐ 学校運営に対する外部評価(P27) |
| ☐ 諸活動の具体的な外部評価(P29) | ☐ ファシリティの概要(P31) | ☐ バックデータ集(P37～) |

IV. この報告書は本学のイメージアップに繋がると思われますか。

☐思う ☐どちらともいえない ☐思わない(理由：)

V. 今後の学園運営に反映させたいと存じますので、この報告書に対するご感想・ご要望や、本学の取組に対する忌憚のないご意見をお聞かせください。

VI. あなたのプロフィールについてお聞かせください。

性別： ☐男性 ☐女性
年代： ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代以上

VII. この報告書をどのような立場でお読みになりましたか。

☐在学生 ☐卒業生 ☐在学生のご父母等 ☐卒業生のご父母等 ☐中学生・高校生の保護者 ☐中学生・高校生
☐行政機関 ☐企業 ☐報道関係者 ☐教員・塾・予備校講師 ☐他大学関係者 ☐地域住民 ☐その他()

※お預かりした個人情報及びアンケート内容はご本人の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。

送付先 〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30-1 福岡工業大学IRプロジェクト宛
FAX:(092)606-8923・TEL:(092)606-0619

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください

福岡工業大学『令和8年度教育・研究活動報告書(令和7年度取組成果のご報告)』をお読みいただきありがとうございます。

本学では、ご支援いただいております皆さまに広く情報公表を行い、コミュニケーションを重ね、学園の諸活動をいっそう磨き高めたいと考えております。

『教育・研究活動報告書』を通じ、取組実績やそれらの外部評価について皆さまにご理解いただけるようこれまでも努めてまいりましたが、まだ課題も多く残されていると考えております。

お手数ではございますが、下記のQRコード(または、アンケート用紙)からアンケート(回答時間5~10分)にお進みいただき、ご回答くだされば幸甚に存じます。



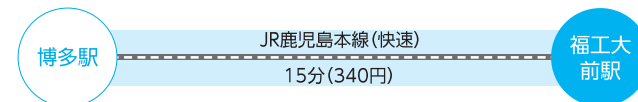
※お預かりした個人情報及びアンケート内容は、ご本人の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。当プロジェクトにて厳重に管理いたします。



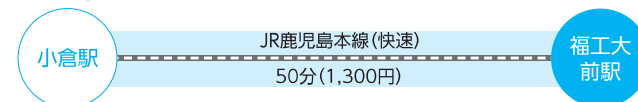
地下鉄+JR鹿児島本線



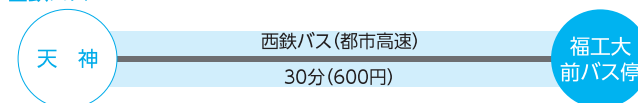
JR鹿児島本線



JR鹿児島本線



西鉄バス



※乗用車の場合…国道3号線から国道495号線へ進み和白方面へ

福岡工業大学

令和8年度

教育・研究活動報告書

令和7年度取組成果のご報告

編集／福岡工業大学 IRプロジェクト

編集協力・印刷／久野印刷(株)..
〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町大字旅石60番地32 TEL：092-410-5711 FAX：092-936-6262

発行／令和8年9月

福岡工業大学

〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30番1号 TEL：092-606-0619 FAX：092-606-8923



For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

■ 工学部

電子情報工学科
生命環境化学科
知能機械工学科
電気工学科

■ 情報工学部

情報工学科
情報通信工学科
情報システム工学科
情報マネジメント学科

■ 社会環境学部

社会環境学科（文系）

■ 大学院

工学研究科
社会環境学研究科

■ 福岡工業大学短期大学部

情報メディア学科

■ 福岡工業大学附属城東高等学校

普通科
未来工学科

